

宮崎大学医学部整形外科

同門会誌

第 30 号

令和 元 年 8 月

宮崎大学医学部整形外科学教室同門会



平成30年度 宮崎大学医学部 整形外科学教室 新入教室員歓迎会 平成30年4月14日 於：宮崎観光ホテル



宮崎大学医学部整形外科同門会 平成30年11月24日 於 宮崎観光ホテル



御挨拶

ひらかわ整形外科クリニック 平川 俊一

皆様にはおかれましては日々診療に忙しく
過ごしておられる事と存じます。

今年は五月半ばにして日本至る所で気温が
30度を超える日の報告も珍しくありません。
五月最後の日曜日に私は東京に出張しており
ましたが、そこでの気温も30度を超えており
ました。夕方には宮崎に帰りましたが、最高
気温は25度位であり宮崎の方が涼しかったよ
うであります。5月末には梅雨入りと報じら
れましたが、この会誌が皆さまの手元に届く
頃には梅雨を過ぎて猛暑の時期になっている
かもしれません。

残念な御知らせとしまして、昨年の7月に
教室創設時期の入局で国立療養所宮崎病院や
国立都城病院、江南病院で部長を務められ後
進の育成にも力を尽くされました戸田勝先生
がお亡くなりになりました。更に秋には賛助
会員であられました尾田博先生、山口政仁先
生が相次いでお亡くなりになりました。御
二人共賛助会員であられましたが、私も研修
医の頃から優しく接して頂きましたし、本当
に教室員の面倒をみて頂きました。御三方と
も宮崎医科大学整形外科学教室の創設期の頃
から教室の運営に御尽力頂きました。この誌
面を借りまして心から御悔やみと御礼を申し
述べたいと思います。

同門会活動としましては各役員の御努力の
おかげで、順調に業務を遂行いたしております。
四月には、荒川英樹先生、川畑武彦先
生、川越隆行先生、高橋巧先生、福岡研人先

生、福永幹先生、松本尊行先生の7名の教室
への入局がございました。先生方は自動的に
正会員になられましたので、同門会にとりま
しても新しい先生の入会は大歓迎でございま
す。若い先生方の入会により宮崎大学整形外
科学教室の同門会が益々活気付くことを希望
致します。どうぞ宜しく御願い致します。

留学や国内研修その他に行かれる先生方の
支援制度の運用を開始しております。若い先
生方の勉強の機会を増やすために作った制度
でありますので、是非この制度を活用して頂
きまして新しい知識、知見を習得して頂き、
更に後輩に伝えて頂きます様にお願い致しま
す。

いわゆる団塊の世代が後期高齢者に入って
しまう2025年問題が提唱されています。高齢
者を経済的にもまた介護医療の面から誰が御
世話をするのか、マンパワー不足に直面する
事態が差し迫っています。その後2040年問題
がやってきます。日本の人口も徐々に減少し
てきており、大きく日本という国の形も変
わって行く事と思います。医療も密接に関係
して参ります。

皆様におかれましては日々の診療に多忙な
事と思いますが、整形外科の将来を考えて活
動頂くように御願い致します。将来の整形外
科医の仕事の領域を拡げて行くように御考慮
下さい。

最後になりますが皆様方の益々の御健勝を
祈念しまして巻頭の挨拶とさせていただきます。



新入教室員歓迎

宮崎大学医学部整形外科学教室 帖 佐 悦 男

「令和元年」を迎え、先生方におかれましては、例年以上に新たな気持ちで、診療・研究・教育にあたられていると思います。「令和元年」という良き年度に新たな門出ができ、「令和」をあらわす「美しい風土に限りない感謝と尊敬を持ちながら、国民の一人として、令和という時代になることを喜んで迎えたい」と、新元号の考案者とみられている中西進氏が話されておられますようになることを願っています。

2018年の世界の話は、米中関係や英政府のEU離脱を含む経済問題や天災など驚くようなことばかりでした。一方日本では、天皇陛下の御退位及び皇太子殿下の御即位に伴う国の儀式など令和にふさわしい話題が続いています。また、2019年はラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピック・パラリンピック、2021年ワールドマスターズが3年連続で開催される“奇跡の3年”を迎えます。さらに超高齢社会を迎える今、運動器を扱う専門医はますます幅広い年代における運動器疾患に遭遇する機会が増えるため、地域医療を守る観点から、より一層医療連携を進める必要があります。

教室にとりましては、大変哀しいお知らせがありました。戸田勝先生、尾田博先生、山

口政仁先生、末永治先生の訃報に多くの方が驚きを隠せなかったのではないのでしょうか。あらためまして、これまでの教室に対しますご厚情に深く感謝するとともに、ご功績を偲び謹んで哀悼の意を表します。また、ご病気のため長期療養を余儀なくされておられる先生もおられますので、皆様方もくれぐれもご自愛ください。

一方大変嬉しい話としては、昨年、谷口昇先生が鹿児島大学整形外科の教授へ就任し順調に船出をされ、本年度も地方の新設大学ではありますが、多くの新入教室員を迎えることができました。既にスペシャリティの荒川英樹先生、川畑武彦先生と、これから専門医を目指す川越隆行先生、高橋巧先生、福岡研人先生、福永幹先生、松本尊行先生の7名の新入教室員を迎えることができ、大変喜んでおります。これから夢と目標、情熱をもって診療・研究・教育にあたって頂きたいと思っています。レジデントの先生は、臨床に関してはまず専門医をとり、その後少しずつスペシャリティを考えるとということになろうかと思います。もちろん研究に専念したい場合は大学院へ進むことも貴重な体験になります。夜間大学院もありますので活用してください。持論ではありますが、運動器を扱う地方の整

形外科医は、自分の専門を二つ以上持つことが望ましいと思います。

大学では、病院経営を含めた大学経営は本学のみならず運営費交付金の削減など大変困難な時代です。国立大学法人は重点支援枠（3類型）に分類され、本学は「地域貢献」型になりますので、より一層「世界を視野に 地域から始めよう」のもと、整形外科としては、時代の流れに翻弄されることなくこれまで通り地域に根差した教育・臨床・研究を進めていきたいと思っています。臨床に関しては、年間1400件を超える手術を実施し、収益も上がり病院経営には大きく貢献しています。教育において、整形外科は旧制度と並行して新専門医制度を開始しましたが、これまでと同様に人間味のある医師を養成する卒前教育と卒後教育をとおして、整形外科専門医でsubspecialty医師を育成します。あわせて、リハビリテーション科の専門医も育成してまいりたいと思っています。要支援・介護になる原因として運動器の障害が最も多くの割合を占める現状で、リハビリテーション医学・医療は整形外科にとっても治療の中心であり、地域医療分野において今後益々重要な位置を占めることは間違いありません。田野病院には介護施設もあります。将来を見据え卒前・卒後教育で介護医療を学べる仕組みを整えることが出来ればと思いますので、荒川先生の手腕に期待したいと思っています。また、県・医師会とのロコモ対策も順調にすすんでいます。これもひとえに同門の先生方が医師会や行政などと連携し、地域の方々へ啓発活動を実施して頂いているお蔭と感謝いたします。

研究に関しては、昨年もグラントをはじめ多くの受賞があり、診療の傍ら日々研究に取り組む成果を見せてくれる先生方は大変心強い限りです。また、スリランカと中国からの留学生も研究に励んでいます。臨床に関しましても教室員一丸となって診療にあたり、手術件数も多いため若い先生方には多くの症例を経験し、是非多くのことを学んでほしいと思います。新しく開始された専門医制度では様々な領域の疾患を経験する必要があります。多くの認定施設が単独では研修できなくなる可能性があります。保存療法はもちろん手術症例だけでも十分な経験を積むことができるのが宮崎大学病院整形外科の特徴の一つです。同門の先生方には入院待ちなどで引き続きご迷惑をお掛け致しますが、今後医師会との前方連携・後方連携が進むと思いますので、ご協力・ご支援をお願い致します。また、この場をお借りして、日頃多くの患者さんをご紹介頂いておりますこと心から感謝申し上げます。

現在の課題として、新臨床研修制度に伴う研修医の中央への集中により、関連病院への医師の派遣が困難となり、地方は深刻な医師不足にあえいでいます。また、開業や故郷に戻られる先生方もおられ私たち教室員も苦境に立たされていますが、幸い教室・同門の先生方のご理解・ご支援により、なんとか乗り切ることができています。地域・社会貢献を使命として保存療法から手術療法まで地域に必要とされる医療を提供することのできる医師を育成していくことが出来れば、私たち宮崎大学医学部整形外科の将来は明るいと確信しております。教室員のみならず同門の先生

方におかれましても、このように教育制度や施設など受け入れ体制は充実していますので今後も多くの教室員が増えますようご協力よろしくお願い致します。

教室も少しずつ歴史を重ねるとともに、私たち教室同門の先生方も年齢をとってきておりますので、くれぐれも健康には十分ご留意ください。

また、2016年度から学校健診に運動器検診が追加され、子どもの頃からのロコモ予防の重要性も認知されるようになってきております。今後とも、児童・生徒の健全な発育・発達のため、宮崎から対策を発信できますようご協力をお願いします。

超高齢社会、東京オリンピック・パラリンピックに向けては、より一層「スポーツメディカルランド宮崎」、「ロコモザワールド宮崎」構想を進めていきたいと思っております。宮崎県、宮崎市や宮崎大学の重点事業にも指定されていますので、ご協力の程よろし

くお願い致します。

昨年度の研究会に関しては、「九州・山口スポーツ医・科学研究会：12月8日」を福岡市にて主催しました。ご支援有難うございました。本年度は、「第46回日本股関節学会：10月25日、26日」を宮崎市で開催し、FAIなどの生みの親でもあられますGanz名誉教授も来られますので、お時間のある先生方は聴講して頂ければと思います。

最後になりましたが、新たな顔ぶれも加わり、教室員一丸となって質の高い臨床・研究を実施し、地域社会に開かれた特色ある臨床外科系講座として貢献してまいる所存です。教室・同門の先生方におかれましてはこれまで以上のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

教室・同門の先生方の今後ますますのご活躍と同門・教室の発展を祈念して筆を置くことといたします。

目 次

御挨拶	平 川 俊 一	
新入教室員歓迎	帖 佐 悦 男	
令和元年記念号		1
平成元年入局	園 田 典 生	
平成 5 年入局	濱 田 浩 朗	
平成10年入局	福 嶋 麻 里	
平成15年入局	三 橋 龍 馬	
平成20年入局	梅 崎 哲 矢	
追悼文		
戸田勝先生を偲んで	平 川 俊 一	5
戸田勝先生を偲んで	松 本 宏 一	7
戸田勝先生を偲んで	福 嶋 秀 一 郎	9
宮崎整形外科医会奨励賞		
宮崎整形外科医学奨励賞の受賞にあたって～私と手の外科～	大 田 智 美	10
第13回宮崎整形外科医学奨励賞を受賞して	吉 川 大 輔	11
学位取得		
学位取得 報告	李 德 哲	13
国際学会での発表について		
SICOT参加記録	中 村 嘉 宏	15
2018 ANZBMS (Australian and New Zealand Bone and Mineral Society Annual Scientific Meeting) に参加して	永 井 琢 哉	23
国際学会 (ORS)	大 内 宏 輝	25
国際学会 (WCSM) に参加して	石 田 翔 太 郎	27
研究助成 報告		
同門会研究助成 成果報告 ロコモティブ・シンドロームの新規創薬のための未知の標的分子探索の挑戦	関 本 朝 久	29
短期留学支援報告		
短期留学支援 報告－2018 JOSSM-USA Traveling Fellow－	山 口 奈 美	32
医局長挨拶	濱 中 秀 昭	34
同門会・医局行事		
西日本整形外科親善野球大会を終えて	三 橋 龍 馬	36
日整会サッカー大会を振り返って	平 川 雄 介	37
第92回日整会バスケットボール大会を振り返って	川 越 隆 行	38

第21回同門会テニス大会報告・・・・・・・・・・・・・・・・	柏 木 輝 行・・・・・・・・	39
第27回同門会ゴルフコンペ ご報告・・・・・・・・・・・・・・・・	池 之 上 貴・・・・・・・・	40
第15回帖佐杯ゴルフ大会 ご報告・・・・・・・・・・・・・・・・	池 之 上 貴・・・・・・・・	41
野球検診報告2018・・・・・・・・・・・・・・・・	長 澤 誠・・・・・・・・	42
Miyazaki University Trauma Customized Bioskill Course in Thailandに参加して・・・・・・・・・・・・・・・・	吉 留 綾・・・・・・・・	43
2018年 医局旅行inハワイ・・・・・・・・・・・・・・・・	川 越 悠 輔・・・・・・・・	44
1年を振り返って ・・・・・・・・・・・・・・・・		46
新規開業		
開院のご挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・	石 田 康 行・・・・・・・・	49
開院のご挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・	公 文 崇 詞・・・・・・・・	51
新入会員紹介（正会員）		
自己紹介・・・・・・・・・・・・・・・・	荒 川 英 樹・・・・・・・・	52
自己紹介・・・・・・・・・・・・・・・・	川 畑 武 彦・・・・・・・・	52
自己紹介・・・・・・・・・・・・・・・・	川 越 隆 行・・・・・・・・	53
自己紹介・・・・・・・・・・・・・・・・	高 橋 巧・・・・・・・・	53
自己紹介・・・・・・・・・・・・・・・・	福 嶋 研 人・・・・・・・・	54
自己紹介・・・・・・・・・・・・・・・・	福 永 幹・・・・・・・・	54
自己紹介・・・・・・・・・・・・・・・・	松 本 尊 行・・・・・・・・	55
同門会総会議事報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・		56
教室同門の研究業績（2017年度） ・・・・・・・・・・・・・・・・		59
編集後記 ・・・・・・・・・・・・・・・・	大 田 智 美・・・・・・・・	103

令和元年記念号

2019年5月1日より改元に伴い新たな元号「令和」が施行される事になりました。

そこで、今回は令和元年を記念して5名の先生へ平成の思い出について質問をしました。



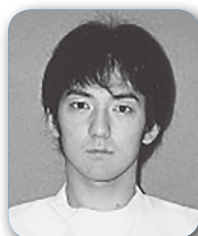
平成元年入局
園田 典生 先生



平成5年入局
濱田 浩朗 先生



平成10年入局
福嶋 麻里 先生



平成15年入局
三橋 龍馬 先生



平成20年入局
梅崎 哲矢 先生

① 同期入局の先生は？

園田：坂本康典先生、黒木龍二先生、尾田朋樹先生、永井孝文先生、田中史郎先生

濱田：塩月康弘、野辺達郎、川添浩史

福嶋：神菌先生、松岡先生、深野木先生、海田先生、猪俣先生、市原先生、坂田先生、村上先生、村上（富里）先生です。

三橋：小島岳史、吉川大輔・教恵、福島克彦、大田智美（敬称略）

梅崎：日吉先生、深尾先生、宮崎志保子先生が同期入局です。

入局年は異なりますが、卒業した年と言えば長澤先生も同期です。

② 入局当時の医局の雰囲気・印象は？

園田：医局長含めて先輩方の仲が良い関係であった。

濱田：雰囲気は良かった。

当直は週2回大学当直、カルテを見ながらプレゼンすると怒られるので暗記せねばいけない、など今と比べると格段に厳しかったですね。カンファや回診の時は胃が痛かったです。

福嶋：当時は医局に女性が深野木由姫先生、富里先生しかいらっしゃらなかったのですが、あまり違和感なく過ごさせてもらいました。

三橋：帖佐教授の教授選前にてややぴりぴりしていたかもしれません。

梅崎：いい意味で体育会系だなという印象でした。雰囲気もですが、とにかく他科に比べて明らかに屈強な男が多いなと思いました。

③ 入局当時の教授との思い出は？

園田：サッカーの試合(ドクターズの綾町内での試合)に参加していただいた。

濱田：私語禁止、「だもんね」

福嶋：研修医1年目で 回診の時、感染の患者さんのベッドサイドで「細菌」を「ばい菌」と言ってしまう、田島教授がやさしく訂正してくださいました。

三橋：カンファや回診時に『リュウマ！ タケシ！』と同期の中でも我々ばかりに質問をして頂きました。三水会でもまず我々が当てられていたので物怖じしないように育ってしまいました。

梅崎：ゴルフクラブのお下がりをお帖佐教授からいただき、関本先生に一度打ちっぱなしに同行させていただいたことがあります。ただボールが前に飛ばないどころか当てるのも難しく、自分の下手さ加減にショックを受けたことを覚えています。(帖佐先生、関本先生、ゴルフが続けられず申し訳ありません)

④ 入局当時の医局長は？

園田：平川俊一先生

濱田：福田健二先生

福嶋：柏木先生です。

三橋：渡邊信二先生

梅崎：関本先生です。

⑤ 入局当時の医局長との思い出は？

園田：学内での外来の陪席、手術でのご指導

濱田：私たちには優しかったですよ。常に困った顔をしてましたが。

福嶋：酒宴？

三橋：焼肉を奢ってもらいました。

梅崎：「外来でよく診る整形疾患リスト」をいただきました。これをベースにノートを作り外勤・当直に携帯しました。

⑥ 入局当時の同期や近い先輩との思い出は？

園田：波平辰州先生、黒木隆男先生、柳園賜一郎先生、作 良彦先生、柏木輝行先生、入局直後から当直での指導を詳細に頂いた。

濱田：脊椎グループでしたので常に皆で行動してました。柳園先生にはICUでの全身管理をよく手伝っていただきました。何でも知ってる平川先生が神様に見えました。

福嶋：松岡君が外勤の振り分けをいつも完璧にやってくれていたこと。人数が多くて大変だったと思いますがトラブルなく回っていました。

三橋：勤務先を同期で決めろと言われてダーツで決めました。

梅崎：入局当時の思い出と言えば、香港・マカオの医局旅行です。砂浜でジャッキーチェンの自宅を眺め、ブルースリーの銅像と写真を撮り、広東語で何を言っているのか分からないミッキーと戯れ、とても楽しんだ記憶があります。※宮崎大学整形外科のFacebookのホームの写真がブルースリーの銅像の写真です。

⑦ 専門医をとった頃はどこで勤務していた？

園田：宮崎大学 学内

濱田：大学院

福嶋：三股病院→大学

三橋：県立日南病院

梅崎：合格発表直前から3年間、宮崎市群医師会病院に勤務しました。

⑧ ⑦の頃は主にどんな事に取り組んでいた？

園田：スポーツ外来・関節鏡視下手術

濱田：当時講師だった北村和雄先生（1内科）に従事しペプチド化学の研究をしていました。全くの部外者でしたがよく声をかけていただいてと殺場で脳下垂体を取ったりヨード化（当時はラジオイムノアッセイでした）を手伝ったりウサギのモデルを作ったりいろいろでした。

福嶋：これと言って挙げれるものはありません。外勤での外来が多かったです。

三橋：飲み過ぎて官舎の自宅のカギをあけることができないM山S三先輩のカギをあけるためにカギに貼ってある動物のシールを覚えようとしていました。

梅崎：とにかく自ら執刀する手術症例（特に外傷）が多く後輩も居たので、手術の知識や技術が一気に向上したと思います。あとは症例も多いので学会発表もさせていただきました。整形外科として成長できた3年間だったと思います。

⑨ ⑦の頃の勤務先での思い出は？

園田：サッカーの試合（ドクターズ）

濱田：作先生の形状記憶合金を使ったウサギの側弯症モデルの手伝いですかね。と殺してすぐに熱を与えればいいのに冷蔵保存してまとめてやろうとするから、腐敗臭はすごい筋肉は固まっているので動きもしないし、結局フォトショップで曲げてましたが。

福島：ありがたいことにどこの勤務地でも先輩方や看護師さんと楽しく仕事をさせてもらいました。三股病院では外科手術の手伝いをさせてもらいました。腸が生暖かかったのは覚えています。

三橋：当時の日南では松岡知己、益山松三、三橋龍馬で勤務しており当直を医局のカレンダーに記入していました。その際に最初の一文字をカレンダーに記入していました。4/1 益 4/2 松 4/3 三のように記入してしていましたが、カレンダーだけ見るといつも益山松三が当直しているように見えて4人目の後輩に山口先生がくれば完璧な益・山・松・三ができあがるのにとっていました。

梅崎：救急外来で某芸能人の骨折を診療する機会がありました。後日、その方とFacebook でつながったのですが、「知り合いかも」の項目に、ものまねの「コロッケ」さんが出て驚いたことがあります（つまり某有名人はコロッケが物まねするレポーターの方ですね）。

⑩ 当時のプライベートの思い出は？

園田：入局後2年で結婚したこと

濱田：他人のプライベートならいっぱいありますが、話せない範囲です。

福島：ちょうど6年目に結婚、7年目で第1子出産でした。専門医はなんとか取得でき、教授をはじめ医局の先生方にはたくさんのご配慮をいただきました。ありがとうございました。

三橋：シンモエ岳が噴火し益山先生に頂いたゴルフバックが灰まみれになったこと。川野先生と吞んでおり和食屋の御代を払ったらパターをもらったこと。松岡先生が開いてくれたBBQで漫画でしか見たことない料理を振る舞ってくれたこと

梅崎：私が好きな日本のロックバンドに『フラワーカンパニーズ』というバンドがいます。2013年のシングル曲「ビューティフルドリーマー」の企画で、全国から写真を募集し、採用されればミュージックビデオの中で写真が流れるというものでしたが、同期の日吉先生と中村先生との写真が見事に(?)採用されました。



これが採用された写真です。

寄稿いただいた先生方、お忙しい中ありがとうございました。



戸田勝先生を偲んで

ひらかわ整形外科クリニック 平川 俊一

平成30年7月に戸田勝先生は御逝去されました。

戸田先生との出会いは昭和55年6月の入局の時が初めてでした。彼は広島大学を卒業し、私は熊本大学を卒業し共に当時の宮崎医科大学整形外科学教室に入局しました。その年は二人だけの入局であり、先輩から仕事を教わる事も色々の病院の当直も、そして遊び、酒飲み何もかも二人で一緒にやっていました。正確には同期が二人きりでしたので互いに助け合いながら全ての事をやっていくしか無かったのです。彼は趣味が多く直ぐにゴルフや魚釣りなど教えてもらいました。それぞれ外の病院に出ている時もありましたが、先生が病気に倒れるまでは何かにつけて良き相談相手であったと思います。多くの先生が戸田先生とのそれぞれの思い出を書いて下さるものと思います。

昨日の事のように覚えています。平成26年の7月30日の夜に夕御飯を済ませて自宅でくつろいでいると先生からスマホに連絡がありました。自分に病気が見つかった、引継ぎをしたい事があるので彼のクリニックに来てくれないかという内容でした。十日程前には市郡整形外科医会の会合で皆と一緒にお酒を飲

んでいていつもどおりの様子でした。とにかく明日午後事情を聞きに行くからと言って翌日に先生のクリニックに伺いました。先生は視野狭窄が進行しておりピンホールの様な範囲しか見えないと言い歩行も不安定、呂律も回らない状態でした。それでも一生懸命に関係書類を集めて彼が受け持っていた仕事を私に引き継ごうとしてくれているのを見て、初めて事の重大さに気が付きました。彼のクリニックを辞してその足で帖佐教授を訪ね病状の説明を聞きました。

数日して先生は入院し当座のステロイド治療のおかげか、すっかり頭もクリアな状態で面会出来ました。自分の事で精一杯だったろうと思いますが、そこで先生の病気の話以外にも二人で引き受けていた色々の会の今後の運営をどうしていくかなど多くの事を彼は一生懸命に話してくれました。手術までの間にクリニックの仕事が終わって尋ねるたびに今後の会の運営の事、皆の事を心配してくれていました。私は病気が落ち着いたら二人で今まで通り相談してやって行こうと言いますが、やはり何らかの覚悟があったのでしょうか、彼は事細かく話をして尽きることはありませんでした。

残念ながら手術後は発語がなく意思の疎通が出来なくなり、徐々に体動もなくなりました。時々仕事帰りに彼のベッドサイドに寄るようにしており、私が一方的に話をしたり愚痴を言って帰っていました。ある土曜日の午後に訪室して奥様もいらしたので一時間位だったでしょうか、色々と言話をしていました。いつもは反応がないのですが帰ろうとしてそれじゃまた来るよと呼びかけると、いきなり体を動かし立ち上がる様な動きをします。側にいるのが分っていてくれていたのだなあ

と感じられました。

彼は非常に頭の良い人間で、剃刀のような切れ味を持っていましたが、心温かいユーモアのある人間でもありました。私のような鈍重な人間から見るとその才能が羨ましくありました。神様が順番を間違えた気がしますが、私にもまだ何かすべきことが残されているのでしょうか。いずれその時が来たらまた一緒にゴルフクラブを振りましょう。

心から君に感謝し、御冥福をお祈りします。



戸田勝先生を偲んで

まつもと整形外科医院 松本 宏一

昭和57年4月に私が宮崎医科大学の整形外科教室に入局した時、戸田勝先生は整形外科3年目の先輩医師でした。その頃には先生はすでに手の外科の診療を主に行っていた様に覚えています。当時、大学の整形外科では3名の先生方が手術を行っていました。田島直也先生（脊椎）、長鶴義隆先生（股関節）、山口一郎先生（手外科）です。この中で戸田先生は山口一郎先生と組んで、手の外科の手術をしていました。広島大学を卒業され、学生時代に広大手の外科の薫陶を受けたせいでしょうか。医師になって3年目の戸田先生はすでに上肢の疾患について造詣が深く、私は戸田先生に教えを乞う事が多々ありました。

戸田先生との初めての絡みは、私が入局した年の12月の忘年会でした。当時ロッキーというシルベスター・スタローン主演のボクシング映画がありまして、忘年会の演目として戸田先生と私でロッキーのまね事をしました。大きな日の丸の旗と星条旗を買って来て、それでトランクスを作りました。私は日の丸を、戸田先生は星条旗を穿いてロッキーを演じました。ロッキーがラストシーンで「エイドリアーン」と叫ぶシーンは有名です。戸田先生も誰かの名を叫んだと思います。

木村教授は宴会のある日は朝からごきげんでした。そして、その日の忘年会では見事などじょうすくいを披露しました。安来節の歌が鳴り響く中、段上に現れたのは着物のすそをからげ、バッチをはいて、手には籠を持ち、腰には魚籠をさげ、ゴムのひものついた5円玉を鼻の先に押しつけ、田吾作になりきって、どじょうすくいを踊る木村教授でした。私はその見事さに茫然として見惚れていました。その時教授の横を走り抜ける人がいました。森山先生でした。その直後、教授の頭に何か白い物の乗っているのが見えました。数秒間は何が起きたか理解できず、じっと目を凝らしていると、教授が自分の頭から右手に取った白い布はふんどしのように見えました。森山先生はふんどしを愛用する人でした。その後も、中条妙子婦長は生まれ故郷の姫島のキツネ踊りを踊り、山口一郎先生は若い美人の帯をキリキリと解き、忘年会は続いてゆきました。

この穏やかな医局の空気と、戸田先生のやさしさは、駆出しの私が宮崎の整形外科教室の中で無事に過ごしてゆく為には、無くてはならぬ物だったと感じています。戸田先生は、有名な作家の言葉を借りれば、壁と卵のどち

ら側につくかと言えば必ず卵の側につく人でした。弱者にやさしい人でした。又、僕はてんびん座だから「公平」が好きなんだと、口癖でした。

次はゴルフの話です。私のゴルフにはいつもそばに戸田先生が居ました。私が初心者頃、よく一緒にアリーナというゴルフ練習場に行きました。「松ちゃん、今度はあの150ヤードの円の中に何球打てるか競争しよう、10球ずつ打とうか」と言っていました。ハワイにも連れて行ってもらいました。私は成田を出発する時にはハワイの何処に行くのかも知らず、ただ戸田先生について行きました。行き先はカウアイ島のプリンスビルホテルでした。ホテルのリゾートコースは宮崎のコースとはかなり雰囲気異なり、人も疎らで、ゆっくりプレーする人達は、速い組

をスルーさせて、皆さん気儘にラウンドしていました。

それから、何のきっかけから始まったのか、毎年年末の12月30日には一緒にゴルフをする事になっていました。20数回続いたと思います。年末のこのゴルフは最初の頃は青島ゴルフクラブでずっと行っていました。今でも、12月の比較的暖かい朝に、青島ゴルフクラブの練習用グリーンで待っていれば、クラブハウスからパターを持った戸田先生がヒョロッと「松ちゃんおはよう」と出て来そうです。

私が整形外科教室に入局して以来、長い間面倒を見て頂きまして、私の生活に様々な色彩りを添えてくれました戸田勝先生、本当に大変お世話になりました。



戸田勝先生を偲んで

岡田整形外科 福嶋 秀一郎

私が入局したときには戸田先生は開業をされており、同門会などで時々お話はさせていただくものの、大先輩であり恐れ多く近寄りがたい先生でした。また妻を幼少期からご存じだったこともあり、同門会であいさつに伺うと「麻里ちゃんは元気？麻里ちゃんに顔を出すように伝えといて。」と妻のことを気にかけてくださっていました。

私が整形外科のゴルフコンペに参加するようになり、少しずつ接点も増えお話をさせていただく機会も増えました。以前は、私以降なかなか若手がゴルフコンペに参加しない時期があり、「研修医は道具もそろえるのが大変で」と私が話していたのを聞いて、若手の先生へとアイアンクラブセットをいただきました。「ライフルシャフトのゴルフクラブだから。」そう笑顔で話されておりました。

それからしばらくしてゴルフコンペで戸田先生をお見かけしなくなりました。まわりの先生からゴルフクラブを置いて代わりに釣り竿を振っていると聞き、同門会でお会いしたときに私も魚釣りを始めたことを伝えると「今度天草に行くから一緒に行くか？あこう（キジハタ）を釣りに行くから。」とお誘いを受けました。3人の子供をおいて妻にうしろめたさがある私は、戸田先生に無理を言って長男を連れて参加。AM2時頃に戸田整形外科に集合し、買ったばかりの戸田先生の新

車に戸田先生と先生の御友人と私と息子の4人で出発。行きの車の中で息子が車に酔って嘔吐。買ったばかりの新車を汚してしまいました。後日先生からは「掃除したらきれいになったから気にせんでいいよ。」と許していただきましたが、非常に申し訳ない気持ちでいっぱいでした。天草の魚釣りでは生きたえびを使ったテンヤ釣り。初めての釣り方で、先生に仕掛けを作っていただき、釣り方も指導していただきました。キジハタ、カサゴが大量に釣れ、息子も先生方に釣りをさせていただいて喜んでおりました。その後にもう一度お誘いを受け、天草へと魚釣りにご一緒させていただきましたが、2回目はさすがに私一人で参加いたしました。

最後にお会いしたのは大学病院にお見舞いに行った時でした。小さな声でしたが妻に「麻里ちゃんは3人も子供を育てて偉いね。」と話された言葉が今でも心に残っています。

以前先生が釣り上げた大きなキジハタを超える大物を釣りに、もう一度天草へご一緒したかったのですが、それが叶うことはありませんでした。先生とご一緒させていただいたゴルフ、魚釣り、飲み会、私にとってどれも貴重な時間でした。戸田先生、誠にありがとうございました。先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。



宮崎整形外科医学奨励賞の受賞にあたって ～私と手の外科～

宮崎大学医学部整形外科学教室 大田 智美

このたびは宮崎整形外科医学奨励賞をいただき、ありがとうございます。

わたくしと手の外科の出会いには2003年に入局した際に配属されたスポーツ上肢グループでした。黒木龍二先生と矢野浩明先生がいらして、肩から指先まで様々な手術をされ、手術の種類が多く予習が大変だったのを覚えています。2005年からは県立延岡病院に赴任し、木屋博昭先生のもとで人工関節や外傷、脊椎などとにかくたくさんの症例を勉強させていただきました。その中でもデグロビング損傷、神経血管・腱損傷、コンパートメント症候群など軟部組織損傷は興味深く、手の外科に進みたいと考えるようになっていたところ、河野立先生から顕微鏡を使ってマイクロの手技を習う機会をいただき、手の外科への希望がさらに強くなりました。2007年に大学へ帰るときに、医局長の関本朝久先生に上肢グループへ配属していただき、矢野浩明先生との再会、弟子入りとなりました。矢野先生はいつも「きっちり勉強して計画を立てれば僕がサポートするから、がんばってみなよ」と背中を押して応援してくださいました。そのおかげで、難しい手術も積極的に取り組みました。転機になった手術は「橈骨遠位端骨巨細胞腫に対する血管丙付き腓骨頭移植術」です。12時間の手術でしたが、矢野先生と河野先生にサポートいただき無事に終わることができました。この手術の時に手の外科医への確固たる決意ができたように思います。さ

らに石田康行先生、田島卓也先生、山口奈美先生、長澤誠先生など関節鏡グループの先生方には再建の腱作りから始まり、鏡視下手術のピットフォールを教わり、現在でも手関節鏡手術は一緒に入っていていただき、私にとってなくてはならない存在です。

大学で手の外科をやるにあたって、学会発表・論文執筆も大事な仕事です。最初の発表は山本恵太郎先生が勧めてくださった「母指CM関節症の治療経験」というテーマで、またその内容で帖佐教授が後押ししてくださり整形外科に論文を掲載することができました。その後は毎年日本手外科学会・九州手外科学会にはかならず演題を出し、手に関する論文も作成してきました。英語論文が書けていないので、こちらに関してはまだまだ今後頑張っていこうと思っています。

現在大学で臨床をしながら手外科専門医を取得するべく、宮崎江南病院で週1回の研修をさせていただいております。益山松三先生をはじめ江南病院の先生方には、手外科だけではなく外傷なども大変勉強させていただき、楽しく研修させていただいております。

このようにたくさんの先生と出会い、ご指導いただいたおかげで現在の私があると思っています。これからも宮崎で困っている患者さんを助けられるよう、また大学に相談してくださる先生方のご期待に沿えるよう頑張っ

てまいりたいと思います。

本当にありがとうございました。



第13回宮崎整形外科医学奨励賞を受賞して

宮崎江南病院 整形外科 吉川 大 輔

この度は栄えある『宮崎整形外科医学奨励賞』を受賞させていただき、平川同門会長、帖佐教授をはじめ、これまでご指導頂いた先生方に深く感謝申し上げます。

今回「膝とラグビーと私～スポーツドクターとしての活動を通して～」というテーマで受賞させていただきました。スポーツに関わりたという思いから整形外科に入局して16年、幸運な事にスポーツドクターとしてラグビーの現場で活動させて頂き、また日常診療では膝関節を中心に診療を行わせていただいております。

私がラグビーと出会ったのは高校入学時で、ラグビーファンだった父の薦めもありラグビー部に入部しました。そして大学3年の冬、一つの転機が訪れます。試合中の怪我、膝内側半月板損傷です。歩くこともままならなかった私は手術を決断、鏡視下半月板部分切除術を園田典生先生に御執刀いただきました。これが私が整形外科医、特にスポーツドクター・膝関節外科医を志すきっかけとなりました。

整形外科入局後には田島卓也先生の御指導の下、ラグビーの大会に大会ドクターとして出務するようになり、平成25年度からは宮崎県ラグビーフットボール協会メディカル委員会の委員長を務めさせていただいております。現在年間約40の大会に医師を派遣しており、多くの先生方に出務をお願いしている状況です。御協力を頂いた先生方には心より感謝申

し上げます。

ラグビーにおける大会ドクターの主な業務は①負傷者対応、②脳振盪の判断です。ラグビーはコンタクトスポーツであり、現場では様々な外傷が発生します。私も年間20日程出務していますが、判断に迷うケースが多々存在します。

特に脳振盪(疑いも含む)については判断が難しいケースが多く、日本代表やトップリーグの試合以外では脳振盪あるいは脳振盪の疑いと診断された選手は即時退場となり(Recognize & Remove)、特に高校生以下は競技復帰まで約3週間を必要とされます。選手にとってはその大会が学生生活最後というケースもあり、何とか試合に出してあげたいと思う部分と脳振盪後遺症などの二次的障害を防ぐために退場させなければならないという思いが自分の中でぶつかり合うこともしばしばです。それでも現場では厳密かつ慎重に判断を行い、脳振盪が疑われる場合には心を鬼にしてドクターストップをかけています。

また2015年から2017年の3年間は20歳以下ラグビー日本代表のチームドクターとして活動する機会を頂き、毎年複数回の国内合宿と海外遠征に帯同しました。年齢別代表とはいえ国を背負って戦う選手達をサポートすることの責任やプレッシャーをヒシヒシと感じながらの帯同でした。我々メディカルチームの使命は選手達をトップコンディションで試合に臨ませること、コンディションを

落とすことなく所属チームに戻すことです。特に大会期間中は負傷者やコンディション不良を訴える選手も増えてくるため、トレーナーと意見交換を行いながら練習量の調整を首脳陣に依頼することもありました(あまり好い顔をしないコーチもいましたが・・・)。加えて若い選手達にはドーピングや脳振盪に関する教育も必要であり、合宿中に複数回の講義を行いました。

その他にも事前準備として大会レギュレーションの確認や現地の気候・医療環境の確認、遠征期間中には負傷した選手の病院受診に同行し、担当ドクターと意見交換を行う事も多々ありました。帯同を始めた頃は自分の英語力の無さに落ち込む事もありましたが、拙い単語の羅列でも意見が通じることがわかり、何とか3回の海外遠征を乗り切ることができました。

国を代表して戦うチームの一員になったこと、その中でチームが最善の結果を残せるようメディカルスタッフ全員で取り組んだ経験は大変大きなものであったと感じています。

一方、日常診療では一般外傷と並行してACL再建や半月板縫合といった膝関節鏡視下手術を行っています。若年者のスポーツによる膝外傷がある一方で、最近はウォーキングやランニングを趣味とする中高年の方で、

画像上のOA所見は軽微ながら膝関節痛を訴える患者さんが増えてきている印象です。実際にMRIを撮影してみると半月板の変性損傷を認める症例もあり、患者さんの希望があれば鏡視下半月板縫合術を施行しています。今後関節軟骨変性が進行するであろう症例に対し、半月板の修復を行うことで関節軟骨変性の進度を少しでも遅らせることができるのではないかと考えており、特に逸脱外側半月板に対するcentralization法は良好な成績が報告されています。当院でも適応症例に対してはcentralization法を施行しており、まだ数例ではありますが良好な経過を認めています。今後も多くの知見を得ながら自身の診療に役立てていきたいと考えています。

今回、この文章を書きながら自分が歩んできた道を改めて振り返ることができました。その中で感じたのは、多くの先生方に支えられ、また御指導を頂いたことで今の自分があるということでした。この場を借りまして御礼申し上げます。また、私が諸先輩方の影響を受けてきたように、私自身の経験がこれからスポーツドクターを目指す若い先生達の一助になれば大変うれしく思います。もちろん私自身これからも精進してまいりますので、これからも御指導のほど何卒よろしくお願いいたします。





学位取得 報告

宮崎大学医学部整形外科学教室 李 徳 哲

このたび、平成最後の3月に医学博士号を取得できたことを報告いたします。今後、大学院入学を考えている後輩に何か伝えられればと良いなと思います。

何度も同門会誌面にて書かせていただきましたが、リオデジャネイロであったSICOTに参加した帰りの宮崎空港でのことでした。サンバのリズムにあてられ、31時間のフライトで意識朦朧としている中、鹿児島大学整形外科学講座教授になられた谷口昇先生が「帖佐教授が言ってたけど、李は大学院に入るんでしょ？」とおっしゃられ、「いやー、今のところ予定ないですねー」と軽く返事をしていましたが、週明けの私のデスクには入学願書が置かれていました。大学院は元々、私の人生設計に予定はなく、逃げ回ろうと思っていましたが暗闇の研究棟フロアに帖佐教授、谷口教授に呼び出され説得されてしまいました。

ほぼ知識も技術もなく、試薬の置き場さえも分からず一人で全くなにもできないことが30歳を越えてスタートしました。入学年はこれまでの人生で大学受験浪人期間以外で、一番戻りたくない1年です。弱音を吐いても始まらないので、大学1年の時にほとんど読ま

なかったEssential細胞生物学を読破することから始め、研究室の優秀な技官のお姉様方に助けられながら一つずつ実験を始めました。基礎実験は10回やったら9回はうまくいかないとよく言われますが、全くその通りでした。細胞が脂肪分化する過程での遺伝子の発現を調べようとしたのですが、まず1年間細胞が脂肪に分化すらしませんでした。ラットで腱断裂モデルを作製して、RNAを筋肉から取り出すまで数か月待機しましたが、RNAつまりは時間・労力をすべて台無しにしてしまうなど、今思い出しても凄まじい絶望感です。

そんな実験も泣きながら一つずつ課題をクリアし、脂肪や骨によく分化する細胞を米国Scripps研究所から分与していただいて各段に進むようになり、動物モデルも熊本大学 井出先生、徳永先生にコツを習い、当科だけではできない実験を解剖学 菱川教授、免疫学 佐藤教授、病理学 片岡教授にも直接指導いただき、なんとかScientific Reports誌にてpublishされました。本当に多くの方に助けられた4年間で、このことが大学院生活において最大の財産だと思います。自分でできることには限りがあることを知り（見極めは異常に早かったかもしれませんが）、他大学の

先生と強引に名刺交換してメールし、アポイントを取って他教室の教授室でpower-pointでプレゼンしながら直接指導を仰ぐなど、躓いても一瞬も立ち止まらない行動力が、私の場合学位取得で最も大事なことだったと思います。

私の勝手な希望でしたが、在学中に臨床から離れたくなく、水曜日の脊椎外来を任せていただき、私のスケジュールに合わせて手術をさせてくれた濱中先生はじめ脊椎グループの諸先輩方には本当に感謝しています。後輩にはこういう大学院生活も出来るということを見せたつもりですが、石田翔太郎先生いわく、いつも疲労で死んだような目をしていたそうです。もう一度同じ4年間は二度と過ごしたくないですが、人生で血を吐きながらも何かをやり切ったと思える期間があっても良いのではないのでしょうか。

昨年度途中から横江先生が研究チームに加わり、HMGB2の機能解析、筋肉の変性に関

して更なる研究を進めています。めでたく科研費も獲得でき、横江先生を立派な研究者に指導することが、お世話になった方々への恩返しと思っています。

実は妻も工学部の大学院に同時に入学しました。妻も3年間で博士号を取得しましたが、夫が夜も休日も実験か外勤で不在のなか、3年間で長男・次男の出産・育児をし、毎日弁当を作ってくれ、私の統計解析まで手伝ってくれました。本当に感謝しきれません。夏休みには妻の好きな香港で贅沢させてあげたいと思います。

基礎研究をやり、英語論文もたくさん読みました。臨床に対しても一段変わった見方、取り組み方ができるようになり、この積み重ねが教室のレベルアップにつながると思います。若手の先生で大学院への誘いがあったら、少し迷った後に、覚悟を決めて飛び込んでみることをお勧めします。



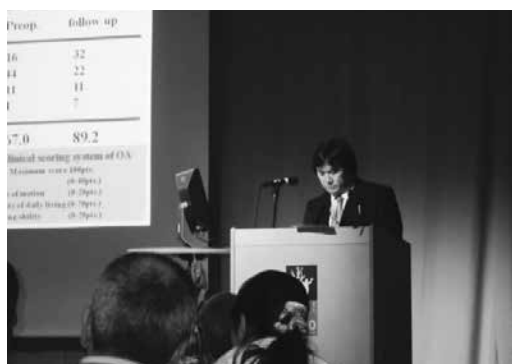


SICOT参加記録

宮崎大学医学部整形外科 中村嘉宏

国際学会というと何か非常に敷居が高いような印象を受けますが決してそうではないことをお伝えしたく本原稿を記載いたします。

英語ができなくても裏のルート（最後にこっそり教えます）で参加可能でありますし、やはりOral presentationにチャレンジしようと思いついたとしても、たかが5分我慢すればいい話です。日々の診療、仕事、生活に物足りなさを感じていたりするのであれば是非とも国際学会に参加することをお勧めいたします。私が初めて国際学会に参加したのは2010年のSICOTスウェーデン・ヨーテボリで開催された学会でありました。そのきっかけは定かではありませんが、帖佐先生から『SICOT出してみたら？』が理由だったかもしれません。最初のテーマとさせていただいたのは長鶴先生が長年かけて挑まれました寛骨臼形成不全へのSpherical acetabular osteotomyの1000例近い長期成績（Spherical acetabular osteotomy for osteoarthritis of the hip: Outcomes after more than 15 years' follow-up, Seventh SICOT/SIROT Annual International Conference 2010 Gothenburg, Sweden (2010)）に関してプレゼンさせていただきました。3ヶ月前から準備を開始し、日本語で作成した発表原稿をGoogleで翻訳、それを海外出身リウマチ患者様に添削していただくという手法をとりました。Radiographicは「ラジオグラフィック」ではなく「レディオグラフィック」である、などなど、発音に関して患者と医者との垣根を越えて厳しく指導されました。大変感謝しております（また、その後はN崎先生の奥様にも添削お願いしたことがあります。この場をお借りいたしまして感謝いたします。大変ありがとうございました。）。発表当日の会場はその学会でいう第1会場で非常に広大な会場でありましたが参加者はまばらで前の席にちらほらでちょっとホッとしました。Next speaker seatに鎮座し、「5分耐えれば、、、」の一心で待っていました。出だしは決めておりました。Thank you Chairman. I can't speak English well, but I try.から始め、日本人であるアピールと英語ができないことへのハードルを十分に下げてからのプレゼンスタートでした。



(2010年SICOT ヨーテボリでの初の発表の様子です。)

「Why does Spherical acetabular osteotomy work? This osteotomy improves anatomical and biomechanical hip function.」

今でも明確に出てくるフレーズでスタート、なんとか無事終了いたしました。スウェーデンの重鎮風貌の先生から「Tonnis Osteotomyとの比較は？」という趣旨のご質問でしたが、伝わったのかどうかわかりませんが、適当にかわしましたところ、それなりに通じたのでしょう。時間になったためそそくさと降壇いたしました。その夜は帖佐先生と三ツ星高級restaurantで打ち上げをしました。帖佐先生はお疲れであったのか、ワインが進みこの通り徐々に泥酔状態になってしまったことを鮮明に記憶しております。ちなみにこの写真は大腿骨頭壊死の学生講義スライドに必ず入れるようにしておりますがいつも笑いを誘うことができます。(帖佐先生には正式に許可を得ておりません。これでバレるかもしれません。)



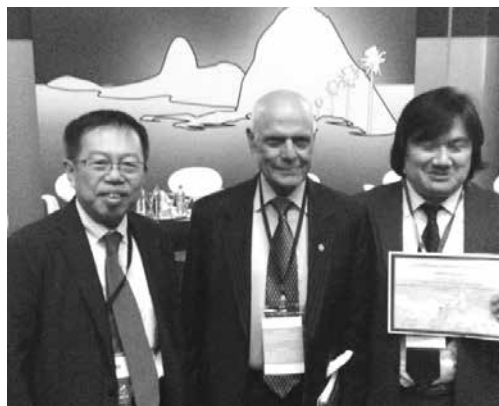
(ワインを飲まれる帖佐先生、最終的にワインに飲まれてしまう継続的写真です。アルコール性大腿骨頭壊死の危険性が感じられます。帖佐先生、大変申し訳ありません。)

その後は毎年SICOTに参加することをルーチンとするようになってきました。

海外の学会に参加すると思いがけない高名な先生にお会いする機会が得られます。2011 SICOT Prague, Czech RepublicではGanz先生、2014 SICOT Rio de Janeiro, BrazilではRanawat先生（みなさんご存知のRanawat分類の先生）両者とも温厚でオーラを感じる偉大な先生でありました。



（Ganz先生）



（Ranawat先生）

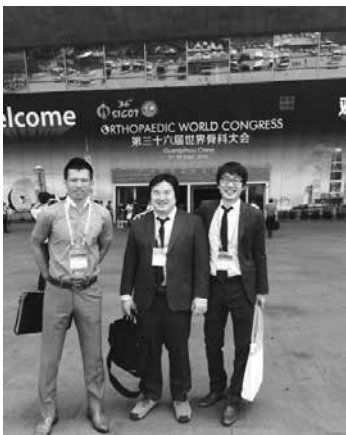


（日本の著名な先生とも現地で気さくにお話しさせていただき貴重な経験をさせていただきました。大阪大学の菅野先生、岐阜大学の秋山先生など錚々たるメンバーの接待計画、李先生大変ご苦労様でした。）

初期の頃は帖佐先生二人で参加することが多かったですが、現在では小島先生、三橋先生、李先生といった若手先生がどんどん参加発表されております。近年李先生のプレゼンは非常に素晴らしく、英語の発音、discussionとも素晴らしく、現地の日本人にも賞賛されておりましたね。（李先生、世界が揺らぎましたね。情熱大陸取材きていればいい場面とれたでしょう。）



（発表直前の李先生です（発表原稿を見直されているところですが、発表時全く原稿見ないところが本当にすごいと思います。））



(2015 SICOT Guangzhou, China)



（2016 SICOT Rome, Italy イタリアでのSICOTは宮崎からたくさんの先生が参加されました。ローマのイタリアレストランでの集合写真です。）

Instructional
Course
Natural
Disasters &
Mass
Casualties

海外の学会に参加するということは海外の医療事情にも触れられますし、医療レベルも肌で感じることができます。SICOT Prague 2011ではDisasterセッションがあり、戦争や災害外傷、交通外傷に関してのDiscussionされておりました。戦地でのAmputationの適応がどうかといった議論がなされ、日本の社会状況とややかけ離れたお話でありました。

DGU*
Trauma
Prevention
- Road Traffic
Accidents

Workshop
Synthes

Free Papers
Road Trauma

Symposium
Natural
Disasters:
Amputation:
when, how
and after

医療器具、インプラントなど日本でお目にかかれないような代物に出会えることも醍醐味の一つでしょう。



(大腿骨頭壊死、PFの変性に対するpartial replacement implants)



(人間の海面骨を加工したものでBone graftに使えるというもの)

思うに日本の学会は非常にレベルが高いと感じます。日本整形外科学会の方がよっぽどレベルが高いのは間違いないと思います。

海外の学会あるあるですが会場では平気で携帯電話で話すし、座長はこない、演者はこない、中国広州でのSICOTでは私のSessionでありましたが、5人中3人が欠席で急に登壇させられ焦る場面がありました。まあ、こんなものなののでしょうか？、日本人は勤勉、真面目な人種であることを改めて感じるどころでありました。

特に学術的感想でもなく最後を締めくくりますが、まずは参加し現地で楽しむ、これが海外学会の醍醐味であると思います。宮崎大学のスローガンは「世界を視野に地域から始めよう」とあるようです。世界を視野になど大其れた目標など掲げる必要なく、まず参加し楽しむ「アンニユイ」な気持ちでよろしいのではないのでしょうか？

どうしても英語で発表が、、、、ってかたはポスターって手があります。プレゼンがないことも多いですので、まずはそこを狙ってみてはいかがでしょうか。

最後にいつも一緒に参加していただける帖佐先生には心から感謝しております。



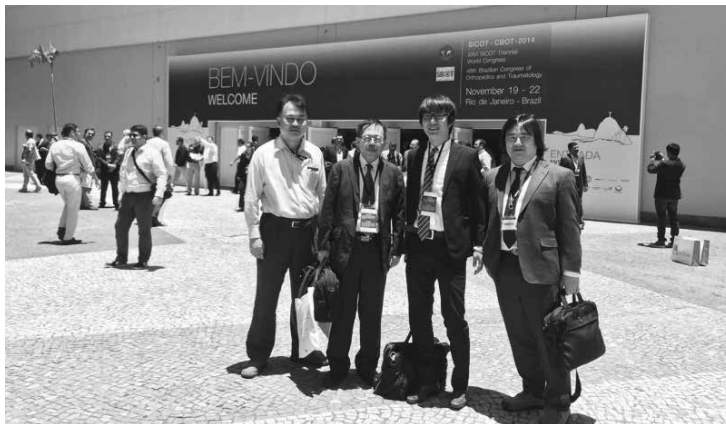
(プラハビールで乾杯です)



(田島先生とご一緒に参加。2013年ハイデラバード インド)



(ドバイの砂漠 2012年 この後帖佐先生は眼鏡を無くされます。)



2014 SICOT Rio de Janeiro, Brazil



(帖佐先生によるPAOの発表 2014 SICOT Rio de Janeiro, Brazil)



(李先生による超高齢者の転子部骨折の発表 2014 SICOT Rio de Janeiro, Brazil)



2018 ANZBMS(Australian and New Zealand Bone and Mineral Society Annual Scientific Meeting)に参加して

宮崎大学医学部整形外科学教室 永井琢哉

今回、「可変型遺伝子トラップ法で作製したTmem161a欠損マウスは明らかな骨量増加を呈する」というポスター発表で2018年度日本骨代謝学会のTravel awardを受賞し、2018年9月2日-5日にNew Zealandの南島に位置するQueenstownで開催されたANZBMSに参加させていただきました。

まず今回の発表テーマに関しまして説明させていただきます。当整形外科研究室では熊本大学との共同研究として、関本朝久先生の御指導の元、骨軟骨代謝に関与する新規遺伝子の単離同定および機能解析という壮大な目標を掲げ、可変型遺伝子トラップ法で作製した遺伝子改変マウスの解析を行っております。数あるターゲット遺伝子の中から私の大学院のテーマとして与えられましたのは今までにほとんど報告のないTransmembrane161a(Tmem161a)という遺伝子です。この遺伝子欠損マウスは野生型のマウスと比較し、明らかな骨量の増加を呈しており、現在その詳細なメカニズムを解析しているところです。

ANZBMSはAustraliaとNew Zealandを中心として開催される骨軟骨代謝研究の学会であり、日本骨代謝学会からは11名のTravel



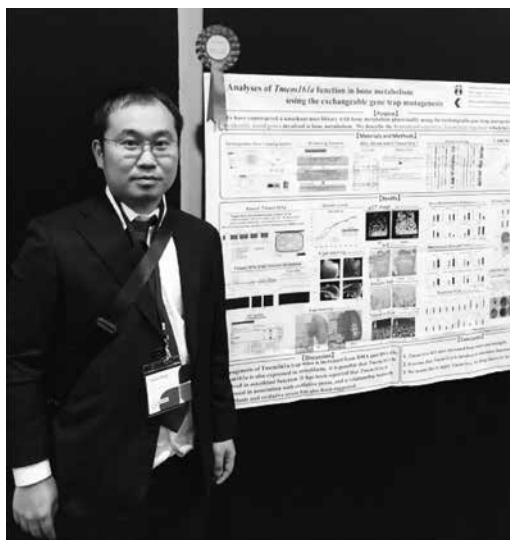
award受賞者が参加されました。私は国際学会の参加・発表も初めてであり、演題・参加登録の時点からかなりの不安がありました。発表前日にSydney経由でQueenstownに到着しました。Queenstownは人口1万5千人程度の小さな町で、バンジー・ジャンプ発祥の地としても知られる世界的にも有名な観光地です。私は目の前に湖が広がる会場のホテル(Rydges Lakeland Resort)に宿泊しました。

plenary posterに選ばれており、早めにposterを貼っていたところ、会場の担当者の方に、これを横に貼りなさいと言われましたので見てみますと、「Early career investigator」と書かれている花飾りでした。びっくりした反面、とても嬉しかったのを覚えています。posterセッションでは発表

はなく、posterの前で質問を受ける形式でした。なんとか質問に答えることが出来ましたが、自分の英語力の低さを痛感した時間でした。

学会以外では、仲良くなった日本人の先生方と一緒に羊を見に行ったり、人生初のバンジージャンプをしたり、普段では出来ないような経験をさせていただきました。骨代謝学会は整形外科のみならず、内科や歯科、企業の方も参加される学会で、新たな出会いがあり、最初は不安に思っていた一人での学会参加も、振り返ると大変有意義なものでした。

今回このような会に参加できたのは、帖佐教授、関本先生、これまで研究を引っ張ってくださった先輩方、実験スタッフのみなさまのご助力によるものだと感謝しております。また最後になりましたが、同門の先生方におかれましては、今回の短期留学支援をはじめ研究に関しまして、いつも暖



かいご支援をいただき心より御礼申し上げます。現在、新たな知見を得るべく、日々研究に頭を悩ましております。まだまだやるべきことは多いと思いますが、宮崎から新しいものを発信できるように頑張っていきたいと考えています。

今後ともよろしくお願いいたします。



展望台からの Queenstown の街並み



世界遺産
(ミルフォードサウンド)



国際学会(ORS)

宮崎大学工学部 大内 宏輝

このたび、本同門会誌への寄稿を依頼されましたので、至らぬ身ではありますが、筆を執ることとなりました。私は宮崎大学工学部の鄧鋼教授の下でバイオメカニクス研究に従事し、博士号（工学）を取得、現在は工学部で研究員をしております。また、今年の5月より、整形外科教室でも非常勤の研究員をさせていただき運びとなりましたので、よろしくお願いいたします。

研究成果発表のため、2019年2月2～5日に行われたORS（Orthopaedic Research Society）Annual meetingに、帖佐先生と鳥取部先生とともに参加してまいりました。本国際学会は、整形外科に関与する様々な分野の方々が年一回集まり活発な討論が交わされる米国の整形外科基礎学会です。毎年開催地が変わる学会で、本年度はテキサス州の州都オースティンでの開催でした。先生方はサンフランシスコ経由の別便、私はデンバー経由ということで、三者三様の経路で開催地へ向かう予定になっていました。しかし出発の日、成田空港では日航機による滑走路での脱輪事故が発生、その影響で飛行機の出発時刻に遅れが発生し、予定通りに乗り継ぎに成功して現地入りできたのは帖佐先生だけでした。私

はデンバーで4時間後の飛行機に乗れましたので体力的にもそれほど影響を受けず、現地時間の23時頃にはホテルにチェックインできました。しかし、鳥取部先生は大変だったようで、サンフランシスコで8時間程度足止めを受け、ホテルに入れたのが25時頃。「大内さんの隣の部屋取れました～、まだ起きてます？」と、ラインを頂いたので様子を見に行ったら、かなりやつれていらしたことが思い出されます。翌日、学会場で帖佐先生がお知り合いの先生方とお話される中、昨夜中に現地入りすることが出来なかった方々も多数いらっしゃるとの情報を得、私たちはベッドで寝ることができて幸運だったことが分かりました。

学会では、多くの参加者との意見交換を行い、興味深い発表や貴重な講演を拝聴する機会に恵まれ、今後の研究に対するインスピレーションを得ることができ、私にとって大変有意義なものとなりました。私と鳥取部先生はポスター発表を行いました。鳥取部先生の研究課題は盛況でしたが、私の方は静かな発表となり、ニッチな分野なんだと肌で感じさせていただきました。

食事に関しましては、テキサスの郷土料理

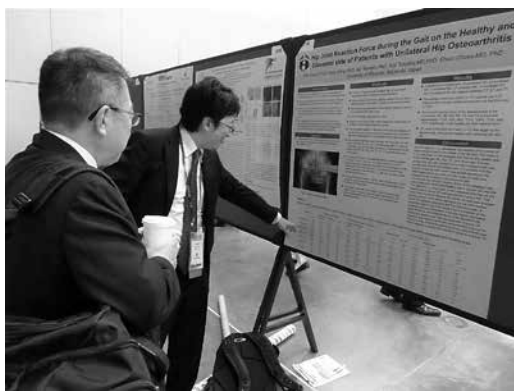
であるバーベキューや、南部ならではのメキシコ料理に舌鼓を打たせていただきました。お酒については、ローカルビールの種類の多さ（味も銘柄も）に多少の驚きを感じました。こんなに多くては好みのビールを見つけるには滞在時間が短すぎと思いました。ある意味、宮崎の焼酎の多さに近いと思います。

このようにお酒を飲みながらの食事の場ではありましたが、帖佐先生と鳥取部先生からたくさんのご意見、ご指導を頂戴し、私にとってはある意味学会自体よりも得るものが多かったと感謝しております。

余談になりますが、花粉症について書かせていただきます。花粉症の私は、日本においては2月中旬から4月にかけて不便な季節を過ごしております。ですので、例年この時期にORSが開催されアメリカに行くことで花粉症から開放されていたのですが・・・このたび

は違いました（涙）。日本ではまだ発症していなかったのにオースティンではくしゃみ連発でとまる気配がない。調べてみると、オースティンは花粉症が有名とのこと。ホテルから遠くを見渡しても杉は一本も見当たらないのですが、どこから飛んでくるのでしょうか？完全に油断していたため薬も持っていなかったもので、なかなか辛い思いをさせていただきました。今後海外に行く際は前もって花粉症の情報を仕入れて行こうと思います。

最後になりますが、本学会参加にあたりまして、ご支援いただきましたすべての皆様に心より御礼申し上げます。この経験を今後も研究発表の糧にさせていただきたいと思っておりますので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。





国際学会(WCSM)に参加して

宮崎市郡医師会病院 整形外科 石田 翔太郎

入局2年目の石田翔太郎です。4月にオーストラリア、ビクトリア州のトーキーで開催されたWorld Conference Surfing Medicine(WCSM)の参加報告をさせていただきます。この会は今回で7回目であり、まだ重箱の隅をつつくような会ではありますが、私たちサーフィンにも医学にも浸かっている人間にはとても学びの多いものです。ほとんどの方がスーツでなくTシャツでの参加がありますが、いたって真面目な会です。

Current states and issues regarding surfing injuries and the medical systemを題材にポスター発表を行いました。多くの先生方にご教授頂きながら準備し、宮崎県からは野崎東病院の小島岳史先生と2人での参加でした。外傷はもちろん、サーフィン中に起きた脳挫傷の症例報告やメンタルのコントロール法、World Surf League(WSL)でのメディカルケアに関する活動報告など整形外科領域

だけではない多岐にわたる話を聞くことができ、貴重な経験ができました。WCSM開催時間外はサーフィン博物館でサーフィンの歴史を学んだり、関東から参加されていた先生方とカンガルーを食べてみたりしましたが、基本的には日本での生活と同様に日の出とともに海に入り夕食を済ませると速攻就寝という代わり映えのないものでした。毎日サーフィンをしていた聖地ベルズビーチでは翌週WSLの大会を控えていた初の日本人ツアー参加者五十嵐カノア(先日WSL日本人初優勝と報道があった)にも会うことができました。

去年に引き続き2回目の参加ということで、多くの海外で活躍している医師とも再開でき、素晴らしい時間を過ごせました。参加させていただきありがとうございました。

次回のWCSMは宮崎開催です。

移動直後にもかかわらず行かせてくださったことも療育センターの先生方に感謝します。



①サーフィン博物館



②発表



③ベルズビーチ



④チームジャパン



⑤五十嵐カノアと

PREVIOUS WINNERS



2018 – Shotaro Ishida

The winner of the abstract prize was Shotaro Ishida from the Department of Orthopedics at Miyazaki university, Japan. His research focused on the relationship between radiographic findings of lumbar spin instability and MRI findings for disc degeneration in pro surfers. He found there is a link between lumbar instability and disc degeneration. Further it seems that not only hyperextension of the lumbar spine (i.e. with paddling) but also flexing (during pop-up) affects the lumbar spine.



同門会研究助成 成果報告 ロコモティブシンドロームの新規創薬のための 未知の標的分子探索の挑戦

宮崎大学医学部整形外科学教室 関本朝久

平成25年度より同門会から研究助成を頂き、誠にありがとうございました。心から深く感謝申し上げます。これまで研究補助員の方々の給与、大型実験機器の修理、マウス飼育費等々大切に使用させて頂きました。この研究助成のお陰様で、数多くの研究成果を上げることができました。私の研究内容は「骨粗鬆症・変形性関節症等のロコモティブシンドロームの新規創薬のための未知の標的分子探索」というテーマで、熊本大学大学院時代から、遺伝子トラップ法を用いて骨軟骨に影響を及ぼす未知遺伝子を発見し、その遺伝子機能を網羅的に解析して参りました（同門会誌H6, 19, 26, 29年）。以下に研究概要と平成25年以降の研究成果をご報告致します。

ロコモティブシンドローム（運動器症候群：ロコモ）は本邦では現在4700万人以上の罹患が推定されており、超高齢社会が進むにつれてその数は増加の一途をたどると予想されており、健康寿命延伸の為にもその病因病態解明は急務となっています。私たちはロコモを代表する骨粗鬆症や変形性関節症等の病因病態解明、そして新規創薬の為の未知の標的分子探索の為に、骨軟骨に異常を来たすノックアウトマウスライブラリーを構築して

きました。ノックアウトマウス作製においては未知遺伝子の単離同定と同時に個体レベルでの機能解析が効率的に行える遺伝子トラップ法を施行し、そのトラップクローンデータをEGTCデータベース（Database for the Exchangeable Gene Trap Clones; <http://egtc.jp>）に公開しています。これまで単離した1278個のトラップESクローンの中から、骨軟骨スクリーニングを実施し、骨軟骨に影響を及ぼす42種類の新規遺伝子群を発見しました。現在それぞれのマウスラインにおいて詳細な解析を行っております（Scientific Reports, 2017）。

私が熊本大学教官だった頃、ノックアウトマウスを数年かかって作製してもマウスは予想に反して全く正常だったパターンを経験していました。これでは大学院生も大変ですので、私は必ず何らかの骨表現型異常を呈するマウスを選別し、さらに競合を避けるために東京大学や京都大学などの国内外の大規模な研究グループが解析していない遺伝子を選択することで、大学院生が臨床をしながらでも自分のペースで研究できる環境を作ってきました。今後これらのマウスライブラリーはバイオリソースとして様々な骨軟骨代謝研究で

の有効活用が可能で、さらに私たちの対象としている遺伝子は過去に十分な報告のない遺伝子ばかりを選別しているため、新たな骨軟骨代謝制御機序を解明できる可能性があり、今後骨粗鬆症等のロコモの新規創薬にも貢献できると考えています。

今回の同門会研究助成のお陰で、数多くの成果を上げることができました。平成25年以降の研究成果としまして、まず私自身は、第89回日本整形外科学会学術総会 優秀ポスター賞、第40回日本股関節学会学術集会 優秀ポスター賞、第42回および第43回日



私：第89回日本整形外科学会学術総会 優秀ポスター賞

本股関節学会学術集会 スペシャルポスター賞、第32回日本整形外科学会基礎学術集会 優秀ポスター賞ノミネート(全体から9演題に選出)、H26-28年度科学研究費補助金 基盤研究C、H29-R1年度科学研究費助成基金 基盤研究C、中富健康科学振興財団研究助成受賞。船元太郎先生は、第28回日本整形外科学会基礎学術集会 最優秀ポスター賞、H27-29年度 科学研究費助成基金 基盤研究C採択。黒木修司先生は、第32回日本骨代謝学会学術集



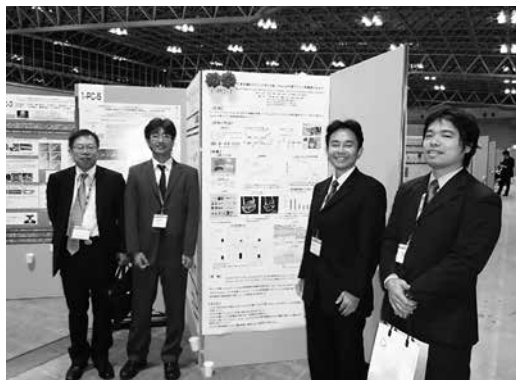
黒修先生：第32回日本骨代謝 優秀ポスター賞 会 優秀ポスター賞、第28回日本整形外科学会基礎学術集会 優秀ポスター賞ノミネート(全体から10演題に選出)、H26-29年度科学研究費補助金 基盤研究C、整形災害外科学研究助成財団エーザイ奨励賞受賞、そして医学博士号取得。大田智美先生は、H26-28年度科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究採択。宮崎志保子先生は、第33回日本骨代謝学会 ANZBMS 2015 Travel Award、第29回日本整形外科学会基礎学術集会 優秀演題賞ノミネート(全体から10演題に選出)、第31回日本整形外科学会基礎学術集会 優秀ポスター賞ノミネート(全体から11演題に選出)。永井琢哉先生は、ANZBMS 2018 Young Investigator Award、第36回日本骨代謝学会 ANZBMS 2018 Travel Award、第31回日本整形外科学会基礎学術集会 優秀ポスター賞ノミネート(全体から11演題に選出)、H30-R2年度科学研究費助成基金 基盤研究C、中富健康科学振興財団研究助成受賞。そして山口洋一朗先生は、今年4月にR1-R3年度科学研究費助成基金 基

盤研究Cに採択され、このプロジェクトにおいてちょうど10本目の科研費採択となりました。

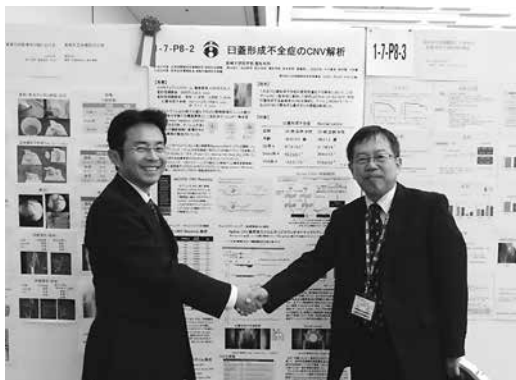
皆さんそれぞれ臨床とともに本当によく頑張って数多くの成果を挙げてきたと思います。本当にありがとうございました。これで私が大学院生だった当時、たった一人で熊本に行ったことが報われたような気がしました。永年にわたる教室の歴史に少しは貢献できたのではないかと考えております。私が熊本から宮崎に帰る際に、恩師の山村研一教授から、受け継ぐ者がいる限り進歩は続いていくということで『人を育てなさい』とお言葉を頂きました。これで山村先生との約束が果たせたと思っています。宮崎での研究はゼロからのスタートになるので、当時色々ご心配し

て頂きました。私自身ようやく肩の荷が下りました。これからは若手の先生たちが中心となって教室の研究を盛り上げていってくれると確信しています。

今回の研究助成におきしては、平川俊一同門会々長、河野雅行名誉会長、そして同門会の皆様に心から深く感謝申し上げます。また、これまであらゆる方面からご指導ご支援下さいました帖佐悦男教授、田島直也名誉教授、熊本大学の山村研一教授、荒木正健准教授、荒木喜美教授、このプロジェクトに関わった諸先生方、そして土持郁代さん、永田美恵さん、矢野百恵さんを始めとします研究室のスタッフの皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



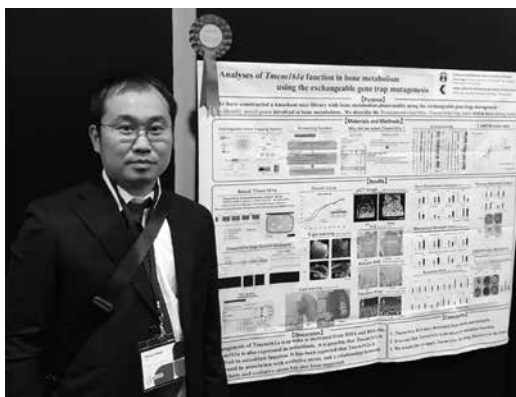
船元先生：第28回日整会基礎 最優秀ポスター賞



私：第40回日本股関節学会 優秀ポスター賞



永井・山口先生・私：第36回日本骨代謝学会



永井先生：ANZBMS 2018 Young Investigator Award



短期留学支援 報告 -2018 JOSSM-USA Traveling Fellow-

宮崎大学医学部整形外科学教室 山口 奈美

2018年7月1日～20日の約3週間に渡り、米国スポーツ整形外科界を代表する4施設: UCSF (University of California, San Francisco) Medical Center、UPMC (University of Pittsburgh Medical Center)、Umass (University of Massachusetts) Memorial Medical Center、HSS (Hospital for Special Surgery) を訪問し、AOSSM (American Orthopaedic Society for Sports Medicine: 米国整形外科スポーツ医学会) 2018 Annual Meetingに濱井敏先生(九州大学)、武長徹也先生(名古屋市立大学)とともに参加いたしました。同門会の先生方にご支援を頂き、各訪問地で大変貴重な経験をさせて頂きましたので、報告いたします。

【UCSF Medical Center (7月2日～4日、サンフランシスコ)】

ホストは肩膝関節を専門とされているC. Benjamin Ma先生でした(写真1右から2番目)。Sports Medicineのチーフであり、各分野でエキスパートの先生方の手術を自由に見学する機会を頂きました。お互いの研究成果を披露して意見交換する場を設けて頂いたことも貴重な経験となりました。独立記念日にはご家族とのGolden Gate Bridge Parkでのトレッキングに招待して頂くなど、とても温かく迎えて頂きました。

【AOSSM 2018 Annual Meeting (7月5日～8日、サンディエゴ)】

各セッションが厳選された演題とショート

レクチャー、数例の症例検討から構成されており、各々が専門とするセッションを聴講し勉強になりました(写真2)。Traveling FellowとしてWelcome receptionや Family Night on the USS Midway などのSocial eventsにも参加しました。

【UPMC (7月9日～11日、ピッツバーグ)】

ホストのFreddie H. Fu先生(写真3右)の外来とACL再建術の見学の他、NFLスティーラーズとNHLペンギンズのSports Complex, Biodynamics LaboratoryとOrthopaedics Robotics Laboratory、Cellular & Molecular Engineeringなどの研究施設のツアー、更にはMount Washingtonや学びの聖堂などの名所観光にディナーと、とても充実した日程を過ごしました。最終日にはFu先生から直々にAnatomic Individualized ACL再建術のレクチャーを受ける機会も得られました。

【Umass Memorial Medical Center (7月12日～14日、ボストン)】

ホストのBrian Busconi先生(写真4右)の手術を中心に肩膝股関節の鏡視下手術見学しました。Busconi先生の計らいで、ボストンレッドソックスの3Aの試合をベンチ内から観戦させていただきました。また、フェローのcadaver trainingに参加させてもらい、一緒に膝や肩のtrainingを行いました。

【HSS (7月16日～18日、ニューヨーク)】

最後の訪問地であるHSSでのフェローシッ

ブは、我々のプレゼンテーションで始まり
ました。その後ホストのJohn G Kennedy先生
(写真5中央)の外来見学や40室ある手術室で
行われている様々な手術の中から、それぞれ
興味のある手術を見学させていただきました。
その他、研究施設の見学やディナーに招待し
ていただくなど、充実した3日間を過ごしま
した。ホストのStephen J O'Brien先生には、
O'Brien testを直々に教えて頂きました(写真

6中央)。

始まる前は不安要素の方が多かったのです
が、始まってみればあつという間の3週間で
した。最後になりましたが、traveling fellow
にご支援いただきました同門会の先生方、快
く送り出して下さいました大学病院の先生方
に、この場をおかりしまして御礼申し上げます。
有難うございました。



写真1



写真2



写真3



写真4



写真5



写真6



医局長挨拶

宮崎大学医学部整形外科学教室 濱 中 秀 昭

医局長に就任して、早1年余りが過ぎました。医局長業務に関して知らないことばかりで、皆様にご迷惑をたくさんかけたと思いますがお許しください。昨年の医局長の仕事として、良かったことは新入医局員を5名、既卒の先生を2名宮崎大学に入局していただいたことです。医局長の仕事として、研修医の先生の入局勧誘があります。前回は申しました通り、若い先生たちは医局勧誘の際に食べたい食事内容に関してほとんど肉になります。毎回焼肉を食べていると体重がどんどん増し現在おそらく過去最高体重と思われます。（怖くて体重計に乗れません。）また、体の不調も出てきてまして昨年は胸痛発作がありました。そのため、大学病院循環器に入院して心臓カテーテル検査を受けました。その際に、テンポラリーペースメーカーを入れられ自分の心拍数を術者の先生の思うままに変えられた時の胸の違和感は、不整脈の患者さんの苦しみを理解できました。また、造影CTの際の造影剤の体の熱さや痛みも非常にきつく患者様の苦しみを知りました。私の体を犠牲にして、新入医局員が入局していただけるのであれば苦労も報われるのですが、入局が少ないとなると報われません。研修医の先生方

が先生のもとに研修で訪れた際にはぜひ勧誘のほどお願いいたします。接触がない人は絶対に入局しませんので研修医の指導（飲み会なども含めて）をお願いいたします。その際の援助は可能な限り行いたいと思っています。その中で、宮崎大学整形外科に入局を少しでも考えている研修医の先生の情報がありましたら、直接でもメールでも手紙でも構いませんのでご教授いただければ幸いです。御一報ください。

次に、医局長の業務で心を悩ませるのは人事異動です。いろいろ医局の将来像を考えて人員配置を考えていますが、100人ひとがいれば100通りの考え方があるのだなと痛感させられました。その人の希望や家庭環境など考慮して決めたいと思いますがなかなか皆100点満点の人事異動はできないのが現状です。皆様と対話しながら決めていきたいと思いますが、自分の思う通りの移動ではないと思う方もいると思います。大局的な観点から医局の事情と考えていただき受け入れていただければ助かります。

医師派遣につきまして、様々な病院から人員増員や新規派遣などの要望をいただきます。なかなか要望通りに進まないのが現状です。

しかし今回4月の人事異動では、宮崎市郡医師会病院と都城医師会病院の人員を増員出来ました。決定した理由としては、外来数（新患数）、手術数、入院数、当直回数、時間外労働時間などデータをとり一番就労がきつい病院の人員を増やしました。今回7名の新しい入局者がいたために出来たことです。今後も先生方の研修医への指導が今後の入局者増へとつながり、関連病院への医師派遣数の増加、しいては教室の今後の発展につながると考えていますのでよろしくお願いいたします。

医局長業務と違いますが、最近の大学の脊椎の状況につきまして少し報告させていただきます。様々な病院からご紹介いただきありがたいのですが多くなりすぎて現在入院待ちが6か月になっています。大学での手術も昨

年過去最高の件数を行っていますが紹介患者増に対応できていないのが現状です。非常に患者様や同門の先生にご迷惑をおかけして申し訳ありません。解決策として大学以外の病院でできる合併症が少ない患者様に関しては、同門の病院で脊椎手術できる環境を整えていただける（顕微鏡、透視、全身麻酔できるなど）と脊椎外科医を派遣し手術を行いたいと考えています。ヘルニアや狭窄症などの割と簡単な手術に関しては同門の先生が自信がない場合には指導も行います。脊椎のすそ野を広げていければと考えていますのでよろしくお願いいたします。

今後も医局行事などで先生方にご迷惑をおかけすることが多々あると思われませんが、教室へのご協力のほどお願い申し上げます。



西日本整形外科親善野球大会を終えて

一般財団法人 弘潤会 野崎東病院 三橋 龍馬

前年度の久しぶりの予選突破を受け、継続をと誓い大会に臨みました。

試合の詳細はスコアブックがないこと、敗戦を決定付けたキャプテン三橋が途中登板の当事者であること、そして筆者の特性で都合の悪い記憶から脳内から消去されるということより試合内容はさっぱり覚えておりません。対戦相手もわからない始末です。

簡単にいうと完敗でした。途中まではいい試合でした。エース長澤の降板により急遽マウンドに登った三橋でしたが四球四球を連発し結局コールド負けしました。こういったピッチングは大学5年の春以来18年ぶりのことでした。あの日も肩の調子自体はよく、決して調子は悪いことはなく球自体は走っており、軽く投げても高めのボールになってしまいう日でした。

惨敗の後、屈辱的でしたのでさっさと宮崎に帰りたかったので当日の朝、宮崎よりわざわざ駆け付けてくださった岡田整形外科院長福嶋先生の運転手を買って出て宮崎まで帰りました。助手席は同じく当日福嶋先生の車で駆けつけてくれた安藤先生、後部座席に福嶋先生という豪華メンバーを乗せて帰路につきました。メンバー的にしょうがないのですが当然の如く、車内は反省会と称し麦酒で乾杯

といった状況です。運転手三橋は当然ですがノンアルコールです。酒が足りないとの理由でえびので一旦高速を降り、コンビニで酒を補充し、またえびのから高速にのるということなども豪快な帰路でした。

無事、岡田整形外科にたどり着き家に帰ろうかとしていたところ、福嶋先生と安藤先生はそのまま安藤先生の家にて二次会を開くとのことでした。まだ昼すぎでしたので迷いましたが同伴させていただきました。安藤先生の家は改築されており、居心地が良かったこともあり結局夜まで飲み続けたのでその日の記憶はほぼありません。

最後は、安藤先生のお子さん（高校生）の家庭教師をしに来た石田先生の息子さん（大学生）と呑んで、一緒にタクシーで帰宅したのでした。

元号が変わり、結果として平成最後の大会で屈辱を味わうこととなったのでした。（やけ酒でその記憶は洗い流されましたが）

令和元年の本大会は宮崎開催であり、ぜひとも勝ちたいと思っていますので応援のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、日頃より快く学会などに送り出してくださる同門の先生方にこの場をお借りして深謝いたします。



日整会サッカー大会を振り返って

県立日南病院 平川雄介

2019年3月24日に日本整形外科学会サッカー大会の南九州予選が、宮崎市の生目の森運動公園で行われました。天気も快晴、3月とも思えない日差しで絶好のサッカー日和でした。

予選のシステムは鹿児島大学、大分大学との総当たり戦で優勝チームが本戦に出場できる仕組みになっています。今年も、1試合目に鹿児島大学、3試合目に大分大学と理想の試合順となりました。しかし、日吉キャプテンの情報によると両大学共にサッカー部出身の新入局者が2人(大分大学はトリニータユース出身)もいるという情報があり、高齢化の進む我がチームとしては羨ましいばかりです。

1試合目は前半より鹿児島大学に攻め込まれ、ほとんど攻撃が出来ず一方的に防戦となってしまいました。GK小島先生のファインセーブが何度もとびだし、なんとか0対0で折り返すことが出来ましたが、後半も同様な展開が続く、1点失うと前掛かりにはなっはカウンターで失点を繰り返し、最終的に0対4での敗戦となってしまいました。

大分大学と鹿児島大学の戦いは、大分大学が勝利し宮崎も5点差で次の試合に勝利すれば全国大会出場権を獲得できるという非現実

的な目標に向かって試合に臨みました。

鹿児島大学の疲れている大分大学にほどほどで勝ってくれという視線を感じながら2試合目が始まり、すぐに先制され0対2になると鹿児島大学の方々は悲しそうに帰途につかれました。その後、森田(雄)先生のアシスト？から日吉キャプテンのミドルシュートと混戦からボールを押し込み2点返しましたが、最終的に2対5で敗北し全国大会出場権は大分大学となりました。

愚考ですが敗因としては、私も含めオーバーウエイト多数、新戦力の発掘不足と考え4月よりダイエットと研修医の勧誘に力を入れています、方向性は間違っているとは思いますが。

また来年は出場権を獲得できるよう努力したいと思います。

宮崎開催ということで、同門の樋口潤一先生と山元恵太郎先生が応援に駆けつけてくださり、また差し入れまで頂きました。この場をお借りして御礼申し上げます。

同門の先生方には、ご迷惑をおかけする中いつも快く送り出してくださり、応援していただき感謝申し上げます。今後ともよろしくお願い申し上げます。



第92回日整会バスケットボール 大会を振り返って

宮崎大学医学部整形外科学教室 川 越 隆 行

日本整形外科学会において、宮崎大学の野球チーム、サッカーチームが活躍されている中、今年はバスケットボール（以下バスケ）の3対3に参加することになりました。

バスケ経験者が3人以上になり、チームは帖佐教授率いる7人の少数精鋭チームとなりました。実質的なキャプテンは石田翔太郎先生が務め、とりあえず1勝あわよくば優勝を目標に、2018年5月から月1回の練習で活動を開始しました（計4回）。

ユニフォーム作成し、トーナメント表も発表され、第92回日本整形外科学会の初日である2019年5月9日朝6時に期待と興奮を胸にコートに立ちました。

初戦の相手は徳島大学でした。初めて参加する大会であり、相手がとても強そうに見えました。しかし、試合が始まると、石田先生を中心としたオフェンスでじわじわと点差を広げていき、福島先生の3ポイントシュート

で大量リードとなりました。帖佐教授をはじめ、ほぼ全員の出場時間を確保できる良い試合となり、最終スコアは25対12と記念すべき初勝利となりました。

このまま勝ち進みたいところでしたが、翌日の2回戦は出場した大学の雰囲気は前日とは違うものでした。対戦相手である東海大学は190cm近くある先生を擁し、1回戦とは逆の試合展開となりました。石田先生の孤軍奮闘むなしく10対25で敗戦となり、初シーズンを終えました。10分間という短い試合時間ですが、体力の消耗が激しく、日々体を動かすことの重要性を感じました。

来年以降は、本来の主旨である学会での発表もしつつ、バスケできるように文武両道で励みたいと思います。最後になりましたが、朝早くから応援に来て下さった先生方、ありがとうございました。今後ともよろしく願い申し上げます。





第21回同門会テニス大会報告

橘病院 柏木輝行

2018年11月23日、心地よい日差しの中、和気あいあいとした中にも激しく打ち合う、整形外科同門会テニス大会が開催されました。

テニス経験のあるMR 2名の方も参加されました。試合方法は、ダブルスで、ペアを変えながら4ゲームマッチを行い、個々の獲得ゲームの総数で争います。

川野啓一郎先生は、試合前の練習から意欲的で、スライディングしたときの膝の擦りむき傷から血を流しながら打ち合っていました。試合中はキャップを後ろに回しコートを動きまわるテニスボーイです。福田健二先生は、私に闘志むき出して打ってこられて、ラリー戦ではかなり負かされました。大会のムードメーカーで後半みんな疲れたときも福田先生の元気な声で活気が復活します。麻生邦典先生は、前日夜中の3時まで飲んでいたにもかかわらず、強いサーブと、ストレートに通すリターンはかっこよく決まります。しかし、後半疲れが出てボールに威力がなくなります。走り込みが足りません。尾田朋樹先生はきれいなフォームと堅実なプレーですがペアの調子に恵まれず今年も優勝逃しました。昨年の優勝の神蘭豊先生はサーブもストロークもボレーも上手で、かなわないのですが連覇を意識したため

ここというポイントを落としてしまいました。優勝候補筆頭の松本英裕先生は、肘を痛めていつものプレーができず、しかし、痛みながらもしっかりプレーされてテニスを楽しんでいました。弓削先生は今年は欠場で、膝の調子が悪いとか。早く治してまた、勇姿を見せてほしいです。

私は、日頃シングルの練習をしていて、危ないと思うくらいきつい練習も頑張っていますが、県の大会で全く勝てません。4月の宮崎チャレンジ大会で一回戦初めて勝ったものの2回戦は高校生にコテンパンにやられて足がつってボロボロで帰りました。楽しいことは一つもありません。今回同門会テニス大会は3回目の出場でしたが、テニスを始めて、この大会が唯一とっても楽しい大会です。また皆さんと打ち合うのが楽しみです。





第27回同門会ゴルフコンペ ご報告

池之上整形外科 池之上 貴

平成30年度の同門会ゴルフコンペは平成30年11月25日に宮崎レイクサイドゴルフ倶楽部にて行われました。

大塚直純先生、森田信二先生と3人でラウンドさせていただき、初優勝をさせて頂くことができました。

大塚先生の若さあふれるスイング、森田先生のオールランドでそつのないプレイに引張られながら、楽しく、かつ緊張感をもったラウンドで、終わってみればダブルペリアのハンディ勝ちでした。

さて、今回は私のゴルフ人生についてこの場を借りて振り返ってみたいと思います。

私がゴルフに出会ったのは小学生4-5年の頃だったかと思います。私の父もゴルフが大好きで、それが講じて父の病院の3階屋上に人工芝を張り、ネットを構築して自分専用ゴルフ練習所を作ったのです。遊び盛りだった小学生の私もその練習所で見よう見まねにゴルフボールを打ち出したのが始まりです。ドライバー、アイアンは当然ですが、アプローチ、パターも人工芝の上で練習していたのを

覚えています。そこでスイングの基礎、ボールの打ち方を覚えました。夏休みになると、毎日のように父が近くのゴルフ練習場（打ちっ放し）に行くのについて行き、打ちっ放しはもちろん、練習場の周りにあったショートコースを一緒にラウンドしていました。

そうしているうちに今度は病院裏に自宅を新築したのですが、なんとその庭がグリーンになったのです。そこでもパター、アプローチはもちろん、バンカーまで練習し放題です。そういった生活を小学校高学年から中学生まで送っていました。今でいう、ジュニア世代の育成を普通に自宅で行えたのです。

それから、高校、大学と進学するうちに、ゴルフとの縁も遠ざかりましたが、時々友人達と一緒にゴルフをすると、圧倒的に上手で、スコアも良かったのを覚えています。

今回同門ゴルフコンペで優勝できたのは父のおかげだと感謝しています。

私のゴルフ人生は、平成31年度帖佐杯のページに続きます。





第15回帖佐杯ゴルフ大会 ご報告

池之上整形外科 池之上 貴

平成31年度帖佐杯ゴルフ大会は平成31年4月14日、宮崎レイクサイドゴルフ倶楽部にて行われました。

平川雄介先生、松本尊行先生と3人でラウンドさせて頂き、昨年11月の同門会ゴルフ大会に続いて優勝をさせて頂きました。

平川先生、松本先生の若さ触れるプレイに刺激されながら、楽しくラウンドさせて頂きました。

さて、同門会ゴルフに引き続き、私のゴルフ人生を投稿させて頂きます。

私が初めて18ホールのゴルフコースをラウンドしたのは19歳の頃だったかと思います。当時大学2年生で宮崎に帰省し、車も購入してもらって意気揚々としていました。そこで友人2人で宮崎カントリー倶楽部に飛び込みで行き、なぜかそのまま2名組の親子とラウンドすることになったのです。しかも、短パンTシャツの格好でしたので、今思えばなんと不謹慎なことかと思えます。スコアは120くらいで、バンカーに苦勞したこと、パー3のホールで1オンしたことを覚えています。

その直後に2回目のラウンドをしたのですが、都城近郊の三州カントリーでした。父とラウンドしたのですが、なんとスコアが45-45の90で、周囲がざわめいたのを覚えています。これも父のラウンドレッスンがあったからだと思えます。

その後は大学生活の合間に友人達と時々ラウンドするくらいで、なかなか90を切れませんでした。

そうしているうちにアメリカ留学が決定し、カリフォルニア州スタンフォード大学（トムワトソン、タイガーウッズ、ミッシェルウィ

も在学していた）に研究生として2年間滞在しました。この2年間が私のゴルフ人生の転機でした。

まず、ゴルフ環境が素晴らしいです。大学キャンパス内に300ヤードの練習場が完備され、18ホールのチャンピオンシップゴルフコースもあります。学生の身分だった私は20ドルでラウンドできました。サマータイム期間には夕方からもラウンド可能でした。この留学中に有名なペブルビーチもラウンドしましたし、タイガーウッズの全米オープン15打差優勝も目撃しました。

また、スタンフォード近辺は日本人も多数居住しており、日本人経営のゴルフショップもありました。そこにゴルフ好きの日本人が集まり、日々ゴルフ談義をしながら切磋琢磨です。留学生、会社からの出向、日本料理屋の経営者、等様々な職種のゴルフ好きが集まってゴルフコミュニティを形成していました。当然、皆ゴルフ猛者の集まりですから、腕も達者、ゴルフ道具にも詳しく、ゴルフショップ店員も居ますので、ゴルフクラブに対する知識が格段に増えました。シャフト交換、ロフト調整なども0.5度の単位で調整していました。

そういった仲間達と過ごししながら、留学2年目には平均スコアが70台にまで上達し、ラウンドは全てバックティーからしていました。

現在はその2年間の留学中に得られた知識、経験でゴルフの腕前をなんとか保っている状態です。

私のゴルフ人生、40年あまり経過しましたが、これからも健康に留意して楽しいゴルフ人生を送りたいと考えています。



野球検診報告2018

宮崎大学医学部整形外科学教室 長澤 誠

2018年度も毎年恒例12月の第3日曜日に9回目となります宮崎県少年野球検診を行うことができました。たくさんの同門の先生方、スタッフの皆様のお力のおかげと感謝しております。

2018年度は606名の小学生球児たちが受診してくれました。そのうち116名(19.1%)が要二次検診との診断を受け、113名が同日二次検診を受診しました(かかりつけに紹介3名)。そのうち6名の上腕骨小頭離断性骨軟骨炎(OCD)が発見されました。

OCDは症状のない早期に発見できれば保存療法で治癒が期待できますが、末期になると手術が必要になってしまいます。エコーを用いた検診が唯一早期発見できる方法と考えていますので今後継続していきたいと思います。

2017年度まで ①診察 ②小頭部エコー ③可動域測定 の3つのブースを回る形式で行っていましたが、2018年度から 診察とエコーを同時に行い ①診察・小頭部エコー ②可動域測定の2ブースに変更しました。これにより大人数が移動する箇所が減り検診効率がupしたこと、診察・小頭部エコーを二人の医師で担当いただき、若手Drとエコーが得意なDrをペアにすることで若手Drが一日で確実に肘エコーができるようになってもらえるようになったことが利点です。今後も改良を重ね良い検診を行っていきたいと思います。

2019年度は記念すべき第10回になります。検診にはたくさんの方のお力が必要です。是非ともよろしくお願いいたします。





Miyazaki University Trauma Customized Bioskill Course in Thailandに参加して

宮崎市郡医師会病院整形外科 吉 留 綾

2018年9月22日～23日にタイ・バンコクで行われたMiyazaki University Trauma Customized Bioskill Courseに参加させていただきました。

初めてのCadaver trainingでしたが、7月に事前講義として大まかに予習ができていましたので、実技自体をより有意義なものにできたと思います。事前講義では、Cadaverで予定されている部位の解剖やアプローチ、ピットフォール等について自分の担当部位を調べ、スライドにまとめて発表し共有しながら、上級医の先生方にも臨床に則したご指導をいただきました。

9月22日 福岡空港で5時間の足止めをくいましたが、予定外に天神を満喫したのちなんとかタイに到着しました。その日はホテル近くのレストランで香辛料強めのタイ料理を皆でいただき、翌日のCadaverに備え早めに休みました。

9月23日 ホテルから大通りを渡ったところにある、Chulalongkorn 大学内のChula Soft Cadaver Surgical Training Centerへ向かいました（大学入口で写真を撮りましたが、私だけ浮かれている感じです・・・）。4組に

分かれ、膝や股関節、足関節、肘・肩の解剖やアプローチを学びました。Cadaver自体初めてで戸惑うこともありましたが、医局の先生方なので初歩的な事も質問しやすい環境がとても有難かったです。普段はなかなか見る機会のなかった膝後方アプローチや肩甲骨後方アプローチを見られたことや、肘関節の靱帯を切離することで安定性に寄与する機構を確認したりするなど教科書だけでは学べないことを体験することができました。朝は晴天だったのですが、帰りには東南アジアならではのスコールにあい、ホテルまでの数分間でシャワーを浴びたようにびしょ濡れになったのもいい思い出です。夕食後に屋台を散策したり、お土産を買ったりと東の間のタイを満喫し帰路につきました。

タイトなスケジュールでしたが、その分集中できた初めてのCadaver trainingになりました。改めて、このような素晴らしい機会を与えてくださり、ご指導いただいた先生方に感謝申し上げます。今回の経験をこれからの診療に生かせるよう日々精進していきたいと思っておりますので、今後ともご指導よろしくお願い致します。





2018年医局旅行 in ハワイ

藤元総合病院 整形外科 川越 悠輔

2018年9月13日から16日にかけて医局旅行 in ハワイが開催され、私は妻と参加させて頂きました。

帖佐先生を始めとした医局の先生やご家族、病棟スタッフの方々など21名に参加頂き、非常に賑やかな旅となりました。

9月13日19時に福岡空港を出発し、日付変更線を通過し到着は9月13日9時となりました。空港では熱帯特有のスコールに迎えられたものの、滞在期間中は終始天候に恵まれました。帖佐先生にご挨拶いただき、初日はバスツアーから。カメハメハ大王像などの史跡をめぐり、道中ではハワイ最大級のショッピングモールであるアラモアナセンターへ。1日では回れないほど大きなモールの中で、妻はターコイズのネックレスに一目惚れし初日にしてカードを切って奮発していました。夕食はアランチーノ・オン・ビーチウォークにて、流石ハワイでベストイタリアンに選ばれただけあって本当に美味しかったのですが、ボリューム満点で女性陣の分までお腹いっぱい頂きました。その後はTVでも有名なロイヤル・ハワイアンホテルの屋外バーにてマイタイなどを堪能し、夜更けまで先生方・同期と語り合いました。

2日目はレンタカー3台にて山口洋一郎先生

プランニングのハワイをぐるりと1周ドライビングでした。宮崎とは違った綺麗な空や海を背景に老舗チョコレート工場オリジナルのマカダミアナッツチョコレート製作やドールプランテーション、カイルアビーチを散策しました。とても思い出深い体験でしたが、慣れない左ハンドルと初SUVなどでホテル到着後は爆睡でした。この日の夕食は大阪出身・ハワイ育ちの現地ガイドYoichiroの案内でチャートハウス・ワイキキにて。現地のシーフードは絶品で、近くのホテルからの花火も見られる絶好のロケーションも相まって感動したのを今でも思い出します。

3日目は各々自由行動でした。私たち夫婦はワイキキの街中をバスで回り、ショッピングやビーチバレー観戦を楽しみました。私たちは参加しませんでした。帖佐教授はじめ7名の先生はシュノーケリングやバナナボートなどのアクティビティに参加。真っ赤に日焼けしていて楽しい時間を過ごしたことが伺えました。最後の懇親会はハワイ郷土料理をビュッフェ形式で楽しむウィローズ レストランにて今回の旅行を振り返りながら笑いの絶えない楽しい会になりました。私たち夫婦だけ最後は帖佐教授から勧めていただいた夜景が見えるバーでゆっくり過ごす予定でした

が、行ってみるとゴリゴリのダンスミュージックが流れるclubでした（笑）しかし展望台ではハワイで一番綺麗な夜景を見られましたので帖佐教授には感謝申し上げます、ありがとうございました。

最終日は空港にて同期みんなとスターバックコーヒーでお揃いの水筒やマグネットを購入し、名残惜しさを感じながらワイキキを後にしました。

今回の医局旅行は帖佐教授を始め多くの先生方やスタッフが私たち夫婦に気さくに接していただき、多くの楽しい時間を過ごせて本当に思い出深い時間を過ごすことができました。また普段は外勤で家を空けることが多かったですが、夫婦で多くの時間を過ごすことができ2回目の新婚旅行に行けたみたいでした。改めて整形外科に入局出来て本当に良かったと思える旅でした。



1 年を振り返って



新入局員歓迎会 H30. 4



第7回九州MIST研究会
「Best presentation award」を受賞
H30. 4



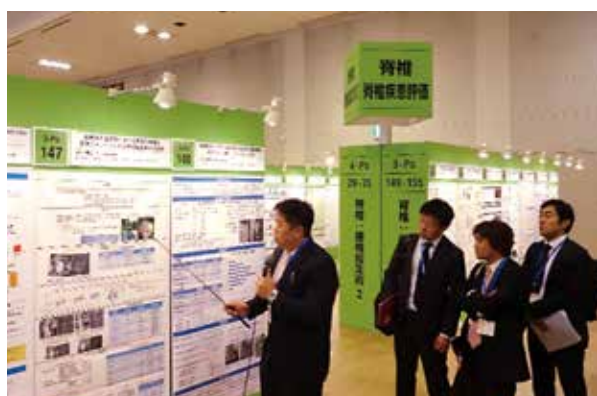
第7回九州 MIST 研究会 H30. 4



あおうみ健康フェスタ H30. 5



キャダバートレーニング
(タイ バンコク) H30. 9



日本整形外科学会学術集会 H30. 5



第10回 ロコモメイト 養成講座

ロコモとは? 運動時の足がのびのために膝関節の低下をきたした状態です。運動すると歩幅が広くなるため歩行が楽になります。

みやざきロコモメイトとは、宮崎県在住・在勤されている方でロコモに関する正しい知識を持ち、自分自身そして家族や友人、職場・地域においてロコモ予防を呼び掛ける方々です。講座を受けて皆様も「ロコモメイト」になりませんか？

■講座プログラム(120分)■

- ①ロコモ基礎講座(座学)
- ②ロコモ度テスト体験
- ③ロコモーショントレーニング指導

1つでも当てはまったらロコモかも？！

- ①片足立ちで膝下がはれない？
- ②足の甲でつまみ上げが楽にできる？
- ③階段を上るのにすりばいが必要である？
- ④足の甲や裏に痛みが頻りに出る？
- ⑤20分程度の歩行で息が切れる？
- ⑥歩行時に足がのびる感じがする？

check!

開催日時	2018年7月22日(日) 14時～16時	
定員	70名(先着順)	参加料 無料
場所	宮崎市保健所 〒880-0879 宮崎市宮崎駅東1丁目8番地2	
お申し込み	本誌裏面に必要事項を記入し、下記ロコモ事務局宛にFAXまたはメールでお送りください。事務局で受付後、会場詳細地図や注意事項をお知らせします。	

宮崎大学整形外科内 ロコモ事務局

TEL: 0985-85-0926 / FAX: 0985-84-2931

〒890-1602 宮崎県宮崎市内宮崎2-2-2

増殖のぞき参加
お申し込みください！



高次脳機能障害・市民公開講座 H30. 10



第250回三水会 H30. 11



はまゆう整形外科セミナー H30. 11



開院のご挨拶

いしだ整形外科 石田 康行

帖佐悦男教授のお許しをいただき、平成31年1月23日に宮崎市大島町（大島通線のダイレックス隣）に、いしだ整形外科を開業させていただきました。同門の皆さまには宮崎大学整形外科勤務中は未熟な私を育てていただき、感謝いたしております。これまで学ばせていただいたことを多くの患者さんに還元したい、患者さんに喜んでもらえる優しいねクリニックを作りたいと思い開業させていただきました。ご支援の程よろしく願いいたします。

クリニックの紹介をさせてください。ロゴはアロハな感じのロゴにしました。電車の中でふと浮かんできたロゴです。トイレのマークにはアロハシャツを着せました。リハビリ室の天井にはひつじ雲を漂わせました。待合には携帯の充電、部活生が宿題ができるようにカウンターを作りました。free WiFiを導入し、パスワードはgori-spoにしました。クリニックのニックネームになるといいなあと考えています。少し変わったクリニックになっています。お近くにお越しの際はお立ち寄りください。

院長になっての外来は勉強することが多く、日々楽しいです。こんなに踵が痛い人、石灰沈着性腱板炎の人が多くとは思いませんでした。まだまだ未熟でクレームをいただくこと

があり、へこむことがありましたがいい勉強をさせていただいています。難しいものですね。これまで以上に自分らしく頑張っていこうと思っています。

職員はハローワークで募集し、面接で選んでいただきました。一緒に働きたいと集まってくれた職員もいました。私に人を見る目があつたと思えるぐらい素晴らしい職員が集まってくれました。職員を愛し、大事にしたいと思っています。いつも職員には野球部のようなクリニックにしたいと話しています。朝の朝礼では気合を入れ、挨拶と笑顔を大切にしています。仲間が困っているときには気づき、声を掛け合い、助け合えるクリニックにしたいと思っています。

開院して3か月が経ちますがわからないことばかりで同門の先生方には多くのことを教えていただいています。これまで紹介していただく立場でしたが、紹介させていただく立場にかわり、同門会の有り難さ、繋がりの大切さを日々感じております。

最近、出川哲朗さんのように、人に可愛がられる人間になりたいと思います。それには人柄、人間力が必要です。皆さんに可愛がられるクリニックを目指して頑張っていきますのでご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。





開院のご挨拶

くもん整形外科 スポーツ・骨関節クリニック 公文崇詞

この度 帖佐悦男教授のお許しを頂き、令和元年5月24日に延岡市緑ヶ丘でくもん整形外科 スポーツ・骨関節クリニックを開院させて頂きました。宮崎医科大学整形外科へ入局し、20年が経ちますが、県北地区に特に縁があり、計13年間、門川(済生会日向病院)・延岡(県立延岡病院)で診療させて頂いてまいりました。その間同門の先生方には貴重な症例を数多くご紹介頂き研鑽を積むことができました。この場をおかりして深謝申し上げます。

県立延岡病院での勤務医時代は手術が診療のメインでした。外来診療は術後の患者様のフォローアップと主に関節疾患の紹介患者様に対する予約制外来でしたので、一般的な整形外科外来からはかけ離れた状況にしばらく身を置いておりました。

今回久しぶりにいわゆる一般整形外科外来をすることとなりました。いまさらながらですが運動器疾患でお悩みの患者様が非常に多くいることを再認識させられておりますとともに、腰痛や膝痛はもとより、思いのほか頸部痛・肩関節痛の患者様の多いことや、足関節・足部に問題を抱える小・中・高校生の多さに驚いております。(地域性やスポーツクリニックと銘打っていることも関係があるのでしょうか?)

今まで疎かにしていた整形外科全般の診察・診断・保存的治療を勉強しなおしながら、使い慣れない電子カルテ・診療機器とも悪戦

苦闘し診療している状況です。

また診療以外で多くの事務的業務があることは覚悟をしていたつもりですが、増えていく書類に埋もれながら、これまた日々格闘しているといった状態であります。

色々な社会の仕組みや制度・医事業務についても知らないことばかりで、本当に無知である自分を思い知らされております。さらに今までは整形外科の診療のこののみ考えていればいいという、様々なスタッフのサポート(お膳立て)がある、良い環境で仕事をしていただくと痛感させられております。

医師会にも入会し、近隣の先生方にご挨拶に伺った際には、延岡市内のクリニック事情など気さくに話して下さる先生もいらっしゃって、どの先生方もウェルカムな雰囲気です、少しほっとしています。

さらに同門会で各々同門の先生方にご挨拶した際にも、「分からないことがあったら、何でも教えるから」「身体には気を付けて。たまにはストレス発散も大事。」といったお気遣いのお言葉をかけて頂き、改めて同門会の絆の強さを感じ、非常に勇気づけられました。

今後は微力ながら、県北の地域医療に貢献できるよう、また教室・同門会の活動にも力になれるよう努力していく所存でございますので、同門会の先生方にはなお一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新入会員自己紹介(正会員)



名 前：荒 川 英 樹

生年月日：1973 年 10 月 6 日

卒業高校：宮崎県立宮崎西高等学校

卒業大学：産業医科大学

2019 年 4 月 1 日より伝統ある宮崎大学整形外科同門会に加えていただき、田野病院でお世話になっております。大学卒業から一貫してリハビリテーション科での診療を行い、がんリハや周術期リハ、超急性期リハなど多様化したリハ診療にも対応しながら、全般的なリハ医療に関して研鑽を積んで参りました。故郷、宮崎県のリハ医療の発展に尽力したいと思います。よろしくお願い申し上げます。



名 前：川 畑 武 彦

生年月日：1975 年 8 月 25 日

卒業高校：日向学院高等学校

卒業大学：浜松医科大学

今春、4 半世紀ぶりに鎌倉から宮崎に家族 5 人で移住してまいりました。現在は、宮崎大学の下肢 Gr でお世話になっております。

元号が変わった節目の年に、大好きな宮崎での生活をスタートさせることができ、嬉しく思っております。受け入れて下さった同門の皆様に深く感謝申し上げます。

至らない点もあると思いますが、令和の宮崎の医療を担える存在となれるよう努力して参りますので、御指導御鞭撻の程、宜しくお願い致します。

新入会員自己紹介(正会員)



名 前：川 越 隆 行

生年月日：1990 年 7 月 21 日

卒業高校：志學館高等部

卒業大学：鹿児島大学

(宮崎県日南市出身です)

整形1年目の川越隆行です。鹿児島大学を卒業して、県立宮崎病院で研修をしました。
整形外科は全身の疾患で学ぶことが多いですが、日々勉強にはげみます。
これから、宮崎の医療に貢献できるように頑張ります。



名 前：高 橋 巧

生年月日：1991 年 11 月 12 日

出身高校：明桜高校

出身大学：宮崎大学

はじめまして、高橋巧です。出身地は秋田県です。

学生の頃から宮崎に来て、早くも9年目になります。宮崎の自然の豊かさと気候・人柄など宮崎が好きになり宮崎で働くことを決めました。部活は準硬式野球部に所属していました。ポジションは外野です。趣味は魚釣りです。

初心者ですが、イカ釣りが好きです。

元気の源は、骨だと思うので、宮崎の元気に貢献できるように、これから骨々と頑張りたいと思います。

新入会員自己紹介(正会員)



名 前：福 嶋 研 人

生年月日：1990 年 6 月 19 日

卒業高校：宮崎第一高校

卒業大学：宮崎大学

宮崎大学医学部附属病院整形外科に入局いたしました整形外科1年目の福嶋研人です。宮崎出身で宮崎大学を卒業し、宮崎大学医学部附属病院で研修しました。

まだまだ学ぶことが多く、悪戦苦闘しています。一人前の整形外科医を目指し、これからも宮崎の地で日々精進していきます。宜しく御願い致します。



名 前：福 永 幹

生年月日：1989 年 12 月 1 日

卒業高校：宮崎南高校

卒業大学：川崎医科大学

今年度、宮崎大学医学部整形外科に入局した福永幹です。

出身は宮崎県で大学は岡山の川崎医科大学です。学生時代はラグビー部でポジションはウィング、フランカーをしていました。

患者さんの事を第一に考えられる整形外科医になれるよう日々、精進していきたいと思っています。

最後に、今後ご迷惑をお掛けすることが多々あると思いますが、一生懸命頑張っていくので何卒よろしく御願い申し上げます。

新入会員自己紹介(正会員)



名 前：松 本 尊 行

生年月日：1992 年 11 月 11 日

卒業高校：日向学院高校

卒業大学：宮崎大学

2019 年新入局員の松本尊行(まつもとたかゆき)です。宮崎県串間市に生まれ、中高を日向学院、大学は宮崎大学医学部に入学しました。日向学院ではサッカー部に所属し、ポジションはセンターバックをしていました。大学でもサッカーをしようかと考えていましたが、同じグラウンドで練習をしていたラグビー部の先輩に誘われるままラグビー部に入部しました。大学卒業後は県立日南病院で研修をしました。2 年間の研修では、多くのことを学ぶことができましたが、特に高齢者人口が多い地域で整形外科医が果たす役割の重要性を感じ、整形外科に関心を持つようになりました。さらに、宮崎大学医学部附属病院へ手術見学に伺った際に、整形外科医局の明るい雰囲気にも惹かれ入局を決心しました。4 月から整形外科医として働きだし 2 ヶ月程度しか経っていませんが、大学病院で様々な症例に触れながら先輩方から丁寧にご指導して頂く事が出来ており、整形外科に入局して間違いなかったと感じる日々を送っています。宮崎の整形外科に貢献できるよう頑張りたいと思いますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

同門会総会 議事報告

令和元年度総会：平成31年4月13日(土) 17:30～18:00 宮崎観光ホテル

1. 平成30年度(H30.4/1～H31.3/31)事業報告

(1) 会員状況(平成31年3月31日現在)

正会員：173名、賛助会員：44名

(2) 入会・退会

正会員入会：石田 翔太郎 先生(平成30年 4月 1日付)

岩佐 一真 先生(平成30年 4月 1日付)

川越 悠輔 先生(平成30年 4月 1日付)

北堀 彩泰子 先生(平成30年 4月 1日付)

日高 三貴 先生(平成30年 4月 1日付)

賛助会員入会：川越 勝秀 先生(平成30年 4月14日付)

正会員退会：戚 美玲 先生(平成31年 4月13日付)

賛助会員退会：永吉 洋次 先生(平成30年 4月14日付)

牧 伸哉 先生(平成30年 4月14日付)

結婚：向山 由希子 先生(旧姓：齊藤)(平成30年 4月11日)

北堀 貴史 先生・彩泰子 先生(旧姓：黒木)(平成31年3月2日)

川野 啓介 先生(平成31年 3月19日)

開業：黒木 俊政 先生(平成29年 4月 1日)

石田 康行 先生(平成31年 1月23日)

公文 崇詞 先生(平成31年 5月24日)

(3) 事業報告

平成30年 4月14日(土)：第1回役員会・同門会総会・新入局員歓迎会

「宮崎観光ホテル」

8月：第29号同門会誌発行

10月23日(月)：第2回役員会「ホテルメリージュ マンダリン」

11月：同門会名簿・会則発行

11月23日(祝)：第21回同門会テニス大会(優勝：柏木輝行 先生)

11月24日(土)：第3回役員会・講演会・忘年会「宮崎観光ホテル」

11月25日(日)：第27回同門会ゴルフ大会(優勝：池之上貴 先生)

平成31年 3月28日(木)：第4回役員会「ホテルメリージュ マンダリン」

(4) 教室支援（留学、学会等）

短期留学支援

(5) 会計報告

平成30年度決算は監査報告があり総会にて承認された。

2. 令和元年度（H31.4/1～R2.3/31）事業計画・予算

- （１）令和元年度の予算案は総会（H31. 4/13）にて承認された。
- （２）役員会開催 第１回役員会（平成31年 4月13日、宮崎観光ホテル）
第２回役員会（令和元年10月頃、ホテルメリージュ マンダリン）
第３回役員会（令和元年12月 7日、宮崎観光ホテル）
第４回役員会（令和 2年 3月頃、ホテルメリージュ マンダリン）
- （３）講演会：令和元年12月7日
はまゆう整形外科セミナー（第13回）
- （４）奨励賞（第13回）
 - ①大田 智美 先生『私と手の外科』
 - ②吉川 大輔 先生『膝とラグビーと私～スポーツドクターとしての活動を通して』
- ＊授賞式および講演は平成31年4月13日の新入医局員歓迎会で実施
- （５）親睦行事：令和元年11月23日（祝）：第22回同門会テニス大会
令和元年12月 8日（日）：第28回同門会ゴルフ大会
- （６）同門会誌第30号発行：令和元年 8 月
- （７）同門会会則名簿発行：令和元年11月
- （８）教室支援（留学・学会・研究助成など）：第46回日本股関節学会学術集会

3. その他

- （１）令和２年度（R2. 4/1～R3. 3/31）
同門会総会：R2. 4. 11（土）『宮崎観光ホテル』

教室同門の研究業績

◆著 書

- 1) リハビリテーション医学 第3版 P381-388
帖佐悦男
医歯薬出版株式会社, 2017, 1
- 2) 変形性関節症 診断と治療のABC 122
帖佐悦男
最新医学社, 2017, 4
- 3) 専門医の整形外科外来診療-最新の診断・治療
田島卓也, 帖佐悦男
南江堂, 2017, 4
- 4) クエスチョン・バンク CBT医学2018 最新復元問題 Vol.5
帖佐悦男
株式会社 メディックメディア, 2017, 7
- 5) 肩関節再建術-鍵盤断裂、肩関節不安定症の治療戦略- 第1章 腱板断裂
谷口昇
株式会社 メディカ出版, 2017, 7
- 6) 肩関節再建術-鍵盤断裂、肩関節不安定症の治療戦略- 第2章 肩関節不安定症
谷口昇
株式会社 メディカ出版, 2017, 7
- 7) 整形外科 Vol.68 No.8
帖佐悦男
南江堂, 2017, 7
- 8) 病気が見える Vol.11
帖佐悦男
株式会社 メディックメディア, 2017, 11

9) 極める 膝・下腿骨骨折の理学療法（骨折治療の固定方法を知る）

帖佐悦男

文光堂，2017，11

10) 極める 膝・下腿骨骨折の理学療法（脛骨骨幹部骨折）

中村嘉宏

文光堂，2017，11

11) 極める 膝・下腿骨骨折の理学療法（脛骨骨幹部骨折の理学療法）

宮崎茂明，落合優，石塚優樹，中村嘉宏，深尾悠，帖佐悦男

文光堂，2017，11

◆原 著

- 1) 陳旧性小指PIP関節橈側側副靱帯損傷に対する治療経験
大田智美, 中村志保子, 帖佐悦男, 矢野浩明
日本手外科学会雑誌, 33(4) : p510-513, 2017, 1
- 2) Development of an efficient screening system to identify novel bone metabolism-related genes using the exchangeable gene trap mutagenesis mouse models (共著)
Syuji Kurogi, Tomohisa Sekimoto, Taro Funamoto, Tomomi Ota,
Shihoko Nakamura, Takuya Nagai, Kumiko Yoshinobu, Kumi Araki,
Masatake Araki, Etsuo Chosa
SCIENTIFIC REPORTS, 2017, 1
- 3) ラグビーワールドカップ2019におけるメディカルネットワーク構築 (共著)
田島卓也, 中村明彦, 帖佐悦男
臨床スポーツ医学, 34(2) : p106-110, 2017, 2
- 4) Influence of Gender Differences on Range of Motion and Joint Angles During Eating in Young, Healthy Japanese Adults
Jun Nakatake, Koji Totoribe, Etsuo Chosa, Go Yamako, Shigeaki Miyazaki
Progress in Rehabilitation Medicine, 2 : p1-9, 2017, 2
- 5) 自家ハムストリングス腱を用いた二重束膝前十字靱帯再建術後の3種類の膝固定期間と骨孔拡大の関係
田島卓也
整形外科, 68(2) : p184-186, 2017, 2
- 6) スポーツ活動者の外傷性肩関節前方不安定症に対する鏡視下バンカート修復術の成績
横江琢示, 石田康行, 田島卓也, 帖佐悦男
日本整形外科スポーツ医学会雑誌, 37(1) : p59-63, 2017, 3
- 7) 仙骨骨巨細胞腫の2例
濱中秀昭, 黒木修司, 比嘉聖, 永井琢哉, 川野啓介, 李徳哲, 戸田雅,
川越秀一, 帖佐悦男
整形外科と災害外科, 66(1) : p165-169, 2017, 3
- 8) 当院における Fibrin Clotを用いた関節鏡視下半月縫合術の治療経験
戸田雅, 田島卓也, 山口奈美, 帖佐悦男
整形外科と災害外科, 66(2) : p52-55, 2017, 3

- 9) 多発性に肺結節を伴いゾレドロネート併用化学療法を施行した骨肉腫
黒木純, 盛武浩, 山田愛, 木下真理子, 澤大介, 上村幸代, 中村嘉宏,
帖佐悦男, 中田博, 盛口清香, 浅田祐士郎, 布井博幸
日本小児血液・がん学会雑誌, 54(1) : p54-57, 2017, 4
- 10) 開放性膝関節脱臼後に前十字・後十字・内側側副靱帯および後外側支持機構を同時再建した1例
田島卓也, 山口奈美, 谷口昇, 石田康行, 大田智美, 長澤誠, 帖佐悦男
日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会雑誌, 42(2) : p372-373, 2017, 4
- 11) 7人制ラグビー女子日本代表における膝前十字靱帯損傷の発生調査
平井晴子, 田崎篤, 田島卓也, 石山修盟, 中村明彦
臨床整形外科, 52(4) : p397-401, 2017, 4
- 12) Fibulin-3 in joint aging and osteoarthritis pathogenesis
Hasegawa A, Yonezawa T, Taniguchi N, Otabe K, Akasaki Y, Matsukawa T,
Saito M, Neo M, Marmorstein L, Lotz M
Arthritis Rheumato, 69(3) : p576-585, 2017, 5
- 13) 下腿長を考慮した立ち上がり能力測定およびその測定結果と年齢との相関
鄭鋼, 帖佐悦男, 鳥取部光司, 山子剛
運動器リハビリテーション, 28(1) : p68-75, 2017, 5
- 14) Copy number loss in the region of the ASPN gene in patients with acetabular dysplasia
T sekimoto, M Ishii, M Emi, S Kurogi, T Funamoto, Y Yonezawa, T
Tajima, T Sakamoto, H Hamada, E Chosa
BONE&JOINT RESEARCH, 6(7) : p439-445, 2017, 7
- 15) アマチュアサーファーの腰痛に関するアンケート調査
石田翔太郎, 帖佐悦男, 小島岳史
九州・山口スポーツ医・科学研究会誌, 29 : p28-31, 2017, 7
- 16) サッカー選手の鎖骨骨幹部骨折 -骨接合術で早期復帰は可能か?-
小島岳史, 久保紳一郎, 齊藤由希子, 三橋龍馬, 野崎正太郎, 田島直也,
帖佐悦男
九州・山口スポーツ医・科学研究会誌, 29 : p75-80, 2017, 7

- 17) Shoulder and elbow pain in elementary school baseball players: The results from a nation-wide survey in Japan.
Kenji Takagishi, Tetsuya Matsuura, Takashi Msatomi, Etsuo Chosa, Tsuyoshi Tajima, Mikihiro Watanabe, Tetsu Iwama, Toshiro Otani, Katsunori Inagaki, Hiroyasu Ikegami, Mitsuhiro Aoki, Ko Kato, Toru Okuwaki, Koichi Sairyo, Yasushi Kameyama, Akira Maeda, Moroe Beppu
Journal of Orthopaedic Science, 22(4) : p682-686, 2017, 7
- 18) アキレス腱延長術を行った脳性麻痺片麻痺患者における骨成長終了後の歩行分析評価
門内一郎, 川野彰裕, 梅崎哲矢
日本脳性麻痺の外科研究会誌, 27 : p105-109, 2017, 7
- 19) 宮崎県における春季プロスポーツチームキャンプに対するメディカルサポート報告 3シーズン (2014~2016) のまとめ
小島岳史, 田島直也, 田島卓也, 帖佐悦男
日本整形外科スポーツ医学会雑誌, 37(3) : p252-257, 2017, 7
- 20) 超音波検査による小児股関節炎の検討
小島岳史, 柏木輝行, 花堂祥治, 矢野良英, 帖佐悦男
宮崎県医師会医学会誌, 41(2) : p82-84, 2017, 9
- 21) アテトーゼ型脳性麻痺患者の肩痛に対して鏡視下バンカート修復術が有効であった1例
石田康行, 長澤誠, 谷口昇, 大田智美, 中村志保子, 帖佐悦男
肩関節, 41(2) : p613-615, 2017, 9
- 22) 三次元歩行分析を用いた先天性内反足に対する後内方解離術後の中長期的評価
門内一郎, 帖佐悦男
日本足の外科学会雑誌, 38(1) : p46-49, 2017, 9
- 23) 胸椎硬膜外に発生した血管脂肪腫の1例
川越秀一, 濱中秀昭, 黒木修司, 比嘉聖, 川野啓介, 永井琢哉, 李徳哲, 関本朝久, 帖佐悦男
整形外科と災害外科, 66(4) : p715-717, 2017, 9
- 24) Duchenne跛行を呈する片側変形性股関節症患者を対象とした健側と患側の股関節反力の検討
大内宏輝, 鄧鋼, 鳥取部光司, 山子剛, 帖佐悦男
臨床バイオメカニクス, 38 : p177-181, 2017, 10

- 25) Improving stress shielding following total hip arthroplasty by using a femoral stem made of β type Ti-33.6Nb-4Sn with a Young's modulus gradation.
Go Yamako, Dennis Janssen, Shuji Hanada, Thomas Anijs,
Kiyohide Ochiai, Koji Totoribe, Etsuo Chosa, Nico Verdonshot
Journal of biomechanics, 63 : p135-143, 2017, 10
- 26) Humeral bone resorption after anatomic shoulder arthroplasty using an uncemented stem
Inoue K, Suenaga N, Oizumi N, Yamaguchi H, Miyoshi N, Taniguchi N,
Munemoto M, Egawa T, Tanaka Y
Journal of Shoulder and Elbow Surgery, 26(11) : p1984-1989, 2017, 11
- 27) 一次修復不能な腱板広範囲断裂に対する広背筋・大円筋移行術の成績
呉屋五十八, 末永直樹, 大泉尚美, 吉岡千佳, 山根慎太郎, 谷口昇, 金谷文則
肩関節, 41(3) : p763-767, 2017, 11
- 28) Hemoglobin stimulates the expression of ADAMTS-5 and ADAMTS-9 by synovial cells: a possible cause of articular cartilage damage after intra-articular hemorrhage
Takuya Tajima, Tomohisa Sekimoto, Nami Yamaguchi, Noboru Taniguchi,
Syuji Kurogi, Masugi Maruyama, Etsuo Chosa
BMC Musculoskeletal Disorders, 18, 2017, 11
- 29) Quantification of the sit-to-stand movement for monitoring age-related motor deterioration using the Nintendo Wii Balance Board.
Go Yamako, Etsuo Chosa, Koji Totoribe, Yuu Fukao, Gang Deng
PLoS ONE, 12(11) : e0188165, 2017, 11
- 30) 宮崎県における側弯症学校検診の過去15年間の変遷
黒木浩史, 永井琢哉, 帖佐悦男, 田島直也
Journal of Spine Research , 8(11) : p1712-1715, 2017, 11
- 31) Translation of the humeral head scale is associated with success of rotator cuff repair for large-massive tears
Taniguchi N, D'Lima DD, Suenaga N, Ishida Y, Lee D, Goya I, Chosa E.
BMC Musculoskelet Disord, 18(1) : p511-519, 2017, 12

◆総 説

- 1) アキレス腱断裂に対する手術療法
田島卓也, 帖佐悦男
関節外科, 36(1) : p60-65, 2017, 1
- 2) 上肢-肩 Yergason test
長澤誠, 帖佐悦男
関節外科, 36(1) : p98-99, 2017, 1
- 3) ロコモティブシンドローム予防・改善のための具体的な運動指導方法
宮崎茂明, 落合優, 帖佐悦男
臨床スポーツ医学, 34(1) : p54-59, 2017, 1
- 4) ラグビーワールドカップ2019におけるメディカルネットワーク構築
田島卓也, 中村明彦, 帖佐悦男
臨床スポーツ医学, 34(2) : p106-110, 2017, 2
- 5) 変形性膝関節症のリハビリテーション
鳥取部光司, 帖佐悦男, 宮崎茂明
LOCO CURE, 3(1) : p36-40, 2017, 2
- 6) 上肢-手 Eichhoff test
三橋龍馬, 帖佐悦男
関節外科, 36(2) : p86-87, 2017, 2
- 7) <健康診断(運動器検診)>子どもの体力, 運動能力の変化
帖佐悦男
チャイルドヘルス, 20(3) : p177-183, 2017, 3
- 8) 下肢-股関節 Thomas test
日吉優, 帖佐悦男
関節外科, 36(3) : p96-97, 2017, 3
- 9) 上肢-頸椎 Spurling test, Jackson test
李徳哲, 帖佐悦男
関節外科, 36(4) : p130-131, 2017, 4

- 10) 7人制ラグビー女子日本代表における膝前十字靱帯損傷の発生調査
平井晴子, 田崎篤, 田島卓也, 石山脩盟, 中村明彦
臨床整形外科, 52(4) : p397, 2017, 4
- 11) 学術雑誌の評価法について
帖佐悦男
The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, 54(5) : p328, 2017, 5
- 12) 下肢-膝関節 McMurray test
小島岳史, 帖佐悦男
関節外科, 36(5) : p108-109, 2017, 5
- 13) 下肢-股関節 Trendelenburg徴候
中村嘉宏, 帖佐悦男
関節外科, 36(6) : p112-113, 2017, 6
- 14) ランナーの股関節障害
田島卓也, 帖佐悦男
臨床スポーツ医学, 34(7) : p652-657, 2017, 7
- 15) 上肢-肩関節 Wright test
川野啓介, 帖佐悦男
関節外科, 36(9) : p996-997, 2017, 9
- 16) 股関節温存手術の歴史
帖佐悦男
関節外科, 36(9) : p906-912, 2017, 9
- 17) 成長期(発育期)のスポーツ障害
帖佐悦男
臨床スポーツ医学, 34(10) : p1048-1052, 2017, 10
- 18) ロコモティブシンドロームの診断と治療法
帖佐悦男
Pharma Medica, 35(10) : p21-26, 2017, 10

- 19) ロコモ予防としての子どもの運動器検診—なぜ子どものころからロコモ予防が必要か—
帖佐悦男
THE BONE, 31(3) : p83-88, 2017, 10
- 20) 上肢—肩関節 Bear hug test
石田康行, 帖佐悦男
関節外科, 36(10) : p94, 2017, 10
- 21) School scoliosis screening - World trends and the problems encountered in Japan
Hiroshi Kuroki
International Journal of Orthopaedics, 4(5) : p814-818, 2017, 10
- 22) 肩腱板断裂
石田康行
整形外科看護, (秋季増刊) : p8-11, 2017, 11
- 23) 上肢—手関節 Ulnocarpal stress test
甲斐糸乃, 帖佐悦男
関節外科, 36(11) : p92-93, 2017, 11
- 24) レッグポジショナーを用いたTHA
中村嘉宏, 帖佐悦男
関節外科, 36(11) : p68-76, 2017, 11
- 25) 特集 人工関節置換法アプローチと最新の機器のトレンド
帖佐悦男
関節外科, 36(11) : p5-, 2017, 11
- 26) 上肢—肩関節 O'Brien test
谷口昇, 帖佐悦男
関節外科, 36(12) : p88-89, 2017, 12

◆学会報告

1) 運動器検診の意義と事後指導の在り方について

帖佐悦男

都城市学校保健会養護教諭部会, 2017, 1, 宮崎

2) MEDの股関節に対して小児期に観血的治療を受け整形外科医師になった1例

梅崎哲矢, 川野彰裕, 門内一郎, 長鶴義隆, 帖佐悦男

第33回九州小児整形外科集談会, 2017, 1, 福岡

3) 運動器疾患を取り囲む新たな概念ーロコモ・サルコペニア・フレイルー

帖佐悦男

第56回整形外科カレントコンセプト, 2017, 1, 東京

4) 関節エコー デモンストレーション

濱田浩朗, 平賀真雄

Kyushu Ultra Sound Advanced Seminar, 2017, 2, 福岡

5) 当院関節リウマチ患者における骨粗鬆症治療の実態

吉川教恵, 税所幸一郎, 上通一師

第32回宮崎県リウマチ研究会、第25回宮崎リウマチのケア研究会, 2017, 2,
宮崎

6) 上肢に発生した日結核性抗酸菌症の治療経験

大田智美, 石田康行, 谷口昇, 田島卓也, 山口奈美, 中村志保子, 帖佐悦男,
矢野浩明, 梅崎哲矢

第38回九州手外科研究会, 2017, 2, 福岡

7) 成長期の運動器疾患と学校検診ーなぜ子どもの頃からロコモ予防が必要かー

帖佐悦男

第7回TKC Ortho Conference, 2017, 2, 千葉

8) より良いリバース型人工肩関節置換術の機能獲得のために腱板再建術は有効か？

～Multicenter study～

三好直樹, 末永直樹, 大泉尚美, 谷口昇, 時吉聡介, 加藤久佳, 呉屋五十六,
伊藤浩

第47回日本人工関節学会, 2017, 2, 沖縄

9) 寛骨臼骨折後の関節症生変化に対する人工股関節置換術

中村嘉宏，帖佐悦男，坂本武郎，池尻洋史，船元太郎，日吉優，川野啓介
第47回日本人工関節学会，2017，2，沖縄

10) 慢性疼痛を呈した症例に対する認知運動課題と電気刺激の心身への効果

太田尾祐史，野海渉，渡辺一徹，茂利久嗣，圓福陽介，蓑原勝哉，前原孝政，
砂川一馬，満安隆之，東友和，深野木快士，小牧亘
第39回宮崎リハビリテーション研究会，2017，2，宮崎

11) 高齢者の上肢運動反応時間及び注意機能と転倒との関連 key words 選択的注意・情報処理資源・転倒

尾崎純也，濱田剛，浪平辰州，森田雄大，今里浩之
第39回宮崎リハビリテーション研究会，2017，2，宮崎

12) 宮崎県における高次脳機能障がい者の就労支援

津曲詩帆，中武潤，帖佐悦男，鳥取部光司，永田真哉
第39回宮崎リハビリテーション研究会，2017，2，宮崎

13) 人工関節置換術患者の退院後の日常生活について 不安なこと・やりたいことなどのセラピストの把握状況について～ADOCを用いて～

中武浩章，塩崎猛，柏木輝行
第39回宮崎リハビリテーション研究会，2017，2，宮崎

14) 中枢性左片麻痺に対しHALを使用した症例～麻痺側下肢支持性向上を目指して～

秋山展子，橋口葉奈，塚本信也，今村秋雄，長友勇太，鳥取部光司，深尾悠，
帖佐悦男
第39回宮崎リハビリテーション研究会，2017，2，宮崎

15) 足袋靴下、五本指靴下、普通靴下装着下での閉眼片脚立位時の重心動揺比較

梅田聖浩，塩崎猛，柏木輝行
第39回宮崎リハビリテーション研究会，2017，2，宮崎

16) 脱水状態移行前の水分摂取の有無による、自転車エルゴメーターを用いた運動機能の比較検討

今任克全，塩崎猛，柏木輝行
第39回宮崎リハビリテーション研究会，2017，2，宮崎

17) 通所リハ利用者における栄養状態と心身への影響

渡辺一徹，砂川一馬，満安隆之，植村郁，前原孝政，蓑原勝哉，圓福陽介，
茂利久嗣，野海渉，東友和，太田尾祐史，深野木快士，小牧亘
第39回宮崎リハビリテーション研究会，2017，2，宮崎

18) 運動器疾患の病診連携—現状と展望—

帖佐悦男
東とうきょう地域で考える骨粗鬆症セミナー，2017，3，東京

19) 当院関節リウマチ患者における骨粗鬆症治療の実態～第2報～

吉川教恵，税所幸一郎，上通一師
第53回九州リウマチ学会，2017，3，大分

20) シャドーピッチングの運動学的解析

中野有貴，宮崎茂明，石田康行，落合優，鳥取部光司，帖佐悦男
第56回宮崎県スポーツ学会，2017，3，宮崎

21) 膝関節軽度屈曲位固定期間中におけるMuscle Setting肢位の検討～筋力発揮に与える影響について～

原田昭和，落合錠，尾崎勝博，田島直也
第56回宮崎県スポーツ学会，2017，3，宮崎

22) 膝関節固定期間における有効な大腿四頭筋トレーニング方法の検討—Muscle SettingとASLRの筋電図解析—

落合錠，尾崎勝博，原田昭彦，田島直也
第56回宮崎県スポーツ学会，2017，3，宮崎

23) 膝蓋靭帯炎を有する症例～力学的ストレスの軽減に着目して～

町元聖雅，常盤直孝，川越勝秀
第56回宮崎県スポーツ学会，2017，3，宮崎

24) 平成27年度国民体育大会宮崎県選手団に対するアンケート調査 - ドーピングの意識と女性アスリートの月経異常に着目して -

吉留綾，帖佐悦男，田島卓也，山口奈美，石田康行，谷口昇，大田智美，
長澤誠
第56回宮崎県スポーツ学会，2017，3，宮崎

- 25) 宮崎県における春季プロスポーツチームキャンプに対するメディカルサポート報告—4シーズン
(2014～2017) のまとめ—
齊藤由希子, 小島岳史, 田島直也, 田島卓也, 帖佐悦男
第56回宮崎県スポーツ学会, 2017, 3, 宮崎
- 26) 20歳以下ラグビー日本代表のメディカルサポート
吉川大輔, 益山松三, 坂田勝美, 甲斐糸乃, 吉田修子, 田島卓也, 帖佐悦男
第56回宮崎県スポーツ学会, 2017, 3, 宮崎
- 27) 高校ボクシング競技の医事について
獅子目賢一郎, 獅子目亨, 鳥取部光司, 川野啓介
第56回宮崎県スポーツ学会, 2017, 3, 宮崎
- 28) 成長期腰部スポーツ障害における仙骨疲労骨折
齊藤由希子, 久保紳一郎, 三橋龍馬, 小島岳史, 野崎正太郎, 田島直也
第56回宮崎県スポーツ学会, 2017, 3, 宮崎
- 29) 当院における小児例に対する膝関節関節鏡下手術の実績
北島潤弥, 石田康行, 谷口昇, 田島卓也, 山口奈美, 大田智美, 長澤誠,
帖佐悦男
第56回宮崎県スポーツ学会, 2017, 3, 宮崎
- 30) ロコモティブシンドロームを取り巻く最近の話題—サルコペニア・フレイル—
帖佐悦男
西臼杵地区学術講演会, 2017, 4, 宮崎
- 31) 脊柱側彎症に対するPush-up法について
田島直也, 久保紳一郎, 野崎正太郎, 小島岳史, 三橋龍馬, 黒木浩史
第46回日本脊椎脊髄病学会, 2017, 4, 北海道
- 32) 関節リウマチ患者の四肢骨折手術の解析～Ninja2015～
吉川教恵, 税所幸一郎, 當間重人, 帖佐悦男, 濱田浩朗
第61回日本リウマチ学会, 2017, 4, 福岡
- 33) 股関節学-critical thinking-
帖佐悦男
第43回関西股関節研究会, 2017, 4, 大阪

- 34) 手指発生の腱鞘巨細胞腫に対する治療経験
大田智美
第60回日本手外科学会学術集会, 2017, 4, 愛知
- 35) 小児の運動器検診; ロコモ対策・学校運動器検診の開始を受けて-疼痛治療を含めて-
帖佐悦男
第65回秋田県整形外科医会, 2017, 5, 秋田
- 36) 宮崎県におけるモアレ法を用いた側弯症学校検診の軌跡
黒木浩史, 永井琢哉, 帖佐悦男, 田島直也
第90回日本整形外科学会学術総会, 2017, 5, 宮城
- 37) ロコモティブシンドローム (ロコモ) の啓発活動ならびにロコモ予防に対する新戦略—総合型
地域スポーツクラブの活用とロコモコール—
帖佐悦男
第90回日本整形外科学会学術総会, 2017, 5, 宮城
- 38) ハンソンピンを用いた高齢者の大腿骨頸部骨折に対する治療成績と術前X線側面像の重要性に
今里浩之, 森治樹, 松岡篤, 三橋龍馬, 梅崎哲矢, 李徳哲, 山口洋一郎,
谷口昇, 帖佐悦男
第90回日本整形外科学会学術総会, 2017, 5, 宮城
- 39) 宮崎大学におけるRA治療と病診連携
船元太郎
整形外科医としてのリウマチ病診連携を考える会, 2017, 5, 宮崎
- 40) 学校における運動器検診の開始を受けてなぜ運動器検診が必要か
帖佐悦男
小児科診療 UP-to-DATE, 2017, 5, 東京
- 41) 頸髄不全損傷に対しロボットスーツHALを導入した1例
鳥取部光司, 帖佐悦男, 深尾悠, 濱田浩朗, 李徳哲, 坂本武郎, 黒木洋美,
川野彰裕
第54回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2017, 6, 岡山

- 42) ロコモ評価システム（ロコモ・スタンドUP!, レキシー株式会社）の使用経験
深尾悠, 帖佐悦男, 鳥取部光司
第54回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2017, 6, 岡山
- 43) 熊本地震災害における宮崎JRAT活動の報告
黒木洋美, 鈴木幹次郎, 河野寛一, 帖佐悦男
第54回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2017, 6, 岡山
- 44) 可動性馬尾腫瘍に対する術直前脊髓造影検査の有用性に関して
比嘉聖, 濱中秀昭, 黒木修司, 永井琢哉, 川野啓介, 李徳哲, 帖佐悦男
第87回西日本脊椎研究会, 2017, 6, 福岡
- 45) Checkrein deformityの治療経験
川野啓介, 帖佐悦男, 坂本武郎, 濱田浩朗, 関本朝久, 池尻洋史, 中村嘉宏,
船元太郎, 日吉優
第133回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2017, 6, 福岡
- 46) 肩鎖関節脱臼に対する手術方針について
平川雄介, 松岡知己, 福田一, 北堀貴史
第133回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2017, 6, 福岡
- 47) 当院における高齢者大腿骨頸部骨折に対するカラードステム人工骨頭置換術の治療成績
戸田雅, 森治樹, 河野勇泰喜, 山口洋一郎
第133回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2017, 6, 福岡
- 48) 放射線照射後に生じた股関節障害に対し寛骨臼再建を併用して人工股関節置換術を施行した1例
吉留綾, 帖佐悦男, 坂本武郎, 濱田浩朗, 関本朝久, 池尻洋史, 中村嘉宏,
船元太郎, 日吉優, 川野啓介, 藤田貢司
第133回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2017, 6, 福岡
- 49) 外側広範型上腕骨小頭離断性骨軟骨炎の手術成績を左右する因子
石田康行, 長澤誠, 谷口昇, 田島卓也, 山口奈美, 大田智美, 帖佐悦男
第9回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 2017, 6, 北海道
- 50) 腱板断裂に対する術後予後因子としてのT-scaleの役割
谷口昇, 末永直樹, 石田康行, 帖佐悦男
第9回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 2017, 6, 北海道

- 51) 宮崎県少年野球検診 検診結果と関節可動域・下肢柔軟性との関係 (続報)
長澤誠, 石田康行, 田島卓也, 山口奈美, 川野啓介, 帖佐悦男
第9回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 2017, 6, 北海道
- 52) 内側半月後角損傷に対し、1 期的に半月縫合術とHTO施行した 1 例
小島岳史, 久保紳一郎
第9回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 2017, 6, 北海道
- 53) 大腿骨頸基部前額断剪断骨折についての検討
河野勇泰喜, 森治樹, 横江琢示, 戸田雅
第74回宮崎整形外科懇話会, 2017, 6, 宮崎
- 54) Hansson pinlocの使用経験
森治樹, 河野勇泰喜, 横江琢示, 戸田雅
第74回宮崎整形外科懇話会, 2017, 6, 宮崎
- 55) 当院における足関節脱臼骨折に対する治療法
大倉俊之, 黒田宏, 大塚記史
第74回宮崎整形外科懇話会, 2017, 6, 宮崎
- 56) 中高年者に対する鏡視下半月板処置術の治療成績
吉川大輔, 坂田勝美, 甲斐糸乃, 益山松三
第74回宮崎整形外科懇話会, 2017, 6, 宮崎
- 57) 半月骨化症に対して半月切除術を施行した 1 例
三股奈津子, 久保紳一郎, 小島岳史, 三橋龍馬, 野崎正太郎, 田島直也
第74回宮崎整形外科懇話会, 2017, 6, 宮崎
- 58) 非定型大腿骨骨折の組織学的所見の検討
小牧亘, 深野木快士, 曾根崎あけみ, 福富雅子, 濱田浩朗, 帖佐悦男,
田中弘之
第74回宮崎整形外科懇話会, 2017, 6, 宮崎
- 59) 当院における肺血栓塞栓症予防への取り組み
塩月康弘, 松岡篤
第74回宮崎整形外科懇話会, 2017, 6, 宮崎

- 60) 若年者（50歳以下）施行した人工骨頭、10年以上経過例の検討
柏木輝行，矢野良英，花堂祥治，福島克彦
第74回宮崎整形外科懇話会，2017，6，宮崎
- 61) 原発性骨粗鬆症に対するイバンドロネート静注製剤（ボンビバ）とエルデカルシトール併用
24ヶ月の使用成績と課題
田島直也，久保紳一郎，野崎正太郎，小島岳史，三橋龍馬，三股奈津子
第74回宮崎整形外科懇話会，2017，6，宮崎
- 62) 当院における小児股関節炎の治療方針
川越悠輔，松岡知己，福田一，平川雄介
第74回宮崎整形外科懇話会，2017，6，宮崎
- 63) 小児大腿骨頸部骨折（Delbet-Colonna分類 IV型）に対して保存治療を行なった1例
井口公貴，公文崇詞，岡村龍，栗原典近
第74回宮崎整形外科懇話会，2017，6，宮崎
- 64) 当院における小児症例の実際
戸田雅，森治樹，河野勇泰喜，横江琢示
第74回宮崎整形外科懇話会，2017，6，宮崎
- 65) 小児の肘関節外傷 - 正確なX線撮影が診断につながった2例-
今里浩之，竹脇雄太，岡村龍，公文崇詞，栗原典近，森治樹
第74回宮崎整形外科懇話会，2017，6，宮崎
- 66) 先天性内反足におけるPirani scoreを用いた予後不良因子の検討
門内一郎，川野彰裕，梅崎哲矢
第74回宮崎整形外科懇話会，2017，6，宮崎
- 67) DDHの保存的治療 その歴史、現在、未来
岡本義久，岡本健太郎
第74回宮崎整形外科懇話会，2017，6，宮崎
- 68) 宮崎ロコモ啓発促進事業
帖佐悦男
第29回日本運動器科学会，2017，7，東京

- 69) 寛骨臼骨折後の関節症生変化に対する人工股関節置換術
中村嘉宏, 帖佐悦男, 池尻洋史, 日吉優, 川野啓介
第43回日本骨折治療学会, 2017, 7, 福島
- 70) 掌側月状骨窩骨片を有する掌側転位型橈骨遠位端骨折に対するVariAxでの治療成績
甲斐糸乃, 益山松三, 坂田勝美, 吉川大輔
第43回日本骨折治療学会, 2017, 7, 福島
- 71) 地域における高齢者の連日型PTH製剤（テリパラチド）の と新規骨折予防効果
今里浩之, 森田雄大, 波平辰州, 帖佐悦男
第43回日本骨折治療学会, 2017, 7, 福島
- 72) 橈骨遠位端骨折における関節内骨折の有無と術後矯正損失-遠位設置型掌側ロッキングプレート
使用例の検討-
山口洋一朗, 森治樹, 河野勇泰喜, 戸田雅
第43回日本骨折治療学会, 2017, 7, 福島
- 73) 大腿骨大転子骨折の加療についての検討
河野勇泰喜, 森治樹, 山口洋一朗, 戸田雅
第43回日本骨折治療学会, 2017, 7, 福島
- 74) The Supercapsular Percutaneously Assisted Total Hip approachの短期成績
福島克彦, 柏木輝行
第43回日本骨折治療学会, 2017, 7, 福島
- 75) 二次骨折予防のための骨粗鬆症治療～大腿骨近位部骨折地域連携パスでの取り組み～
吉川教恵, 和田智美
第19回日本医療マネジメント学会学術集会, 2017, 7, 宮城
- 76) 高齢者の健康意識が心身機能に及ぼす影響についての検討
圓福陽介, 蓑原勝哉, 満安隆之, 砂川一馬, 前原孝政, 植村郁, 茂利久嗣,
野海渉, 渡辺一徹, 東友和, 太田尾祐史, 深野木快士, 小牧亘
第30回日本臨床整形外科学会, 2017, 7, 東京

- 77) 地域高齢者と要支援者の身体機能・地域生活についての調査-E-SASを用いて-
砂川一馬, 植村郁, 満安隆之, 前原孝政, 蓑原勝哉, 圓福陽介, 茂利久嗣,
野海渉, 渡辺一徹, 東友和, 太田尾祐史, 深野木快士, 小牧亘
第30回日本臨床整形外科学会, 2017, 7, 東京
- 78) 寛骨臼骨折に対し急性期に一期的THAを施行した1例
日吉優, 帖佐悦男, 坂本武郎, 濱田浩朗, 関本朝久, 池尻洋史, 中村嘉宏,
船元太郎, 川野啓介, 藤田貢司, 吉留綾, 日高三貴
第26回MX人工股関節研究会, 2017, 7, 熊本
- 79) 運動療法とリハビリテーションー運動器疾患
帖佐悦男
第44回日整会スポーツ医学研修会, 2017, 8, 東京
- 80) 当院における同種骨移植の検討
日吉優, 帖佐悦男, 中村嘉宏, 落合秀信
第50回宮崎救急医学会, 2017, 8, 宮崎
- 81) 学生スポーツへの対策と協力
帖佐悦男
日本整形外科学会認定スポーツ医資格継続のための研修会, 2017, 8, 東京
- 82) ロコモを取り巻く環境～ロコモ・サルコペニア・フレイルと疼痛～
帖佐悦男
宮崎ロコモフォーラム～健康寿命の延伸を目指して～, 2017, 8, 宮崎
- 83) モアレ法による側弯症学校検診 ―宮崎県における33年間の概要―
黒木浩史, 永井琢哉, 帖佐悦男, 田島直也
第51回日本側弯症学会学術集会, 2017, 8, 北海道
- 84) 小児の運動器疾患と学童期健診: なぜ子供のころからロコモ予防が必要か
帖佐悦男
城南運動器疼痛を考える会, 2017, 8, 東京
- 85) 90歳以上に対して行った人工関節置換術
川野啓介
第1回宮崎人工関節研究会, 2017, 9, 宮崎

86) 超高齢者に対する人工関節置換術の現状

柏木輝行

第1回宮崎人工関節研究会, 2017, 9, 宮崎

87) 超高齢者に対する人工関節の小経験

平川雄介

第1回宮崎人工関節研究会, 2017, 9, 宮崎

88) ひとりでできる！？THA -AL-supine approachを中心に

公文崇詞

第1回宮崎人工関節研究会, 2017, 9, 宮崎

89) Superior approachの実際

福島克彦

第1回宮崎人工関節研究会, 2017, 9, 宮崎

90) 前外側アプローチは過去のアプローチ？

中村嘉宏

第1回宮崎人工関節研究会, 2017, 9, 宮崎

91) TKAの手術手技 pit fallを中心に

柏木輝行

第1回宮崎人工関節研究会, 2017, 9, 宮崎

92) RAに対する人工関節置換術のコツ

甲斐睦章

第1回宮崎人工関節研究会, 2017, 9, 宮崎

93) 遠隔医療システムを用いたラグビー新サポートシステムの可能性～ITシステムが新たな安全対策のソリューションになり得るか～

中村嘉宏, 帖佐悦男, 田島卓也, 吉川大輔, 比嘉聖

第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2017, 9, 宮崎

94) 宮崎県少年野球検診での取り組みと今後の課題—看護師の視点から—

緒方佳奈, 馬場純子, 新谷真美, 河瀉富士枝, 長澤誠, 大田智美, 石田康行,
帖佐悦男

第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2017, 9, 宮崎

- 95) アマチュアサーファーの腰痛に関するアンケート調査
石田翔太郎, 帖佐悦男, 小島岳史
第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2017, 9, 宮崎
- 96) ロコモ評価システム (ロコモ・スタンドUP! レキシー株式会社) の使用経験—ロコモテストとの比較検討—
ブンチヘーワーニローシャン, 帖佐悦男, 深尾悠, 山子剛
第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2017, 9, 宮崎
- 97) 子どもロコモと健康寿命
東友和, 満安隆之, 砂川一馬, 前原孝政, 蓑原勝哉, 圓福陽介, 茂利久嗣,
野海渉, 渡辺一徹, 太田尾祐史, 深野木快士, 小牧亘
第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2017, 9, 宮崎
- 98) 歩行計測機器を用いたロコモティブシンドローム推定に関する研究
田村宏樹, 有馬和也, 帖佐悦男
第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2017, 9, 宮崎
- 99) 姿勢重心計測機器を用いた健康づくり支援の検討
塩満智子, 鶴田来美, 帖佐悦男
第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2017, 9, 宮崎
- 100) 宮崎県空手道競技における外傷と救護活動: 現状と課題
吉川教恵, 斉藤由希子, 帖佐悦男
第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2017, 9, 宮崎
- 101) 競技スポーツとしてのサーフィン
小島岳史, 久保紳一郎
第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2017, 9, 宮崎
- 102) 地域高齢者のフレイル状況と関連因子
蓑原勝哉, 満安隆之, 砂川一馬, 前原孝政, 圓福陽介, 植村郁, 茂利久嗣,
野海渉, 渡辺一徹, 東友和, 太田尾祐史, 深野木快士, 小牧亘
第59回全日本病院学会, 2017, 9, 石川

- 103) 橈骨遠位端骨折術後における橈骨手根関節への早期牽引刺激の及ぼす影響について
野海渉, 満安隆之, 砂川一馬, 前原孝政, 蓑原勝哉, 圓福陽介, 植村郁,
茂利久嗣, 渡辺一徹, 東友和, 太田尾祐史, 深野木快士, 小牧亘
第59回全日本病院学会, 2017, 9, 石川
- 104) 入院病棟における運動器疾患患者の転倒自己効力感とADL・歩行自立度との関係
茂利久嗣, 満安隆之, 砂川一馬, 前原孝政, 蓑原勝哉, 圓福陽介, 植村郁,
野海渉, 渡辺一徹, 東友和, 太田尾祐史, 深野木快士, 小牧亘
第59回全日本病院学会, 2017, 9, 石川
- 105) 小児の運動器疾患と学校検診—ロコモ対策を含めて—
帖佐悦男
第72回日本体力医学会大会, 2017, 9, 愛媛
- 106) 大腿骨の二次骨折予防とイバンドロネート注・錠の使用経験
吉川教恵
第3回都城地区地域連携パスを考える会, 2017, 9, 宮崎
- 107) 棘上筋断裂を呈した症例に対する棘下筋への電気刺激を用いた神経筋再教育訓練
太田尾祐史, 満安隆之, 砂川一馬, 前原孝政, 蓑原勝哉, 圓福陽介,
茂利久嗣, 植村郁, 野海渉, 渡辺一徹, 東友和, 深野木快士, 小牧亘
第51回日本作業療法学会, 2017, 9, 東京
- 108) Clinical practice of pelvis, hip, and thigh for youth sports—tips and pitfalls in
diagnosis
Etsuo Chosa
The 15th KOREA-JAPAN Combined Joint Meeting for Orthopaedic Sports
Medicine, 2017, 9, 韓国
- 109) ドライビングシミュレーターの訓練効果の検討—単一症例研究—
小林智之, 中武潤, 鳥取部光司, 帖佐悦男
第51回日本作業療法学会, 2017, 9, 東京
- 110) 二つのドライビングシミュレーターを用いて手動運転装置の導入を検討した一症例
前田翔吾, 鳥取部光司, 帖佐悦男
第51回日本作業療法学会, 2017, 9, 東京

- 111) 慢性腰痛症に対するサインバルタの使用経験
比嘉聖
都城・三股地区慢性疼痛セミナー, 2017, 9, 宮崎
- 112) 脊椎専門医が考える早期骨形成の有用性
濱中秀昭
Bone Project in Saiki〜Stop at One!骨折連鎖を防ぐ!~, 2017, 10, 大分
- 113) The investigation of the lumbar intervertebral disc degeneration in professional surfers by use of MRI
TAKESHI KOJIMA
World Conference in Surfing Medicine 2017, 2017, 10, ポルトガル
- 114) 肩関節鏡視下手術後患者の患肢の腫脹の実態調査
山口史剛, 奥村まり子, 河崎千穂, 新谷真美, 藤浦まなみ, 久保敦子, 帖佐悦男, 石田康行, 谷口昇, 長澤誠
第1回肩の看護研究会, 2017, 10, 東京
- 115) 看護師の視点を生かした宮崎少年野球検診の実際
馬場純子, 緒方佳奈, 新谷真美, 浦邊穂波, 久保敦子, 帖佐悦男, 石田康行, 大田智美, 長澤誠
第1回肩の看護研究会, 2017, 10, 東京
- 116) 肩腱板断裂後の異所性脂肪浸潤とHMGB2の役割
谷口昇, 李徳哲, 中村嘉宏, 末永直樹, 帖佐悦男
第44回日本肩関節学会, 2017, 10, 東京
- 117) 小学生野球選手の肩痛 ―全国アンケート調査の結果より―
高岸憲二, 松浦哲也, 正富隆, 帖佐悦男, 田鹿毅, 渡邊幹彦, 岩間徹, 大谷俊郎, 稲垣克記, 別府諸兄
第44回日本肩関節学会, 2017, 10, 東京
- 118) 小児後頭軸椎固定術後の固定椎体の長軸方向への成長とアライメント変化に関して
比嘉聖
第26回日本脊椎インストゥルメンテーション学会, 2017, 10, 石川

119) 人工関節とスポーツ ―股関節を中心に―

帖佐悦男

第44回日本股関節学会学術集会, 2017, 10, 東京

120) 人工股関節置換術におけるMIS手術の検討～仰臥位前外側アプローチと側方アプローチの比較～

川野啓介, 帖佐悦男, 坂本武郎, 関本朝久, 濱田浩朗, 池尻洋史, 中村嘉宏,
船元太郎, 日吉優

第44回日本股関節学会学術集会, 2017, 10, 東京

121) Leg Positionerを用いたDAA-THAの小経験―段階的軟部組織剥離による大腿骨挙上の有用性―

中村嘉宏, 帖佐悦男, 坂本武郎, 池尻洋史, 船元太郎, 日吉優, 川野啓介

第44回日本股関節学会学術集会, 2017, 10, 東京

122) 人工骨頭置換術後に再置換術を施行した症例の検討

日吉優, 帖佐悦男, 濱田浩朗, 坂本武郎, 関本朝久, 池尻洋史, 中村嘉宏,
船元太郎, 川野啓介

第44回日本股関節学会学術集会, 2017, 10, 東京

123) 非定型大腿骨骨折の組織学的所見の検討

小牧亘, 深野木快士, 曾根崎あけみ, 福富雅子, 濱田浩朗, 帖佐悦男,
田中弘之

第19回日本骨粗鬆症学会, 2017, 10, 大阪

124) 非定型大腿骨骨折が疑われた大腿骨骨幹部骨折の11例

三橋龍馬, 小島岳史, 田島直也, 久保紳一郎, 三股奈津子, 帖佐悦男

第19回日本骨粗鬆症学会, 2017, 10, 大阪

125) 当院で行った手領域の日帰り手術

高見博昭

第29回延岡医学会総会, 2017, 10, 宮崎

126) 骨格筋への異所性脂肪浸潤と細胞の脂肪分化に関わるHMGB2の役割

李徳哲, 谷口昇, 中村嘉宏, 帖佐悦男

第32回日本整形外科学会基礎学術集会, 2017, 10, 沖縄

127) 新しい腰痛対策-Push-upの応用-

田島直也, 野崎正太郎, 尾崎勝博, 黒木浩史

第25回日本腰痛学会, 2017, 11, 東京

128) 成長期の運動器検診 - なぜ子供の頃からロコモティブシンドローム予防必要か

帖佐悦男

第15回浦和医師会外科整形外科医会 学術講演会, 2017, 11, 埼玉

129) 寛骨臼骨折に対し急性期に一期的人工股関節置換術を施行した1例

日吉優, 帖佐悦男, 坂本武郎, 関本朝久, 濱田浩朗, 池尻洋史, 中村嘉宏,
川野啓介

第134回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2017, 11, 鳥取

130) 硬膜欠損を伴う脳表へモジデリン沈着症に対して硬膜閉鎖術を施行した一例

黒木智文, 帖佐悦男, 濱中秀昭, 黒木修司, 比嘉聖, 川野啓介, 永井琢哉,
李徳哲, 北島潤弥

第134回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2017, 11, 鳥取

131) Double crushを呈していた橈骨骨幹部骨折後尺骨神経障害の1例

藤田貢司, 石田康行, 谷口昇, 田島卓也, 山口奈美, 大田智美, 長澤誠,
森田雄大, 川越秀一

第134回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2017, 11, 鳥取

132) Latarjet法失敗例 ―原因検索と再手術について―

石田康行

第62回九州肩関節研究会, 2017, 11, 鳥取

133) Protrusio technique' in Total Hip Arthroplasty with dysplastic hip

Yoshihiro Nakamura

The 5th Annual Meeting of Arthroplasty Society in Asia, 2017, 11, 東京

134) ロコモティブシンドロームを取り巻く環境―ロコモ・サルコペニア・フレイルと疼痛―

帖佐悦男

第45回日本関節病学会, 2017, 11, 東京

135) PIP色素沈着が先行し発症したリウマチ症例

濱田浩朗, 帖佐悦男, 船元太郎, 税所幸一郎, 吉川教恵

第45回日本関節病学会, 2017, 11, 東京

- 136) ジャパンラグビートップリーグにおける新しい脳震盪評価システム：Head Injury Assessment
田島卓也，中村明彦，赤間高雄，古谷正博，外山幸正，東原潤一郎，
三森教雄，岡山明洙，永山正隆，石山修盟，竹村雅裕，濱野武彦，帖佐悦男
第28回日本臨床スポーツ医学会学術集会，2017，11，東京
- 137) 実業団柔道部のメディカルチェック：過去5年間の報告
森田雄大，黒木修司，北堀貴史，長澤誠，山口奈美，田島卓也，石田康行，
帖佐悦男
第28回日本臨床スポーツ医学会学術集会，2017，11，東京
- 138) 全国レベルの高校部活動の新入生部員メディカルチェック：3年間の結果より
北堀貴史，森田雄大，長澤誠，黒木修司，山口奈美，田島卓也，石田康行，
帖佐悦男
第28回日本臨床スポーツ医学会学術集会，2017，11，東京
- 139) Trendelenburg跛行を呈する片側変形性股関節症患者を対象とした健側と患側の股関節反力の
検討
大内宏輝，Deng Gang，山子剛，鳥取部光司，帖佐悦男
第44回日本臨床バイオメカニクス学会，2017，11，愛媛
- 140) 有限要素法による寛骨臼上脆弱性骨折の力学的評価
山下柊太郎，山子剛，田中秀達，森優，井樋栄二，帖佐悦男
第44回日本臨床バイオメカニクス学会，2017，11，愛媛
- 141) 人工股関節置換術におけるセメントレスロングシステムの固定性に関する力学的検討
鳥取部光司，帖佐悦男，山子剛，大内宏輝，Zhao Xin，深尾悠，Deng Gang
第44回日本臨床バイオメカニクス学会，2017，11，愛媛
- 142) Protrusio technique in Total Hip Arthroplasty with dysplastic hip
Yoshihiro Nakamura
38Th SICOT Orthopaedic World Congress，2017，11，Cape Town
- 143) 大腿骨近位部骨折地域連携パスでの骨粗鬆症治療の取り組み
吉川教恵，和田智美
日本医療マネジメント学会第16回九州・山口連合大会，2017，12，大分

- 144) 下肢切断術パスのバリエーション結果を踏まえた有用性の検討
西田智幸, 吉川教恵, 佐倉志洋
日本医療マネジメント学会第16回九州・山口連合大会, 2017, 12, 大分
- 145) 当センターにおけるペルテス病に対する入院免荷外転装具療法
藤田裕樹, 房川祐頼, 川野彰裕, 中村直行, 松山敏勝, 山下敏彦
第28回日本小児整形外科学会学術集会, 2017, 12, 東京
- 146) 当科における頸椎ペディクルスクリューの術後成績と安全性の検討-0-arm、CTナビ、フリーハンドの刺入精度の比較検討 -
濱中秀昭, 黒木修司, 比嘉聖, 川野啓介, 永井琢哉, 李徳哲, 帖佐悦男
第88回西日本脊椎研究会, 2017, 12, 福岡
- 147) 宮崎県におけるワールドアスリート発掘・育成プロジェクトについて
三股奈津子, 三橋龍馬, 小島岳史, 久保紳一郎, 田島直也, 尾崎勝博,
帖佐悦男, 田島卓也, 園田典生
第30回九州・山ロスポーツ医・科学研究会, 2017, 12, 福岡
- 148) VISSLA ISA World Jounior Surfing Championship 2017 in Hyugaのメディカルサポート報告
小島岳史, 三股奈津子, 岩田昌, 大野源太, 郷之原愛, 市井竜弥, 出口彩乃,
石田翔太郎, 永井琢哉, 帖佐悦男, 中野有貴, 今村秋雄, 落合優
第30回九州・山ロスポーツ医・科学研究会, 2017, 12, 福岡
- 149) 柔道での軽微なエネルギーによる外傷性股関節脱臼の1例
黒木修司, 北堀貴史, 日吉優, 中村嘉宏, 田島卓也, 帖佐悦男
第30回九州・山ロスポーツ医・科学研究会, 2017, 12, 福岡
- 150) 実業団レベルの柔道競技者において、膝前十字靱帯断裂に対して保存加療が選択された症例の検討
森田雄大, 田島卓也, 山口奈美, 黒木修司, 石田康行, 谷口昇, 長澤誠,
帖佐悦男
第30回九州・山ロスポーツ医・科学研究会, 2017, 12, 福岡
- 151) 鏡視下内側半月縫合術後に膝内側部痛が遷延した1例
藤田貢司, 川越秀一, 森田雄大, 長澤誠, 山口奈美, 田島卓也, 帖佐悦男
第30回九州・山ロスポーツ医・科学研究会, 2017, 12, 福岡

- 152) ボルダリングにて受傷した前十字靭帯損傷に非典型的な骨折を伴った2症例
三橋龍馬, 小島岳史, 三股奈津子, 野崎正太郎, 久保紳一郎, 田島直也,
田島卓也, 帖佐悦男
第30回九州・山口スポーツ医・科学研究会, 2017, 12, 福岡
- 153) 上腕骨小頭離断性骨軟骨炎の手術成績からわかった難治例の実態
石田康行, 長澤誠, 谷口昇, 田島卓也, 山口奈美, 森田雄大, 帖佐悦男
第30回九州・山口スポーツ医・科学研究会, 2017, 12, 福岡
- 154) 検診で発見されたOCD例の特徴
川越秀一, 石田康行, 谷口昇, 田島卓也, 山口奈美, 大田智美, 長澤誠,
森田雄大, 藤田貢司
第30回九州・山口スポーツ医・科学研究会, 2017, 12, 福岡
- 155) 子どもに笑顔を！野球傷害を防ごう
帖佐悦男
第49回慶應スポーツ医・科学研究会, 2017, 12, 東京
- 156) 膝蓋骨骨折に対するcannulated screwを用いたtension band wiringについての検討
河野勇泰喜, 森治樹, 横江琢示, 三股奈津子
第75回宮崎整形外科懇話会, 2017, 12, 宮崎
- 157) 股関節筋解離術後のADLと関節可動域の長期経過
梅崎哲矢, 川野彰裕, 門内一郎
第75回宮崎整形外科懇話会, 2017, 12, 宮崎
- 158) 超高齢者（90歳以上）に対するTKAの術後成績
柏木輝行, 矢野良英, 花堂祥治, 川越秀一
第75回宮崎整形外科懇話会, 2017, 12, 宮崎
- 159) 実臨床における骨粗鬆症に対するイバンドロネート錠の短期臨床成績
小牧亘, 深野木快士, 福富雅子, 上籠謙吏, 大久保節子, 前原孝政, 帖佐悦男
第75回宮崎整形外科懇話会, 2017, 12, 宮崎
- 160) 当院における小児上腕骨顆上骨折の手術加療
横江琢示, 森治樹, 河野勇泰喜, 三股奈津子
第75回宮崎整形外科懇話会, 2017, 12, 宮崎

161) 上腕骨遠位骨端線離開の診断-関節造影ストレステストで確定診断した1例-

今里浩之, 竹脇雄太, 岡村龍, 公文崇詞, 栗原典近

第75回宮崎整形外科懇話会, 2017, 12, 宮崎

162) 見逃されたモンテジア骨折の1例

長澤誠, 石田康行, 谷口昇, 田島卓也, 山口奈美, 森田雄大, 藤田貢司

第75回宮崎整形外科懇話会, 2017, 12, 宮崎

163) MP関節周囲骨折に対するナックルキャストでの治療成績

吉留綾, 松岡知己, 平川雄介

第75回宮崎整形外科懇話会, 2017, 12, 宮崎

164) トリアムシロン腱鞘内注射によって発症したと思われる長母指屈筋腱断裂の1例

大倉俊之, 松岡篤, 黒田宏

第75回宮崎整形外科懇話会, 2017, 12, 宮崎

165) 掌側月状骨窩骨片を有する橈骨遠位端骨折における術後掌側再転位例についての検討

甲斐糸乃, 益山松三, 坂田勝美, 吉川大輔

第75回宮崎整形外科懇話会, 2017, 12, 宮崎

◆ポスター

- 1) 宮崎県少年野球検診 小頭離断性骨軟骨炎例の前年の検診結果はどうだったか
長澤誠, 石田康行, 谷口昇, 山口奈美, 大田智美, 中村志保子, 帖佐悦男
第29回日本肘関節学会学術集会, 2017, 2, 東京
- 2) 寛骨臼形成不全を伴う股関節症へのセメントレス人工股関節置換術—Morselized boneを用いた protrusio techniqueの限界に関して—
中村嘉宏, 帖佐悦男, 坂本武郎, 池尻洋史, 日吉優
第47回日本人工関節学会, 2017, 2, 沖縄
- 3) モジュラー型セメントレス人工関節術後ステム折損の1例
日吉優, 帖佐悦男, 関本朝久, 坂本武郎, 濱田浩朗, 中村嘉宏, 池尻洋史,
船元太郎, 川野啓介, 三股奈津子, 川越秀一
第47回日本人工関節学会, 2017, 2, 沖縄
- 4) 関節症性を伴う腓骨修復後再断裂例に対する小径人工骨頭置換術の成績不良因子
呉屋五十六, 末永直樹, 大泉尚美, 吉岡千佳, 山根慎太郎, 谷口昇, 金谷文則
第47回日本人工関節学会, 2017, 2, 沖縄
- 5) 小径骨頭を用いた人工骨頭置換術+腓骨修復術に再断裂を呈し、リバーズ型人工肩関節による再置換術を行った一例
谷口昇, 石田康行, 長澤誠, 中村嘉宏, 末永直樹, 帖佐悦男
第47回日本人工関節学会, 2017, 2, 沖縄
- 6) 当院におけるZweymüller型ステムの中期成績の検討
川野啓介, 帖佐悦男, 坂本武郎, 池尻洋史, 中村嘉宏
第47回日本人工関節学会, 2017, 2, 沖縄
- 7) Evaluation of Contact Area and Pressure on Total Surface Bearing and Patellar Tendon Bearing Sockets During Gait and Sit-to-Stand and Stand-to-sit Movements
Koji Totoribe, Etsuo Chosa, Go Yamako, Xin Zhao, Hiroaki Hamada,
Koki Ouchi, Gang Deng
ORS 2017 ANNUAL MEETING, 2017, 3, San Diego

- 8) High Mobility Group Box 2 Is a New Candidate for Regulating Fatty Infiltration in Ruptured Rotator Cuff
Deokcheol Lee, Noboru Taniguchi, Tsuyoshi Fukushima,
Hiroaki Kataoka, Martin Lotz, Etsuo Chosa
ORS 2017 ANNUAL MEETING, 2017, 3, San Diego
- 9) Biomechanical Analysis of Supra-Acetabular Insufficiency Fracture with Gradation of Young' s Modulus
Hidetatsu Tanaka, Go Yamako, Hiroaki Kurishima, Shutaro Yamashita,
Yu Mori, Daisuke Chiba, Etsuo Chosa, Eiji Itoi
ORS 2017 ANNUAL MEETING, 2017, 3, San Diego
- 10) Improving Stress Shielding of Ti-33.6Nb-4Sn Femoral Stem
Go Yamako, Dennis Janssen, Shuji Hanada, Koji Totoribe, Etsuo Chosa,
Nico Verdonshot
ORS 2017 ANNUAL MEETING, 2017, 3, San Diego
- 11) 小児後頭軸椎固定術後の固定椎体の長軸方向への成長とアライメント変化に関して
比嘉聖, 濱中秀昭, 黒木修司, 永井琢哉, 李徳哲, 川野啓介, 帖佐悦男
第46回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2017, 4, 北海道
- 12) 当科における頸椎ペディクルスクリュー LONG FUSION の術後成績
濱中秀昭, 黒木修司, 比嘉聖, 永井琢哉, 李徳哲, 帖佐悦男
第46回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2017, 4, 北海道
- 13) 当科における頸椎ペディクルスクリューの術後成績と安全性の検討-0-arm, CT ナビ、フリーハンドの刺入精度の比較検討
濱中秀昭, 黒木修司, 比嘉聖, 永井琢哉, 李徳哲, 帖佐悦男
第46回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2017, 4, 北海道
- 14) NinJaを利用した関節リウマチ関連手術の分析-2015年度について-
税所幸一郎, 當間重人, 帖佐悦男, 濱田浩朗, 吉川教恵, 西野仁樹
第61回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2017, 4, 福岡
- 15) 鏡視下腱板修復後再手術例から考える腱板断裂の治療方針
石田康行, 長澤誠, 谷口昇, 田島卓也, 山口奈美, 大田智美, 帖佐悦男
第90回日本整形外科学会学術総会, 2017, 5, 宮城

- 16) 腱板修復術後の臨床成績を決定する新しい指標T-scale
谷口昇, 石田康行, 長澤誠, 柏木輝行, 呉屋五十八, 末永直樹, 帖佐悦男
第90回日本整形外科学会学術総会, 2017, 5, 宮城
- 17) 当科における仙骨脊索腫の手術成績と今後の治療方針—重粒子線治療と手術療法の棲み分けについて
濱中秀昭, 黒木修司, 比嘉聖, 川野啓介, 永井琢哉, 李徳哲, 戸田雅, 川越秀一, 帖佐悦男
第90回日本整形外科学会学術総会, 2017, 5, 宮城
- 18) ハンソンピンを用いた高齢者の大腿骨頸部骨折に対する治療成績と術前X線側面像の重要性
今里裕之, 森治樹, 松岡篤, 三橋龍馬, 梅崎哲矢, 李徳哲, 山口洋一郎, 谷口昇, 帖佐悦男
第90回日本整形外科学会学術総会, 2017, 5, 宮城
- 19) ガンマネイル術後のカットアウトの手術手技的な要因についての検討
三橋龍馬, 小島岳史, 田島直也, 久保紳一郎, 野崎正太郎, 帖佐悦男
第90回日本整形外科学会学術総会, 2017, 5, 宮城
- 20) プロサーファーのMRIによる腰痛椎間板変性の検討
小島岳史, 久保紳一郎, 三橋龍馬, 野崎正太郎, 田島直也, 帖佐悦男
第90回日本整形外科学会学術総会, 2017, 5, 宮城
- 21) ヘモグロビンは滑膜からADAMTS-5、-9の発現を亢進させる—関節血症の軟骨変性に及ぼす影響
田島卓也, 関本朝久, 谷口昇, 山口奈美, 黒木修司, 帖佐悦男
第90回日本整形外科学会学術総会, 2017, 5, 宮城
- 22) 寛骨臼形成不全を伴う股関節症へのセメントレス人工股関節置換術-Protrusio technique の有用性に関して
中村嘉宏, 帖佐悦男, 坂本武郎, 池尻洋史, 船元太郎, 日吉優, 川野啓介
第90回日本整形外科学会学術総会, 2017, 5, 宮城
- 23) 寛骨臼形成におけるSNP解析
関本朝久, 帖佐悦男, 黒木修司, 船元太郎, 濱田浩朗, 坂本武郎, 渡邊信二, 池尻洋史, 中村嘉宏, 日吉優, 川野啓介
第90回日本整形外科学会学術総会, 2017, 5, 宮城

- 24) 術中3D-CTnavigationを用いた骨盤輪骨折に対する治療
日吉優, 帖佐悦男, 坂本武郎, 関本朝久, 濱田浩朗, 池尻洋史, 中村嘉宏,
船元太郎, 川野啓介, 三股奈津子
第90回日本整形外科学会学術総会, 2017, 5, 宮城
- 25) 肩腱板断裂後の異所性脂肪浸潤とHMGB2の役割
李徳哲, 谷口昇, 中村嘉宏, 帖佐悦男
第90回日本整形外科学会学術総会, 2017, 5, 宮城
- 26) 当科脊椎麻酔による大腿骨頸部骨折手術の安全性の評価
横江琢示, 栗原典近, 公文崇詞, 岡村龍, 井口公貴, 帖佐悦男
第90回日本整形外科学会学術総会, 2017, 5, 宮城
- 27) 成長期腰部スポーツ障害における仙骨疲労骨折
齊藤由希子, 三橋龍馬, 小島岳史
第9回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 2017, 6, 北海道
- 28) 脛骨付着部を温存した自家半腱様筋腱グラフトによるMCL再建術の術後短期成績
田島卓也, 関本朝久, 谷口昇, 山口奈美, 黒木修司, 帖佐悦男
第9回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 2017, 6, 北海道
- 29) Larson変法を用いた膝後外側指示機構再建術
山口奈美, 長澤誠, 大田智美, 田島卓也, 谷口昇, 石田康行, 帖佐悦男
第9回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 2017, 6, 北海道
- 30) 前十字靱帯後外側線維束脛骨付着部裂離骨折に対しULTRABAIDを用いたSuture Fixationにて手術を施行した1症例
三橋龍馬, 小島岳史, 田島卓也, 帖佐悦男
第9回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 2017, 6, 北海道
- 31) EUAが有用であった寛骨臼後壁骨折の2症例
日吉優, 帖佐悦男, 中村嘉宏, 川野啓介, 池尻洋史, 濱田浩朗, 川越秀一,
三股奈津子
第43回日本骨折治療学会, 2017, 7, 福島

- 32) 橈骨遠位端骨折における関節内骨折の有無と術後矯正損失
- 遠位設置型掌側ロッキングプレート使用例の検討 -
山口洋一朗, 森治樹, 河野勇泰喜, 戸田雅
第43回日本骨折治療学会, 2017, 7, 福島
- 33) 橈骨茎状突起部骨折に大菱形骨骨折を伴うCM関節脱臼骨折を合併した1例
小牧亘, 深野木快士, 濱田浩朗, 帖佐悦男
第43回日本骨折治療学会, 2017, 7, 福島
- 34) Hemoglobin Stimulates the Expression of Adamts-5 and -9 by Synovial Cells: A Possible Cause of Cartilage Damage after Intra-Articular Bleeding
Takuya Tajima, Etsuo Chosa, Noboru Taniguchi, Nami Yamaguchi
AOSSM Annual Meeting 2017, 2017, 7, Canada
- 35) 宮崎県における春季プロスポーツチームキャンプに対するメディカルサポート報告—4シーズン(2014から2017) のまとめ—
齊藤由希子, 小島岳史, 三橋龍馬, 田島卓也, 野崎正太郎, 田島直也, 帖佐悦男
第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2017, 9, 宮崎
- 36) スポーツ中に発症した膝関節痛に対し手術を施行し半月板骨化症と診断した2症例
三橋龍馬, 小島岳史, 田島卓也, 久保紳一郎, 田島直也, 帖佐悦男
第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2017, 9, 宮崎
- 37) 第3-4趾間の感覚障害を伴った第3中足骨骨頭骨折の1例
横江琢示, 岡村龍, 栗原典近, 公文崇詞, 井口公貴
第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2017, 9, 宮崎
- 38) 70歳以上の偽性麻痺肩に対する鏡視下手術の成績
石田康行, 長澤誠, 谷口昇, 大田智美, 帖佐悦男
第44回日本肩関節学会, 2017, 10, 東京
- 39) 腱板広範囲断裂の術後成績を決定する新しいT-scale
谷口昇, 末永直樹, 石田康行, 長澤誠, 呉屋五十八, 帖佐悦男
第44回日本肩関節学会, 2017, 10, 東京

- 40) リバース型人工肩関節置換術後の機能獲得に筋腱移行術は有用か？
三好直樹，末永直樹，大泉尚美，谷口昇，時吉聡介，加藤久佳，呉屋五十八，
伊藤浩
第44回日本肩関節学会，2017，10，東京
- 41) 検診で発見されたOCD例の特徴
長澤誠，石田康行，谷口昇，帖佐悦男
第44回日本肩関節学会，2017，10，東京
- 42) 寛骨臼前壁骨折に対する急性期THAの一例
中村嘉宏，帖佐悦男，坂本武郎，池尻洋史，日吉優，川野啓介
第44回日本股関節学会学術集会，2017，10，東京
- 43) 当院における骨粗鬆症リエンササービス開始の取り組み
前原孝政，大久保節子，上籠謙吏，小牧亘
第19回日本骨粗鬆症学会，2017，10，大阪
- 44) 可変型遺伝子トラップ法を用いたlamin B receptor変異マウスの解析
船元太郎，関本朝久，黒木修司，大田智美，中村志保子，永井琢哉，中原舞，
吉信公美子，荒木喜美，荒木正健，帖佐悦男
第32回日本整形外科学会基礎学術集会，2017，10，沖縄
- 45) 骨表現型スクリーニングで選別したTmem161a欠損トラップマウスは明らかな骨量増加を呈する
永井琢哉，関本朝久，黒木修司，船元太郎，大田智美，中村志保子，中原舞，
吉信公美子，荒木喜美，荒木正健，帖佐悦男
第32回日本整形外科学会基礎学術集会，2017，10，沖縄
- 46) 可変型遺伝子トラップ法を用いた効率的な新規骨代謝関連遺伝子の探索
関本朝久，黒木修司，船元太郎，大田智美，中村志保子，永井琢哉，中原舞，
吉信公美子，荒木喜美，荒木正健，帖佐悦男
第32回日本整形外科学会基礎学術集会，2017，10，沖縄
- 47) 変形性足関節症ステージ4に対し骨きり術を行なった一例
岡村龍，竹脇雄太，今里浩之，公文崇詞，栗原典近
第42回日本足の外科学会学術集会，2017，11，愛知

48) サーファーの腰痛に関するアンケート調査

石田翔太郎, 帖佐悦男, 小島岳史

第28回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2017, 11, 東京

49) Treatment results of pathological fractures of the proximal femur with the prosthetic reconstruction

Masaru Hiyoshi

38Th SICOT Orthopaedic World Congress, 2017, 11, Cape Town

50) The clinical result of treatment for greater trochanter fracture with occult trochanteric fracture

Yoichiroh Yamaguchi

38Th SICOT Orthopaedic World Congress, 2017, 11, Cape Town

◆シンポジウム

1) トップリーグにおけるHIA導入について

田島卓也

第1回ラグビードクターカンファランス，2017，2，福岡

2) 関節リウマチ患者の四肢骨折手術の解析～Ninja2015～

吉川教恵，税所幸一郎，當間重人，帖佐悦男，濱田浩朗

第61回日本リウマチ学会総会・学術集会，2017，4，福岡

3) 学校における運動器検診-宮崎県の現状と課題-

帖佐悦男

第90回日本整形外科学会学術総会，2017，5，宮城

4) 運動器リハビリテーションによる予防：店頭予防，ロコトレ・ロコモコールによる効果

帖佐悦男

第54回日本リハビリテーション医学会学術集会，2017，6，岡山

5) ロコモティブシンドロームの予防に対する地域の取り組み

深尾悠，帖佐悦男，鳥取部光司

第133回西日本整形・災害外科学会学術集会，2017，6，福岡

6) スポーツ医活動の現状

帖佐悦男

第15回JCOAスポーツ医懇談会，2017，7，東京

7) サッカー日本女子代表：メディカルサポートの実際と課題

山口奈美，森田雄大，長澤誠，田島卓也，石田康行，帖佐悦男，池田浩，

齋田良知，鈴木朱美

第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会，2017，9，宮崎

8) 2019RWCにむけた全国的なメディカルサポート体制の整備：準備と対策

田島卓也，中村明彦，帖佐悦男

第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会，2017，9，宮崎

9) 宮崎県少年野球検診 OCD例の身体的特徴

長澤誠, 石田康行, 谷口昇, 田島卓也, 山口奈美, 大田智美, 森田雄大,
宮崎茂明, 落合優, 帖佐悦男
第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2017, 9, 宮崎

10) 投球障害肩の理学療法の実際

宮崎茂明, 石田康行, 長澤誠, 帖佐悦男
第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2017, 9, 宮崎

11) 宮崎県におけるワールドアスリート発掘・育成プロジェクトについて

三橋龍馬, 小島岳史, 田島卓也, 田島直也, 久保紳一郎, 三股奈津子,
帖佐悦男
第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2017, 9, 宮崎

12) 2020東京五輪新規採用種目のメディカルサポート：現状と課題

小島岳史, 久保紳一郎, 三股奈津子, 三橋龍馬, 野崎正太郎, 田島直也,
帖佐悦男
第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2017, 9, 宮崎

13) 肘OCDの難治症例に対する治療戦略

石田康行, 長澤誠, 宮崎茂明, 谷口昇, 田島卓也, 山口奈美, 大田智美,
帖佐悦男
第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2017, 9, 宮崎

14) 国際大会に帯同して

鳥取部光司, 帖佐悦男, 宮崎茂明
第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2017, 9, 宮崎

15) 地方におけるメディカルサポート

宮崎茂明, 鳥取部光司, 帖佐悦男
第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2017, 9, 宮崎

16) サッカー日本女子代表：メディカルサポートの実際と課題

山口奈美, 森田雄大, 長澤誠, 田島卓也, 石田康行, 帖佐悦男, 池田浩,
齋田良知, 鈴木朱美
第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2017, 9, 宮崎

- 17) 2019RWCにむけた全国的なメディカルサポート体制の整備：準備と対策
田島卓也，中村明彦，帖佐悦男
第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会，2017，9，宮崎
- 18) 宮崎県少年野球検診 OCD例の身体的特徴
長澤誠，石田康行，谷口昇，田島卓也，山口奈美，大田智美，森田雄大，
宮崎茂明，落合優，帖佐悦男
第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会，2017，9，宮崎
- 19) 投球障害肩の理学療法の実際
宮崎茂明，石田康行，長澤誠，帖佐悦男
第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会，2017，9，宮崎
- 20) 宮崎県におけるワールドアスリート発掘・育成プロジェクトについて
三橋龍馬，小島岳史，田島卓也，田島直也，久保紳一郎，三股奈津子，
帖佐悦男
第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会，2017，9，宮崎
- 21) 2020東京五輪新規採用種目のメディカルサポート：現状と課題
小島岳史，久保紳一郎，三股奈津子，三橋龍馬，野崎正太郎，田島直也，
帖佐悦男
第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会，2017，9，宮崎
- 22) 肘OCDの難治症例に対する治療戦略
石田康行，長澤誠，宮崎茂明，谷口昇，田島卓也，山口奈美，大田智美，
帖佐悦男
第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会，2017，9，宮崎
- 23) 国際大会に帯同して
鳥取部光司，帖佐悦男，宮崎茂明
第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会，2017，9，宮崎
- 24) 地方におけるメディカルサポート
宮崎茂明，鳥取部光司，帖佐悦男
第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会，2017，9，宮崎

- 25) 女子7人制ラグビー日本代表に帯同している男性ドクターとして
田崎篤, 田島卓也, 中村明彦, 北村信人
第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2017, 9, 宮崎
- 26) 遠隔医療システムを用いたラグビー新サポートシステムの可能性～ITシステムが新たな安全対策のソリューションになり得るか～
中村嘉宏, 帖佐悦男, 田島卓也, 吉川大輔, 比嘉聖
第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2017, 9, 宮崎
- 27) 宮崎県での取り組みと今後の課題
山口奈美, 森田雄大, 長澤誠, 田島卓也, 石田康行, 帖佐悦男
第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2017, 9, 宮崎
- 28) なでしこジャパン：団体女子に帯同している女性Drの立場から
鈴木朱美, 山口奈美, 齋田良知, 成田淳, 高木理彰
第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2017, 9, 宮崎
- 29) 宮崎県空手道競技における外傷と救護活動：現状と課題
吉川教恵, 齊藤由希子, 帖佐悦男
第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2017, 9, 宮崎
- 30) 逮捕術の現状と課題
黒木修司, 田島卓也, 帖佐悦男
第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2017, 9, 宮崎
- 31) 2020東京五輪新規採用種目のメディカルサポート：現状と課題 パネルディスカッション
小島岳史
第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2017, 9, 宮崎
- 32) Arthroscopic bone grafting technique for the periacetabular bone cyst
Takuya Tajima
The 15th KOREA-JAPAN Combined Joint Meeting for Orthopaedic Sports
Medicine, 2017, 9, 韓国
- 33) 先天性内反足におけるPirani scoreを用いた予後不良因子の検討
門内一郎, 帖佐悦男
第42回日本足の外科学会学術集会, 2017, 11, 愛知

34) 「子どもに笑顔を！-野球傷害を防ごう-」プロジェクト

帖佐悦男，石田康行，長澤誠，田島卓也，山口奈美

第28回日本臨床スポーツ医学会学術集会，2017，11，東京

◆講 演

1) 運動器検診の意義と事後指導の在り方について

帖佐悦男

都城市学校保健会養護教諭部会, 2017, 1, 宮崎

2) 運動器疾患を取り囲む新たな概念-ロコモ・サルコペニア・フレイル-

帖佐悦男

第56回 整形外科カレントコンセプト, 2017, 1, 東京

3) 成長期の運動器疾患と学校検診-なぜ子どもの頃からロコモ予防が必要か-

帖佐悦男

第7回TKC Ortho Conference, 2017, 2, 千葉

4) 関節エコー デモンストレーション

濱田浩朗

Kyushu Ultra Sound Advanced Seminar, 2017, 2, 福岡

5) 運動器疾患の病診連携-現状と展望-

帖佐悦男

東とうきょう地域で考える骨粗鬆症セミナー, 2017, 3, 東京

6) ロコモティブシンドロームを取り巻く最近の話題-サルコペニア・フレイル-

帖佐悦男

西臼杵地区学術講演会, 2017, 4, 宮崎

7) 股関節学-critical thinking-

帖佐悦男

第43回 関西股関節研究会, 2017, 4, 大阪

8) 側弯症診療の原点 -手術しない、させないための取り組み-

黒木浩史

第37回宮崎県臨床整形外科医会学術講演会, 2017, 4, 宮崎

9) 小児の運動器検診 ; ロコモ対策・学校運動器検診の開始を受けて-疼痛治療を含めて-

帖佐悦男

第65回秋田県整形外科医会, 2017, 5, 秋田

- 10) 宮崎大学におけるRA治療と病診連携
船元太郎
整形外科としてのリウマチ病診連携を考える会, 2017, 5, 宮崎
- 11) スポーツ医活動の現状
帖佐悦男
第15回JCOAスポーツ医懇談会, 2017, 7, 東京
- 12) ロコモを取り巻く環境～ロコモ・サルコペニア・フレイルと疼痛～
帖佐悦男
宮崎ロコモフォーラム～健康寿命の延伸を目指して～, 2017, 8, 宮崎
- 13) 小児の運動器疾患と学童期検診：なぜ子供のころからロコモ予防が必要か
帖佐悦男
城南運動器疼痛を考える会, 2017, 8, 東京
- 14) 90歳以上に対して行った人工関節置換術
川野啓介
第1回人工関節研究会, 2017, 9, 宮崎
- 15) 超高齢者に対する人工関節置換術の現状
柏木輝行
第1回人工関節研究会, 2017, 9, 宮崎
- 16) 超高齢者に試行した人工関節の小経験
平川雄介
第1回人工関節研究会, 2017, 9, 宮崎
- 17) ひとりのできる！？THA-AL-supineapproachを中心に－
公文崇詞
第1回人工関節研究会, 2017, 9, 宮崎
- 18) Superior approachの実際
福島克彦
第1回人工関節研究会, 2017, 9, 宮崎

- 19) 前外側アプローチは過去のアプローチ？
中村嘉宏
第1回人工関節研究会，2017，9，宮崎
- 20) TKAの手術手技 pitfallを中心に
柏木輝行
第1回人工関節研究会，2017，9，宮崎
- 21) RAに対する人工関節置換術のコツ
甲斐睦章
第1回人工関節研究会，2017，9，宮崎
- 22) 慢性腰痛症に対するサインバルタの使用経験
比嘉聖
都城・三股地区 慢性疼痛セミナー，2017，9，宮崎
- 23) 脊椎専門医が考える早期骨形成の有用性
濱中秀昭
Bone Project in Saiki～Stop at one!骨折連鎖を防ぐ！～，2017，10，大分
- 24) 肩腱板断裂と変形性関節症～その病態と治療～
谷口昇
那覇整形外科連携勉強会，2017，10，沖縄
- 25) 成長期の運動検診-なぜ子供の頃からロコモティブシンドローム予防必要か
帖佐悦男
第15回浦和医師会外科整形外科医会学術講演会，2017，11，埼玉
- 26) 下肢のスポーツ傷害
園田典生
第11回はまゆう整形外科セミナー，2017，11，宮崎
- 27) 子どもに笑顔を！野球障害を防ごう
帖佐悦男
第49回慶応スポーツ医・科学研究会，2017，12，東京

編集後記

11年間編集委員を務められた石田先生から引き継ぎ、渡邊先生と一緒に編集を担当させていただくことになりました。編集をするにあたり、10数年分の同門会誌を読み返してみました。医局の出来事とともに自分のことも振り返ることができ、懐かしい気持ちになりました。そこで、今回は「令和元年記念号」として、同門会の先生方に平成の歩みを思い出してもらえような内容にしました。

今年度は戸田勝先生、尾田博先生、山口政仁先生、末永治先生がご逝去され、特に医局・同門会に多大なる貢献をいただいた、戸田先生へ追悼文をご寄稿いただきました。4名の先生方のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

同門会研究助成では、関本先生が数々の功績を挙げられました。今後宮崎大学整形外科が研究でも成果を上げられるよう同門の先生方にバックアップしていただける素晴らしい制度ですので、ぜひ皆さん申請してください。

新入会員としては、経験豊かな荒川英樹先生、川畑武彦先生、新人の川越隆行先生、高橋巧先生、福島研人先生、福永幹先生、松本尊行先生に入会していただき、自己紹介を御寄稿していただきました。（新人5名は大学で一緒に働いていますが、業務に勉強に一生懸命に取り組む、頼もしい先生ばかりです。）

その他、同門会長、医局長の御挨拶、帖佐教授の新入教室員歓迎、同門会奨励賞、国際学会参加、留学支援、学位取得、医局行事、開業報告等があります。皆様には楽しんで読んでいただけると幸いです。

ご多忙のなか、本誌に御寄稿いただいた諸先生方に深謝申し上げます。

令和元年8月吉日

渡邊 信二

大田 智美（文責）



解熱鎮痛剤

製剤

薬価基準収載

カロナール錠500

CALONAL® Tab500 アセトアミノフェン錠

【警告】

- (1) 本剤により重篤な肝障害が発現するおそれがあることに注意し、1日総量1500mgを超す高用量で長期投与する場合には、定期的に肝機能等を確認するなど慎重に投与すること。〔2.重要な基本的注意(9)〕の項参照
- (2) 本剤とアセトアミノフェンを含む他の薬剤（一般用医薬品を含む）との併用により、アセトアミノフェンの過量投与による重篤な肝障害が発現するおそれがあることから、これらの薬剤との併用を避けること。〔2.重要な基本的注意(7)〕及び〔8.過量投与〕の項参照

【禁忌（次の患者には投与しないこと）】

- (1) 消化性潰瘍のある患者〔症状が悪化するおそれがある。〕
- (2) 重篤な血液の異常のある患者〔重篤な転帰をとるおそれがある。〕
- (3) 重篤な肝障害のある患者〔重篤な転帰をとるおそれがある。〕
- (4) 重篤な腎障害のある患者〔重篤な転帰をとるおそれがある。〕
- (5) 重篤な心機能不全のある患者〔循環系のバランスが損なわれ、心不全が増悪するおそれがある。〕
- (6) 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- (7) アスピリン喘息（非ステロイド性消炎鎮痛剤による喘息発作の誘発）又はその既往歴のある患者〔アスピリン喘息の発症にプロスタグランジン合成阻害作用が関与していると考えられる。〕

【効能・効果】

- (1) 下記の疾患並びに症状の鎮痛
頭痛、耳痛、症候性神経痛、腰痛症、筋肉痛、打撲痛、捻挫痛、月経痛、分娩後痛、がんによる疼痛、歯痛、歯科治療後の疼痛、変形性関節症
- (2) 下記疾患の解熱・鎮痛
急性上気道炎（急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む）
- (3) 小児科領域における解熱・鎮痛

【用法・用量】

- 効能・効果1の場合** 通常、成人にはアセトアミノフェンとして、1回300～1000mgを経口投与し、投与間隔は4～6時間以上とする。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日総量として4000mgを限度とする。また、空腹時の投与は避けることが望ましい。
- 効能・効果2の場合** 通常、成人にはアセトアミノフェンとして、1回300～500mgを頓用する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、原則として1日2回までとし、1日最大1500mgを限度とする。また、空腹時の投与は避けることが望ましい。

- 効能・効果3の場合** 通常、幼児及び小児にはアセトアミノフェンとして、体重1kgあたり1回10～15mgを経口投与し、投与間隔は4～6時間以上とする。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日総量として60mg/kgを限度とする。ただし、成人の用量を超えない。また、空腹時の投与は避けることが望ましい。

〈用法・用量に関連する使用上の注意〉

- (1) 幼児及び小児の1回投与量の目安は右記のとおり。〔1.慎重投与〕及び〔2.重要な基本的注意〕の項参照
- (2) 小児科領域における解熱・鎮痛の効能・効果に対する1回あたりの最大用量はアセトアミノフェンとして500mg、1日あたりの最大用量はアセトアミノフェンとして1500mgである。

体重	1回用量	
	アセトアミノフェン	錠500
10kg	100 - 150mg	—
20kg	200 - 300mg	—
30kg	300 - 450mg	—

【使用上の注意】

1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）

- (1) アルコール多量摂取者〔肝障害があらわれやすくなる。〕〔3.相互作用〕の項参照
- (2) 絶食・低栄養状態・摂食障害等によるグルタチオン欠乏、脱水症状のある患者〔肝障害があらわれやすくなる。〕
- (3) 肝障害又はその既往歴のある患者〔肝機能が悪化するおそれがある。〕
- (4) 消化性潰瘍の既往歴のある患者〔消化性潰瘍の再発を促すおそれがある。〕
- (5) 血液の異常又はその既往歴のある患者〔血液障害を起こすおそれがある。〕
- (6) 出血傾向のある患者〔血小板機能異常が起こることがある。〕
- (7) 腎障害又はその既往歴のある患者〔腎機能が悪化するおそれがある。〕
- (8) 心機能異常のある患者〔症状が悪化するおそれがある。〕
- (9) 過敏症の既往歴のある患者
- (10) 気管支喘息のある患者〔症状が悪化するおそれがある。〕
- (11) 高齢者
- (12) 重要な基本的注意〔2〕及び〔7.小児等への投与〕の項参照
- (12) 小児等
- (12) 重要な基本的注意〔2〕及び〔7.小児等への投与〕の項参照

2. 重要な基本的注意

- (1) 解熱鎮痛剤による治療は原因療法ではなく対症療法であることに留意すること。
- (2) 急性疾患に対し本剤を用いる場合には、次の事項を考慮すること。
- (3) 原則として同一の薬剤の長期投与を避けること。
- (4) 原因療法があればこれを行うこと。
- (5) 過度の体温下降、虚脱、四肢冷却等があらわれることがあるので、特に高齢者及び小児等においては、投与後の患者の状態に十分注意すること。
- (6) 高齢者及び小児等には副作用の発現に特に注意し、必要最小限の使用にとどめるなど慎重に投与すること。
- (7) 感染症を不顕性化するおそれがあるので、感染症を合併している患者に対して用いる場合には適切な抗菌剤を併用し、観察を十分行い慎重に投与すること。〔3.相互作用〕の項参照
- (8) 他の消炎鎮痛剤との併用は避けることが望ましい。
- (9) 本剤とアセトアミノフェンを含む他の薬剤（一般用医薬品を含む）との併用により、アセトアミノフェンの過量投与による重篤な肝障害が発現するおそれがあることから、特に総合感冒剤や解熱鎮痛剤等の配合剤を併用する場合は、アセトアミノフェンが含まれていないか確認し、含まれている場合は併用を避けること。また、アセトアミノフェンを含む他の薬剤と併用しないよう患者に指導すること。〔警告(2)〕及び〔8.過量投与〕の項参照
- (10) アセトアミノフェンの高用量投与により副作用として腹痛・下痢がみられることがある。本剤においても同様の副作用があらわれるおそれがあり、上気道炎等に伴う消化器症状と区別できないおそれがあるので、観察を十分行い慎重に投与すること。
- (11) 重篤な肝障害が発現するおそれがあるので注意すること。1日総量1500mgを超す高用量で長期投与する場合には定期的に肝機能検査を行い、患者の状態を十分に観察すること。高用量でなくとも長期投与する場合には定期的に肝機能検査を行うことが望ましい。また、高用量で投与する場合には特に患者の状態を十分に観察するとともに、異常が認められた場合には、減量、休薬等の適切な措置を講ずること。
- (12) 慢性疾患（変形性関節症等）に対し本剤を用いる場合には、薬物療法以外の療法も考慮すること。

3. 相互作用

- 併用注意（併用に注意すること） ●リチウム製剤（炭酸リチウム） ●チアジド系利尿剤（ヒドロクロロチアジド等） ●アルコール（飲酒） ●ワルファリン系抗凝薬（ワルファリンカリウム） ●カルバマゼピン、フェノバルビタール、フェニトイン、プリミドン、リファンピシン、イソニアジド ●抗生物質、抗菌剤

4. 副作用

- 本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。
- (1) 重大な副作用 1) ショック（頻度不明）、アナフィラキシー（頻度不明）：ショック、アナフィラキシー（呼吸困難、全身潮紅、血管浮腫、蕁麻疹等）があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。
 - (2) 中毒性表皮剥離症（Toxic Epidermal Necrolysis: TEN）（頻度不明）、皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson症候群）（頻度不明）、急性汎発性発疹性膿疱症（頻度不明）：中毒性表皮剥離症、皮膚粘膜眼症候群、急性汎発性発疹性膿疱症があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。
 - (3) 喘息発作の誘発（頻度不明）：喘息発作を誘発することがある。
 - (4) 創傷肝炎（頻度不明）、肝機能障害（頻度不明）、黄疸（頻度不明）：創傷肝炎、AST (GOT)、ALT (GPT)、γ-GTPの上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。
 - (5) 顆粒球減少症（頻度不明）：顆粒球減少症があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。
 - (6) 間質性肺炎（頻度不明）：間質性肺炎があらわれることがあるので、観察を十分に行い、咳嗽、呼吸困難、発熱、肺音の異常等が認められた場合には、速やかに胸部X線、胸部CT、血清マーカー等の検査を実施すること。異常が認められた場合には投与を中止し、副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。
 - (7) 間質性腎炎（頻度不明）、急性腎不全（頻度不明）：間質性腎炎、急性腎不全があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

その他の使用上の注意については添付文書をご参照ください。

2016年1月改訂（第12版）



製造販売元（資料請求先）

あゆみ製薬株式会社

〒104-0061 東京都中央区銀座4-12-15
http://www.ayumi-pharma.com

●お問い合わせ先：0120-050-763（受付時間）9：00～17：30（土・日・祝日・当社休日を除く）

CLB51M-16AMC01
2016年1月作成



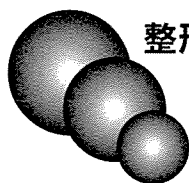
hvc
human health care

患者さん、新しい目つめで 薬は生み出される

「目の病を治す薬」を
「目の病を治す薬」を
「目の病を治す薬」を
「目の病を治す薬」を
「目の病を治す薬」を
「目の病を治す薬」を
「目の病を治す薬」を
「目の病を治す薬」を



AFUTURE OF
Global
2010 WHO 2010 777



整形外科製品全般

脳神経外科製品全般

一般外科・病院設備全般

As a Human for Medical Care

人と医療と未来のために



TOTAL MEDICAL SUPPORT COMPANY



九州風雲堂販売株式会社

URL:<http://fuundo.jp>

【本 社】〒812-0006 福岡市博多区上牟田1丁目11番31号

TEL 092-483-1881 FAX 092-483-1888



THE NEW VALUE FRONTIER



AG-PROTEX

AG-PROTEX(エージプロテクス)は、抗菌スペクトルの広い銀を含有した、ハイドロキシアパタイトの溶射技術です。

抗 菌 性

骨伝導性

の両立^(※)

AG-PROTEX HIP システム [医療機器承認番号:22700BZX00259000]

(※) 非臨床試験結果で確認されています。
AG-PROTEXは京セラ株式会社の登録商標です。

京セラ株式会社 メディカル事業部

本 社
東京事業所

京都市伏見区竹田鳥羽殿町6番地 〒612-8501 Tel.075-778-1980
東京都品川区東品川3丁目32-42 I・Sビル 〒140-8810 Tel.03-5782-7006

札幌営業所 Tel.011-280-6020
東北営業所 Tel.022-216-5176

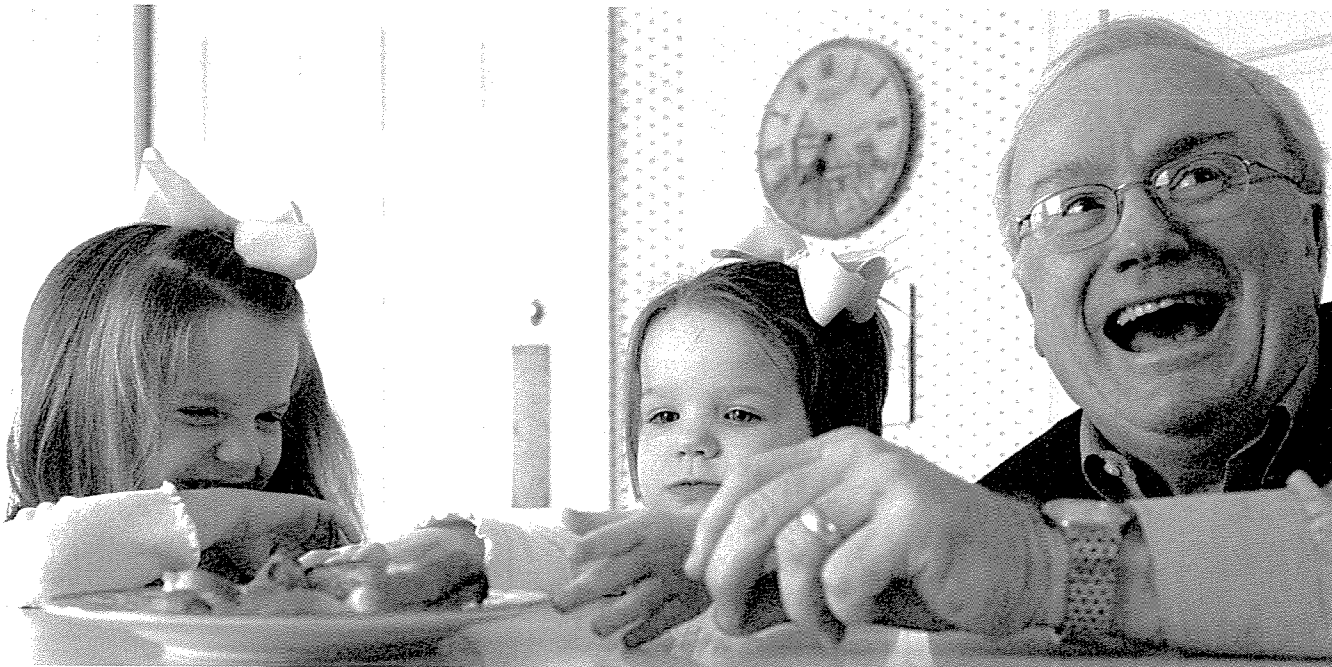
大宮第2営業所 Tel.048-640-7779
名古屋営業所 Tel.052-930-1481

大阪営業所 Tel.06-6350-1017
岡山営業所 Tel.086-803-3620

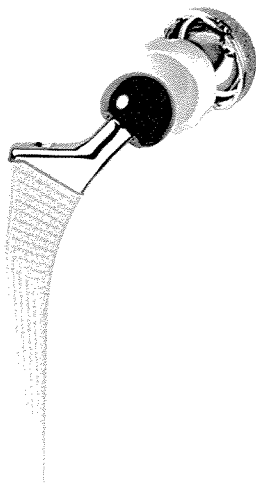
広島営業所 Tel.082-212-1003
九州営業所 Tel.092-452-8140

<http://www.kyocera.co.jp/prdct/medical/index.html>

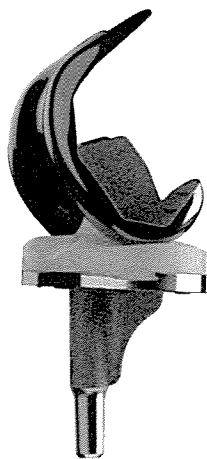
© 2017 KYOCERA Corporation



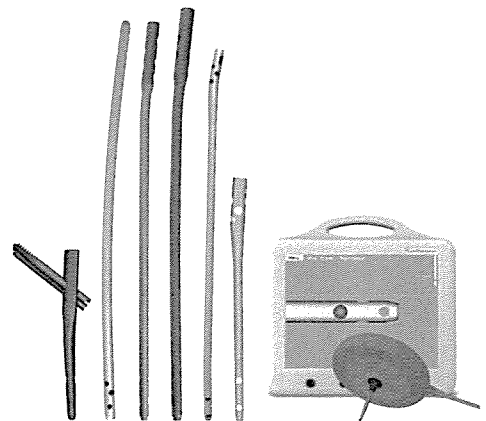
 At **smith&nephew** we've been supporting healthcare professionals for over 150 years. We're proud of that.



POLARSTEM[®]
Cementless Stem System
R3
Acetabular System



JOURNEY[®] II
Total Knee System



TRIGEN[®]
INTERTAN
SURESHOT[®]

スミス・アンド・ネフュー 株式会社 オートパディックス事業部
本社：〒105-0011 東京都港区芝公園二丁目4番1号 TEL. 03-5403-8001 (代表)

©2017 Smith & Nephew K.K.
* Trademark of Smith & Nephew

販売名	承認番号
ポーラーステム	228008ZX00462000
オキシニウム フェーザル ヘブ	222008ZX005645000
R3 カップ システム	225008ZX001750000
JOURNEY II BCS ニーシステム	225008ZX001200000
JOURNEY BCS ツールシステム	222008ZX003180000
INTERTAN インタランシステム	221008ZX007140000
トライエン メタル	221008ZX000940000
トライエン スレート ヒューマナル	218008ZY100010000
トライエン ケーブル	213008ZY005440000
トライエン メタル (ケーブル)	221008ZX000930000
トライエン ヒューマナル	217008ZY004030000
SURESHOT ディスクリーディングシステム	226008ZX002970000



経皮吸収型鎮痛消炎剤

劇薬 薬価基準収載



ロコア®テープ

LOQOA® tape

(エスフルルピブロフェン・ハッカ油製剤)

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。



製造販売 [資料請求先]
大正製薬株式会社
〒170-8633 東京都豊島区高田3-24-1
お問い合わせ先: ☎0120-591-818
メディカルインフォメーションセンター

販売

TEIJIN 帝人ファーマ株式会社
〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号
資料請求先: メディカル情報グループ ☎0120-189-315



Better Health, Brighter Future

タケダから、世界中の人々へ。
より健やかで輝かしい明日を。

一人でも多くの人に、かけがえのない人生をより健やかに過ごしてほしい。タケダは、そんな想いのもと、1781年の創業以来、革新的な医薬品の創出を通じて社会とともに歩み続けてきました。

私たちは今、世界のさまざまな国や地域で、予防から支援活動にわたる多様な医療ニーズと向き合っています。その一つひとつに答えていくことが、私たちの新たな使命。よりよい医薬品を待ち望んでいる人々に、少しでも早くお届けする。それが、いつまでも変わらない私たちの信念。

世界中の英知を集めて、タケダはこれからも全力で、医療の未来を切り拓いていきます。

武田薬品工業株式会社
www.takeda.com/jp





Remicade®



抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤

薬価基準収載

レミケード®点滴静注用100

REMICADE® for I.V. Infusion100 (インフリキシマブ(遺伝子組換え)製剤)

生物由来製品 劇薬 処方箋医薬品 (注意・医師等の処方箋により使用すること)

※効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。



製造販売元(資料請求先)

田辺三菱製薬株式会社
大阪市中央区道修町3-2-10

2015年3月作成

TEIJIN

Human Chemistry, Human Solutions

Quality of Life

患者さんの健やかな笑顔のために。



一人でも多くの方が生きることを前向きにとらえ、
しあわせを感じられるように。

最新の医療技術とあついハートをもって
患者さんとともに歩みながら帝人ファーマだからできることに
チャレンジしていきます。

帝人ファーマ株式会社

<http://www.teijin-pharma.co.jp/>

〒100-8585 東京都千代田区霞が関3-2-1（霞が関コモンゲート西館）

骨形成促進剤

という選択肢。

BMD増加効果と骨折発生リスクの抑制

【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

1. 高カルシウム血症の患者[高カルシウム血症を悪化させるおそれがある。「重要な基本的注意」の項参照]
2. 次に掲げる骨肉腫発生のリスクが高いと考えられる患者[「その他の注意」の項参照]
 - (1) 骨ページェット病の患者
 - (2) 原因不明のアルカリフォスファターゼ高値を示す患者
 - (3) 小児等及び若年者で骨端線が閉じていない患者[「小児等への投与」の項参照]
 - (4) 過去に骨への影響が考えられる放射線治療を受けた患者
3. 原発性の悪性骨腫瘍もしくは転移性骨腫瘍のある患者[症状を悪化させるおそれがある。]
4. 骨粗鬆症以外の代謝性骨疾患の患者(副甲状腺機能亢進症等)[症状を悪化させるおそれがある。]
5. 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人及び授乳婦[妊婦、産婦、授乳婦等への投与]の項参照]
6. 本剤の成分又はテリパラチド酢酸塩に対し過敏症の既往歴のある患者

【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

<効能・効果に関連する使用上の注意> 本剤の適用にあたっては、低骨密度、既存骨折、加齢、大腿骨頸部骨折の家族歴等の骨折の危険因子を有する患者を対象とすること。

【用法・用量】 通常、成人には1日1回テリパラチド(遺伝子組換え)として200μgを皮下に注射する。なお、本剤の投与は24ヵ月間までとすること。

<用法・用量に関連する使用上の注意> (1) 本剤を投与期間の上限を超えて投与したときの安全性は確立していないので、本剤の適用にあたっては、投与期間の上限を守ること。[「その他の注意」及び「臨床成績」の項参照] (2) 本剤の投与をやむを得ず一時中断したのちに再投与する場合であっても、投与日数の合計が24ヵ月を超えないこと。また、24ヵ月の投与終了後、再度24ヵ月の投与を繰り返さないこと。 (3) 他のテリパラチド製剤から本剤に切り替えた経験はなく、その安全性は確立していない。なお、他のテリパラチド製剤から本剤に切り替えたときにおける本剤の投与期間の上限は検討されていない。[「その他の注意」の項参照]

*【副作用等の注意】 1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること) (1) 腎障害のある患者(外国の臨床薬理試験において、重度の腎障害患者では血中からのテリパラチドの消失に遅延が認められている。[薬物動態]の項参照) (2) 重度の肝障害のある患者[本剤の重度の肝障害患者における使用経験が少なく安全性は確立していない。] (3) 尿路結石のある患者及びその既往歴のある患者[本剤の投与により、症状を悪化させるおそれがある。] 2. 重要な基本的注意 (1) 本剤投与直後から数時間後にかけて、ショック、一過性の急激な血圧低下に伴う意識消失、痙攣、転倒があらわれることがある。投与開始後数ヵ月以上を経て初めて発現することもあるため、本剤投与時には以下の点に留意するよう患者に指導すること。1) 投与後30分程度はできる限り安静にすること。2) 投与後に血圧低下、めまい、立ちくらみ、動悸、気分不良、悪心、顔面蒼白、冷汗等が生じた場合には、症状がおさまるまで座るか横になること。 (2) 本剤の薬理作用により、投与後約4から6時間を最大として一過性の血清カルシウム値上昇がみられる。また、血清カルシウム値は、本剤投与後16時間では基準値まで下降することが知られているため、本剤投与患者における血清カルシウム値を測定評価する場合は、本剤投与後16時間以降の測定値を評価基準とすること。本剤の投与にあたっては、患者に十分な説明を行い、特に、嘔気、便秘、便秘、眩暈及び筋力低下等の持続性の血清カルシウム値上昇が疑われる症状が認められた場合は、速やかに診察を受けるように指導すること。持続性高カルシウム血症の診断は、血清カルシウム値と測定時点を考慮し、持続性高カルシウム血症と判断された場合は、本剤の投与を中止すること。なお、血清カルシウム値上昇によりシグタリスの作用が強化されることがあるため、シグタリス製剤と併用する時は注意をすること。[相互作用]の項参照] (3) 副甲状腺ホルモンは血管平滑筋の収縮作用や心筋への陽性変時・陽性変力作用を示すことが報告されている。心疾患のある患者には、患者の状態を観察し、病態の悪化がないか注意しながら本剤を投与すること。 (4) 腎障害のある患者においては、定期的に腎機能検査を行うこと。 (5) 閉経前の骨粗鬆症患者での安全性及び有効性は確立していない(Saag KG, et al.: Arthritis Rheum. 60, 3346-3355, 2009)。 (6) 起立性低血圧、めまいがあらわれることがあるので、高所での作業、自動車の運転等危険を伴う作業に従事する場合には注意をすること。 (7) 本剤の自己注射にあたっては、患者に十分な教育訓練を実施したのち、患者自ら確実に投与できることを確認した上で、医師の管理指導のもとで実施すること。また、器具の安全な廃棄方法について指導を徹底すること。添付されている取扱説明書を必ず読むよう指導すること。 3. 相互作用 併用注意(併用に注意すること) 活性型ビタミンD製剤(カルシトリオール、マキスカリシオール、フレカリンチオール、エルテパカルシオール)、アルファカルシドール、シグタリス製剤(ジゴシン等) 4. 副作用 国内のプラセボを対照とした臨床試験において、本剤10～40μg/日を投与した安全性評価対象252例中50例(19.8%)に副作用(臨床検査値異常を含む)が認められた。主な副作用は、血中尿酸上昇9例(3.6%)、頭痛7例(2.8%)、悪心7例(2.8%)、ALP上昇5例(2.0%)、筋痛3例(1.2%)、高尿酸血症3例(1.2%)、食欲不振3例(1.2%)、血中尿酸上昇3例(1.2%)であった。なお、プラセボを投与した105例中11例(10.5%)に副作用(臨床検査値異常を含む)が認められた。

注) 本剤の用法・用量はテリパラチド(遺伝子組換え)として1日1回200μg皮下投与である。

(1) 重大な副作用 1) アナフィラキシー(頻度不明): アナフィラキシー(呼吸困難、血圧低下、発疹等)があらわれることがあるので、観察を十分にを行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。 2) ショック(頻度不明)、意識消失(頻度不明): ショック、一過性の急激な血圧低下に伴う意識消失があらわれることがあり、心停止、呼吸停止を来した症例も報告されている。異常が認められた場合には、適切な処置を行い、次回以降の投与中止を考慮すること。

禁忌を含む使用上の注意の改訂には十分ご注意ください。

その他の使用上の注意については製品添付文書をご参照ください。 *2018年1月改訂(第11版)

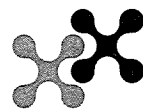
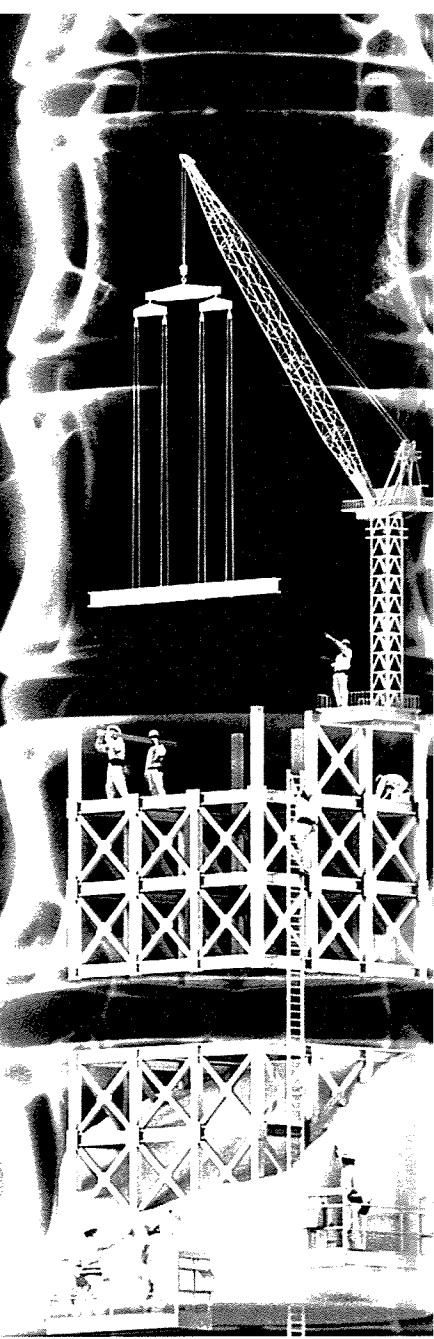
製造販売元(資料請求先)

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086 神戸市中央区臨上通5丁目1番28号

FRT-PA017(R0)

2018年8月作成



フォルテオ®

皮下注キット600μg

テリパラチド(遺伝子組換え)注射剤

— 骨粗鬆症治療剤 —

処方箋医薬品 薬価基準収載

(注意-医師等の処方箋により使用すること)

Lilly

stryker®

Joint Replacements

Exeter Total Hip System

・エクセター人工股関節システム

- 40 years of innovation
40年以上の良好な臨床成績
- Ideal of cement
セメントのためのデザイン理論
- Longevity, solution and high performance
プライマリーからリビジョンまで幅広い症例への適応

Thinking in different directions

124°-134°

124°-134°

医療機器承認番号 販売名

21300BZY00250000 エクセター人工股関節システム用コンポーネント

※本製品に関するお問い合わせは弊社営業までお願い致します。

日本ストライカー株式会社

112-0004 東京都文京区後楽 2-6-1 tel: 03-6894-0000

www.stryker.co.jp

・医療従事者向けサイト-Stryker Medical Professional Site
www.stryker.co.jp/mp2/

製造販売業者

日本ストライカー株式会社

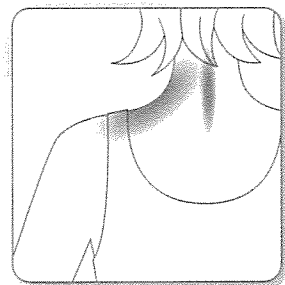
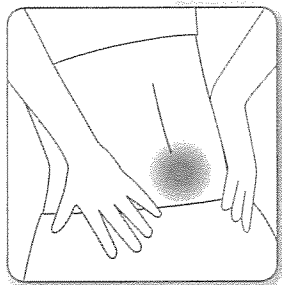
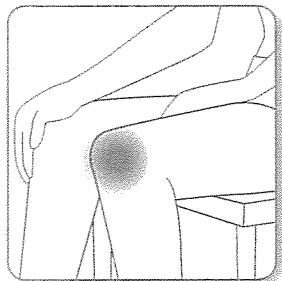
550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀2-1-1

慢性化しやすい痛み

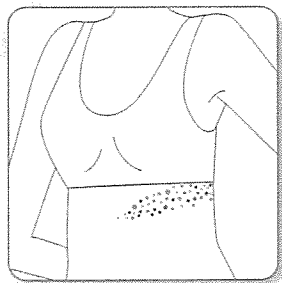
腰痛症

頸肩腕症候群

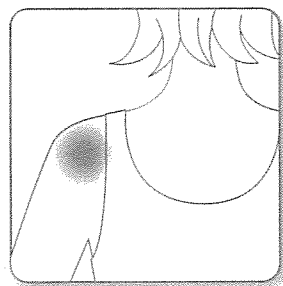
変形性関節症



帯状疱疹後神経痛



肩関節周囲炎



下行性疼痛抑制系賦活型
疼痛治療剤（非オピオイド、非シクロオキシゲナーゼ阻害）

ノイトロピン®錠 4単位

ワクシニアウイルス接種家兎炎症皮膚抽出液含有製剤 〈薬価基準収載〉

【禁忌】（次の患者には投与しないこと）：本剤に対し過敏症の既往歴のある患者

【効能・効果】

帯状疱疹後神経痛、腰痛症、頸肩腕症候群、
肩関節周囲炎、変形性関節症

【用法・用量】

通常、成人には1日4錠を朝夕2回に分けて経口
投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

〈用法・用量に関連する使用上の注意〉

帯状疱疹後神経痛に対しては、4週間で効果の認めら
れない場合は漫然と投薬を続けないよう注意すること。

【使用上の注意】

1. 副作用

承認時までの調査では、1,706例中89例(5.22%)に、市
販後の副作用頻度調査(再審査終了時点)では、18,140例
中98例(0.54%)に副作用が認められている。以下の副作
用は、上記の調査及び自発報告等で認められたものである。

(1) 重大な副作用

- 1) 肝機能障害、黄疸(いずれも頻度不明)：AST(GOT)、ALT
(GPT)、 γ -GTPの上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があら
われることがあるので、観察を十分に行い、異常が認めら
れた場合には、投与を中止するなど適切な処置を行うこと。
- 2) 本薬の注射剤において、ショック、アナフィラキシー
があらわれたとの報告があるので、観察を十分に行い、
異常が認められた場合には、直ちに投与を中止し、適
切な処置を行うこと。

その他の使用上の注意などにつきましては、
添付文書をご参照下さい。

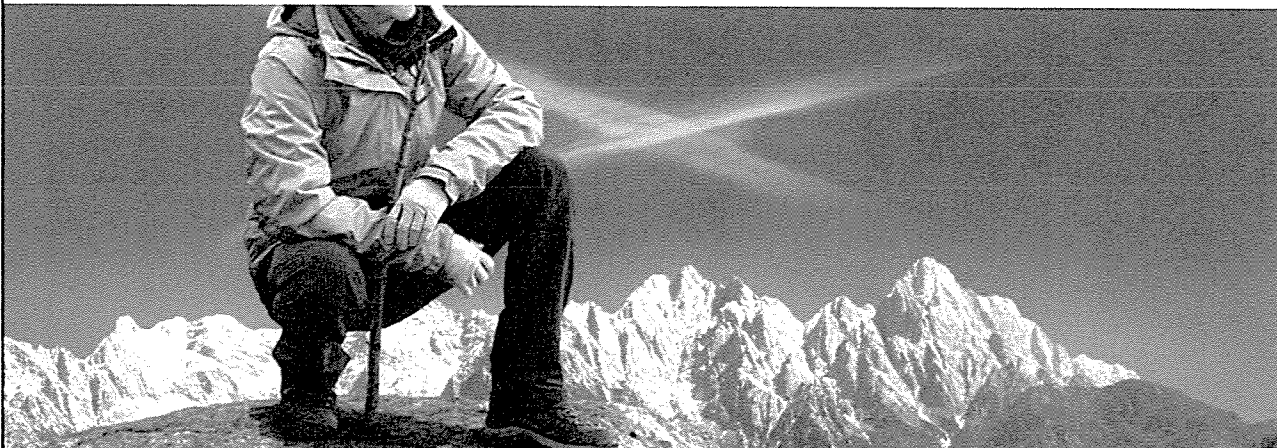
製造販売元

日本臓器製薬

〒541-0046 大阪市中央区平野町2丁目1番2号
資料請求先：学術部

すぐりの相談窓口 ☎06-6233-6085
土・日・祝日を除く 9:00~17:00

2013年7月作成



粘着力が良好な、腰痛症[※]の鎮痛・消炎に効果を有するパップ剤 ※腰痛症(筋・筋膜炎腰痛症、変形性脊椎症、椎間板症、腰椎捻挫)

経皮鎮痛消炎剤

【薬価基準収載】

モーラス[®]パップXR120mg

MOHRUS.PAP XR120mg

ケトプロフェン2%

【薬価基準収載】

モーラス[®]パップXR240mg

MOHRUS.PAP XR240mg

ケトプロフェン2%

【禁忌】(次の患者には使用しないこと)

- (1) 本剤又は本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者〔「重要な基本的注意」の項(1)参照〕
- (2) アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発)又はその既往歴のある患者〔喘息発作を誘発するおそれがある。〕
- (3) チアプロフェン酸、スプロフェン、フェノフィブラート並びにオキシベンゾン及びオクトクリレンを含有する製品(サンスクリーン、香水等)に対して過敏症の既往歴のある患者〔これらの成分に対して過敏症の既往歴のある患者では、本剤に対しても過敏症を示すおそれがある。〕
- (4) 光線過敏症の既往歴のある患者〔光線過敏症を誘発するおそれがある。〕
- (5) 妊娠後期の女性

【効能・効果】

○下記疾患並びに症状の鎮痛・消炎

腰痛症(筋・筋膜炎腰痛症、変形性脊椎症、椎間板症、腰椎捻挫)、変形性関節症、肩関節周囲炎、腱・腱鞘炎、腱周炎、上腕骨上顆炎(テニス肘等)、筋肉痛、外傷後の腫脹・疼痛

○関節リウマチにおける関節局所の鎮痛

【効能・効果に関連する使用上の注意】

- (1) 本剤の使用により重篤な接触皮膚炎、光線過敏症が発現することがあり、中には重度の全身性発疹に進展する例が報告されているので、疾病の治療上の必要性を十分に検討の上、治療上の有益性が危険性を上回る場合にのみ使用する。
- (2) 損傷皮膚には本剤を使用しないこと。

【用法・用量】

1日1回患部に貼付する。

【使用上の注意】

1. 慎重投与(次の患者には慎重に使用すること)

気管支喘息のある患者〔アスピリン喘息患者が潜在しているおそれがある。〕
(「重大な副作用」の項(2)参照)

2. 重要な基本的注意

- (1) 本剤又は本剤の成分により過敏症(紅斑、発疹・発赤、腫脹、刺激感、痒疹等を含む)を発現したことがある患者には使用しないこと。
- (2) 接触皮膚炎又は光線過敏症を発現することがあり、中には重度の全身性発疹に至った症例も報告されているので、使用前に患者に対し次の指導を十分に行うこと。(「重大な副作用」の項(3)(4)参照)
 - 1) 紫外線曝露の有無にかかわらず、接触皮膚炎を発現することがあるので、発疹・発赤、痒疹感、刺激感等の皮膚症状が認められた場合には、直ちに使用を中止し、患部を遮光し、受診すること。なお、使用後数日を経過して発現する場合があるので、同様に注意すること。
 - 2) 光線過敏症を発現することがあるので、使用中は天候にかかわらず、戸外の活動を避けるとともに、日常の外出時も、本剤貼付部を衣服、サポーター等で遮光すること。なお、白い生地や薄手の服は紫外線を透過させるおそれがあるので、紫外線を透過せにくい色の衣服などを着用すること。また、使用後数日から数カ月を経過して発現することもあるので、使用後も当分の間、同様に注意すること。異常が認められた場合には直ちに本剤の使用を中止し、患部を遮光し、適切な処置を行うこと。

(3) 皮膚の感染症を不顕性化するおそれがあるので、感染を伴う炎症に対して用いる場合には適切な抗菌剤又は抗真菌剤を併用し、観察を十分に行い慎重に使用すること。

(4) 腰痛症、変形性関節症、肩関節周囲炎、腱・腱鞘炎、腱周炎、上腕骨上顆炎、筋肉痛、外傷後の腫脹・疼痛に本剤を使用する場合は、以下の点に注意すること。

1) 本剤による治療は対症療法であるので、症状に応じて薬物療法以外の療法も考慮すること。また、投与が長期にわたる場合には患者の状態を十分に観察し、副作用の発現に留意すること。

(5) 関節リウマチにおける関節局所の鎮痛に本剤を使用する場合は、以下の点に注意すること。

- 1) 関節リウマチに対する本剤による治療は対症療法であるので、抗リウマチ薬等による適切な治療が行われ、なお関節に痛みの残る患者のみに使用すること。
- 2) 関節痛の状態を観察しながら使用し、長期にわたり漫然と連用しないこと。また、必要最小限の枚数にとどめること。

3. 相互作用

【併用注意】(併用に注意すること)

メトトレキサート

4. 副作用

本剤は、副作用発現頻度が明確となる臨床試験を実施していない。なお、ケトプロフェン20mg含有テープ剤の各承認時までに報告された副作用は次のとおりである。

○腰痛症、変形性関節症、肩関節周囲炎、腱・腱鞘炎、腱周炎、上腕骨上顆炎、筋肉痛、外傷後の腫脹・疼痛

総症例1,156例中副作用が報告されたのは57例(4.93%)であり、発現した副作用は、発疹11件、発赤9件、痒疹18件、刺激感5件等の接触皮膚炎54件(4.67%)、貼付部の膨疹、動悸、顔面及び手の浮腫各1件(0.09%)などであった。(モーラステーパ承認時)

○関節リウマチ

総症例525例中副作用が報告されたのは45例(8.57%)であり、発現した副作用は、接触性皮膚炎17件、適用部位痒疹12件、適用部位紅斑6件、適用部位発疹6件、適用部位皮膚炎3件等であった。(モーラステーパ20mg効能追加承認時) ほか医師などの自発的報告により、ショック、アナフィラキシー、喘息発作の誘発(アスピリン喘息)、光線過敏症の発現が報告されている。

(1) 重大な副作用

1) ショック(頻度不明)、アナフィラキシー(0.1%未満)
ショック、アナフィラキシー(尊麻疹、呼吸困難、顔面浮腫等)があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には使用を中止し、適切な処置を行うこと。

2) 喘息発作の誘発(アスピリン喘息)(0.1%未満)
喘息発作を誘発することがあるので、乾性う音、喘鳴、呼吸困難等の初期症状が発現した場合は使用を中止すること。気管支喘息患者の中には約10%のアスピリン喘息患者が潜在していると考えられているので留意すること。なお、本剤による喘息発作の誘発は、貼付後数時間で発現している。〔【禁忌】の項(2)参照〕

3) 接触皮膚炎(5%未満、重篤例は頻度不明)
本剤貼付部に発現した痒疹感、刺激感、紅斑、発疹・発赤等が悪化し、腫脹、浮腫、水疱・びらん等の重度の皮膚炎症状や色素沈着、色素脱失が発現し、さらに全身に皮膚炎症状が拡大し重篤化することがあるので、異常が認められた場合には直ちに使用を中止し、患部を遮光し、適切な処置を行うこと。なお、使用後数日を経過してから発現することもある。

4) 光線過敏症(頻度不明)
本剤の貼付部を紫外線に曝露することにより、強い痒疹を伴う紅斑、発疹、刺激感、腫脹、浮腫、水疱・びらん等の重度の皮膚炎症状や色素沈着、色素脱失が発現し、さらに全身に皮膚炎症状が拡大し重篤化することがあるので、異常が認められた場合には直ちに使用を中止し、患部を遮光し、適切な処置を行うこと。なお、使用後数日から数カ月を経過してから発現することもある。

●その他の使用上の注意については添付文書をご参照ください。

●添付文書の改訂に十分ご留意ください。

製造販売元 **久光製薬株式会社**

〒841-0017 鳥栖市田代大宮町408番地

資料請求先: 学術部 お客様相談室 〒100-6330 東京都千代田区丸の内二丁目4番1号

フリーダイヤル 0120-381332 FAX: (03) 5293-1723

受付時間/9:00-17:50(土日・祝日・会社休日を除く)



薬袋・フィルム・支持体の工夫が評価され、グッドデザイン賞を受賞しました



Bristol-Myers Squibb

医療の進歩した現代社会においても
いまだ根本的な治療法が見つからない、
深刻な病と闘う方々がいます。
不安を抱えた患者さんご家族の、
より良い明日を育むため、
私たちは挑戦し続けます。

私たちは、先進のバイオテクノロジーで
世界トップレベルの実績を有する
グローバル・バイオフーマ企業。

患者さんと共に病に立ち向かい、
これからも、より確かな、いのちの未来を開いていきます。

革新的な医薬品で、
患者さんご家族の希望をつくる。

ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

www.bms.com/jp

抗悪性腫瘍剤(ヒト化抗ヒトSLAMF7モノクローナル抗体)
エムプリシティ® 点滴静注用300mg
エムプリシティ® 点滴静注用400mg
Empliciti[®]
一般名: エモリズマブ(遺伝子組換え)製剤
生物由来製品 製薬: 処方薬医薬品 (注: 処方薬の処方せんに準じて使用する)

経口FXa阻害剤
処方薬医薬品 (注: 処方薬の処方せんに準じて使用する)
エリキュース® 錠 2.5mg
Eliquis[®] (アピキサラン)
(注: 処方—処方箋の処方せんに準じて使用する)

抗悪性腫瘍剤/ヒト抗ヒトPD-1モノクローナル抗体
オプジーボ® 点滴静注
20mg, 100mg, 240mg
ニボルマブ(遺伝子組換え)製剤
生物由来製品 製薬: 処方薬医薬品 (注: 処方薬の処方せんに準じて使用する)

T細胞選択的共刺激剤
処方薬医薬品 (注: 処方薬の処方せんに準じて使用する)
オレンシア® 錠 250mg
度下注12.5mg シリシ1mg
度下注12.5mg オートインジェクター1mg
生物由来製品 製薬: 処方薬医薬品 (注: 処方薬の処方せんに準じて使用する)
一般名: アリクセプト(遺伝子組換え) ORENCIA[®]

抗悪性腫瘍剤
(チロシンキナーゼ阻害剤) 一般名: ダウジニブ水和物
スプリセル® 錠 20mg
錠 50mg
SPRYCEL[®]
(注: 処方—処方箋の処方せんに準じて使用する)

抗ウイルス薬/HCV NS3/4Aプロテアーゼ阻害剤
処方薬医薬品 (注: 処方薬の処方せんに準じて使用する)
スパンベプラ・カプセル® 100mg
Simeprevir Capsules (アシアプリビル)
製薬: 処方薬医薬品 (注: 処方薬の処方せんに準じて使用する)

抗ウイルス薬/HCV NS5A阻害剤
処方薬医薬品 (注: 処方薬の処方せんに準じて使用する)
ダクワインザ® 錠 60mg
Daclatasvir Tablets (ダクワタシビル)
製薬: 処方薬医薬品 (注: 処方薬の処方せんに準じて使用する)

抗ウイルス薬/化学療法剤 エンテカビル水和物
バラクルード® 錠 0.5mg
Baricitabine Tablets (バラシタビル)
(注: 処方—処方箋の処方せんに準じて使用する)

抗悪性腫瘍剤/ヒト抗ヒトCTLA-4モノクローナル抗体
ヤーボイ® 点滴静注液 50mg
イビリムマブ(遺伝子組換え)製剤
生物由来製品 製薬: 処方薬医薬品 (注: 処方薬の処方せんに準じて使用する)

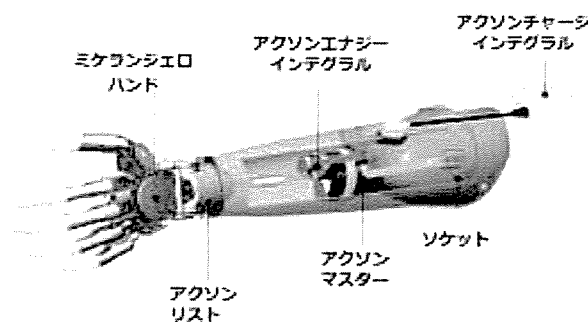
※効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等については最新の製品添付文書をご参照ください。

作成年月: 2018年11月

節電電動義手

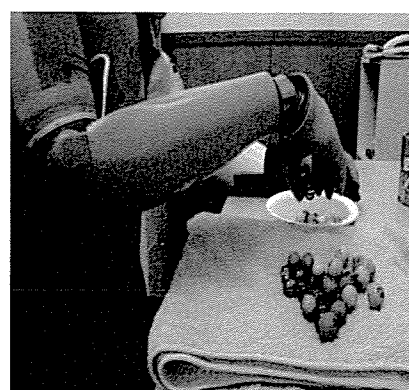
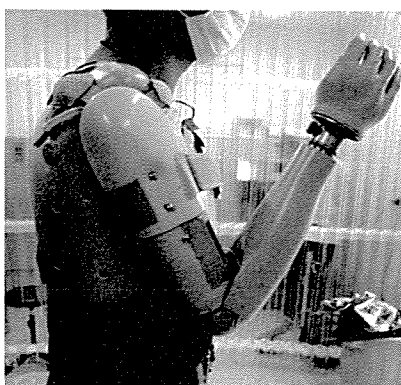
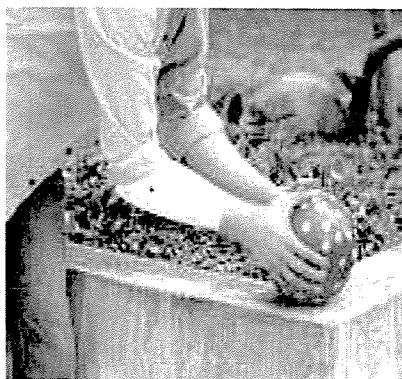
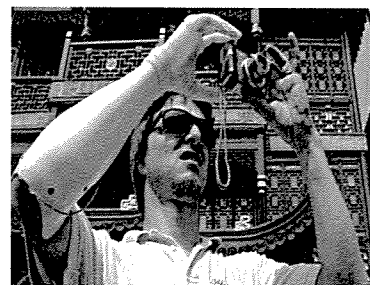
OTTOBOCK

■機能性と装飾性の両方を兼ね備えた筋電電動義手■



アクソンバスシステムは可能な限り人間の手に近い筋電電動義手を目標に開発されました

- 強い把持力・対立位で最大7Kg、ラテラル位で最大6Kgの把持力が備わっています
- 開閉スピード・最大1秒間に約32cmのスピードで開閉することができます。筋電の出し方で、ゆっくり開閉、素早く開閉を使い分ける事ができます
- 掌の大きな開き・最大約12cmの幅に開きます
リスト・リスト部分がフレキシブルに動く為、スライドドアを開けたり、ほうきでゴミを掃いたりする時に肩や肘による代償運動が軽減されます



中小企業団体中央会ものづくり番組で紹介されました



上のQRコードをスマホで読み取ると動画が見えます

義肢・装具・整形靴・座位保持・車いす・介護用品・住宅改修



有限会社マキタ義肢製作所
マキタ福祉用具レンタル事業所

本社：都城市鷹尾1丁目27街区11-2号
TEL(0986)24-6598 FAX(0986)24-6630
宮崎営業所：宮崎市大字恒久町6011-3
TEL(0985)65-6178 FAX(0985)65-6179



Avansera



HA coating

Anatomical and
Short Design

3mm offset

WIDE ROM

**JUST
JAPANESE
STANDARD**

製造販売承認番号:230008ZX00384000

ミズホ株式会社 <http://www.mizuho.co.jp>

【本社】〒113-0033 東京都文京区本郷3-30-13
販売事業部／販売マーケティング部／販売技術部 TEL03-3815-3097 特販事業部 TEL03-4334-9111
【営業拠点】北海道 TEL011-716-4731 東北 TEL022-227-1688 新潟 TEL025-229-5458 北関東 TEL03-3815-3193
東海 TEL052-732-7130 関西 TEL06-6444-3840 中国 TEL082-241-8826 九州 TEL092-431-5022
【関東圏販売網（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）】ミズホアーバン株式会社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-29-3 TEL03-3811-0350



骨粗鬆症治療剤

薬価基準収載

テリボコ[®] 皮下注用56.5 μ g

注射用テリパラチド酢酸塩 処方箋医薬品*
Teribone[®] Inj. 56.5 μ g ※注意-医師等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については製品添付文書をご参照ください。

製造販売元 (資料請求先) **旭化成ファーマ株式会社**

〒100-0006 東京都千代田区有楽町一丁目1番2号
 くすり相談窓口 ☎ 0120-114-936

Asahi**KASEI**

2018年9月作成

まだないくすりを
創るしごと。

世界には、まだ治せない病気があります。
 世界には、まだ治せない病気とたたかう人たちがいます。
 明日を変える一錠を創る。
 アステラスの、しごとです。



www.astellas.com/jp/

明日は変えられる。



アステラス製薬株式会社



生物由来製品 創薬 処方箋医薬品^{※1}
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤

ヒュミラ[®]

皮下注 20mg シリンジ 0.4mL
皮下注 40mg シリンジ 0.8mL
皮下注 40mg シリンジ 0.4mL
皮下注 80mg シリンジ 0.8mL

HUMIRA

<皮下注射用アダリムマブ(遺伝子組換え)製剤>

注1) 注意-医師等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

製造販売(輸入)元 販売元 プロモーション提携

アッヴィ合同会社 エーザイ株式会社 EAファーマ株式会社

東京都港区三田 3-5-27 東京都文京区小石川 4-6-10 東京都中央区八丁目1番1号

電話 03-6362-1111 03-6362-1111 03-6362-1111

HUR1703M02
PP--JP-0529-4.0
2017年3月作成

abbvie Eisai EAファーマ

HUMIRA[®]
adalimumab



セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤

薬価基準収載

サインバルタ[®] カプセル 20mg
カプセル 30mg

Cymbalta[®] デュロキセチン塩酸塩カプセル

創薬 処方箋医薬品^{※1}
注1) 注意-医師等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照下さい。

©: 米国イーライリリー・アンド・カンパニー登録商標

製造販売元 [資料請求先]



シオノギ製薬

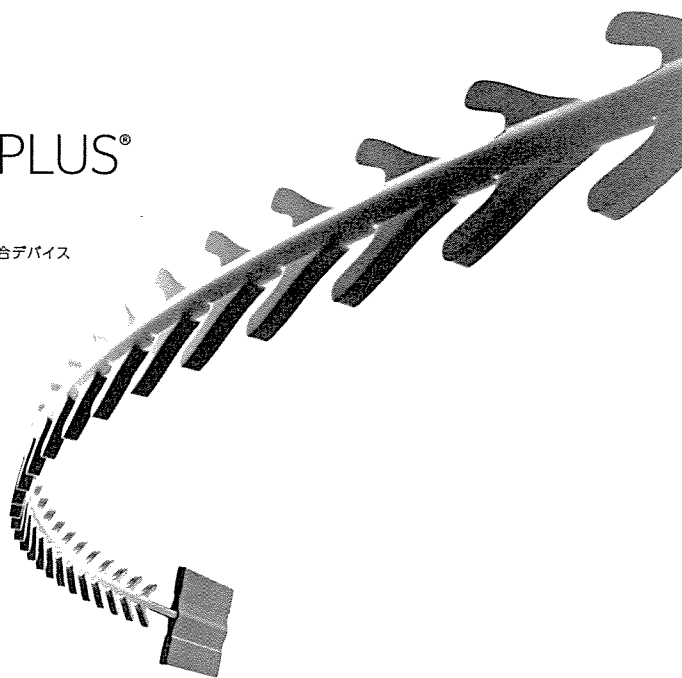
大阪市中央区道修町 3-1-8
医薬情報センター ☎0120-956-734

CYM-KO-0006 (V01)
第285256 2018年12月作成

STRATAFIX® Symmetric PDS PLUS®

Secure Every Pass

テンションのかかる筋膜閉鎖をサポートするノットフリー縫合デバイス



ETHICON
PART OF THE JOHNSON & JOHNSON FAMILY OF COMPANIES

製造販売元: ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 メディカル カンパニー
〒101-0065 東京都千代田区西神田3丁目5番2号

高度管理医療機器 販売名: STRATAFIX Symmetric PDS プラス 承認番号: 22800BZX00272000

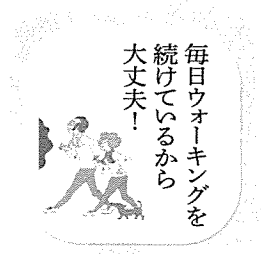
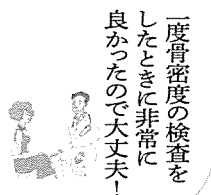
ETHB0725-01-201608 ©J&J KK 2016



私の骨は大丈夫!?



50歳を過ぎたら女性は「定期的」に骨密度測定を!



「私は大丈夫」という思いが骨折のリスクを見逃してしまうかもしれません。詳しくは、

骨だいじょうぶ

検索

スマートフォンでもご覧いただけます



第一三共株式会社

骨粗鬆症治療剤(活性型ビタミンD₃製剤)
劇薬 処方箋医薬品中

薬価基準収載

エディロール® カプセル 0.5 μ g
0.75 μ g

EDIROL®

エルデカルシトールカプセル
注) 注意-医師等の処方箋により使用すること

©中外製薬株式会社登録商標

※「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」
等詳細については、添付文書をご参照ください。



製造販売元 (資料請求先)



中外製薬株式会社
〒103-8324 東京都中央区日本橋室町2-1-1

Roche ロシュ グループ



発売 (資料請求先)

大正製薬株式会社
〒170-8633 東京都豊島区高田3-24-1

2019年4月作成

漢方医学と西洋医学の融合により 世界で類のない最高の医療提供に貢献します



自然と健康を科学する

漢方の**ツムラ**

<http://www.tsumura.co.jp/>

●お問い合わせは、お客様相談窓口まで。

【医療関係者の皆様】Tel.0120-329-970 【患者様・一般のお客様】Tel.0120-329-930

経皮複合消炎剤

【薬価基準収載】

ゼスタッククリーム

ZESTAK CREAM



製造販売元

〔資料請求先〕

三笠製薬株式会社

〒176-8585

東京都練馬区豊玉北2-3-1

<http://www.mikasaseiyaku.co.jp/>

- 「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

2019年2月作成

ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤

【薬価基準収載】

シンボニー[®]

皮下注 50mg シリンジ

ゴリムマブ(遺伝子組換え)製剤
Simponi[®] Subcutaneous Injection

生物由来製品 劇薬 処方箋医薬品*
*注意—医師等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む使用上の注意等については、製品添付文書をご参照ください。

janssen
PHARMACEUTICAL COMPANY
OF JANSSEN-ILVO

製造販売元(資料請求先)

ヤンセンファーマ株式会社

〒101-0065 東京都千代田区西神田3-5-2

URL: <http://www.janssen.co.jp>



発売元(資料請求先)

田辺三菱製薬株式会社

大阪市中央区道修町3-2-10